

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

始



新潟縣水產試驗場報告 大正七年度

調査部

- 一、海洋調査 六七
 - 二、沿岸定時海洋観測 一一三
 - 三、鮭聯絡調査 一一三
 - 四、漁村及漁業調査 一一三
 - 五、鮎産卵場調査 一一三
 - 六、淺海内灣池沼調査 一一三
 - 七、漁業統計調査 一一三
 - 八、氣象観測 一一三
- 指導部
- 一、鯛縛網漁業者打合會 一三五
 - 二、丙種漁民講習會 一三五
 - 三、漁業組合講話會 一三六
 - 四、其他講話指導 一三八
 - 五、質義應答 一三九
- 以上



漁撈部

一、春季大羽鱈調査

本試験ハ前年度ヨリノ繼續事業ニシテ本年度ハ特ニ漁網染料比較試験ヲ追加シ施行スル事トセリ

一、漁場 三島郡沖合二十尋乃至六十尋ノ範圍トス

一、試験期間 大正七年四月二十九日ヨリ五月二十七日ニ至ル二十九日間

但シ其ノ内四月三十日ヨリ五月六日迄海洋観測ノ爲メ休止

一、漁具 前年度使用シタル永保式染料ヲ防腐劑トシテ染網シタル長サ二十尋巾十八尋ノモノ八把及本年度新調シタルコールター防腐劑ヲ施シタルモノ八把ヲ取り交セ使用シ比較研究ヲ遂行セリ

一、コールター染新調流網ノ構造

一、網地 綿糸二十手一號百掛長サ四十尋切六反横縫

一、沈子 桐材長九寸三分巾二寸三分厚一寸二分一把握數二十七個

一、浮子 鉛圓筒形壹個三十夕ノモノ一把握ニ三十個ヲ使用ス

一、沈子網 徑四分長二十八尋トシ一端ヲ「つば」トシ他ノ一端約三尺殘シ仕立上ク

一、目通網 綠網、支那麻岩六枚系ヲ用ユ長サ網ニ準ス

一、線 綿糸二號系ヲ以テ上下共五ツ目宛トス

一、口 綿糸二號系ヲ以テ左右共ニ二目宛トス

- 一、縮 結 四十尋切ヲ二十七尋ニ仕立上ケ
- 一、仕立上ケ 一把ノ構造ハ長二十七尋巾十九尋トス

染 網 方 法

釜中「こゝるた」ヲ適量ニ投入シ文火ヲ以テ徐々ニ加熱シ「こゝるた」ノ調度緩和セラレタル時ヲ窺ヒ網地ヲ一端ヨリ釜中ニ浸漬シ「こゝるた」ノ充分浸透シタルヲ俟テ豫メ準備セラレタル壓搾器中ニ平等ニ繰込ミ網地ニ把毎ニ壓ヲ加ヘ流出シタル剩餘ノ「こゝるた」ハ壓搾器臺ノ流ヲ通シ釜中ニ流入セシムヘキ裝置トシ壓搾シタル網地ハ可及的餘分ノ「こゝるた」ヲ壓出セシムル爲メ徐々ニ高壓ヲ加ヘ其ノ儘放置スルコト約一時間以上ニシテ充分搾出シタルモノハ直ニ乾燥ス乾燥方法ハ屋外ニ横架ヲ設ケ其ノ上ニ開展シ二十日間晴雨ニ不拘晝夜共ニ曝乾セリ而シテ其ノ乾燥後ニ於ケル重量ハ染網前ノモノ參貫多ニ對シ四貫二三百分即チ壹貫二三百分ノ増量ヲ示スニ至レリ

出 漁 經 過

四月二十九日初メテ出船シ其ノ後五月六日迄海洋觀測ニ從事シ翌七日ヨリ全月二十七日迄繼續出漁ス五月七日以降ノ漁況ハ特ニ豐漁ト稱スヘキ大漁ヲ見サリシモ出漁ノ都度貳千貳百尾乃至六千四百五百尾ノ漁獲ヲ全月二十二日迄持續シ其ノ後急激ニ魚群稀薄トナリシヲ以テ之レカ原因ヲ調査シ全月二十七日終漁セリ而シテ其ノ出漁回数十四回漁獲總數四萬壹千餘尾ナリ

結 果

- (イ) 一般漁況 魚群來游ノ厚薄ハ例年ニ比シ著シク減少シ約半ニ過キサリシヲ認ム又鱈ノ体形ニ付テハ頗ル大形ノモノト小形ノモノトヲ混漁セラレ其ノ割合大形ノモノ三、小形ノモノ七ヲ示シ從來調査シ得タル結果ト比較シテ特異ト

(ロ) 認ムヘキハ小形ノモノ一層体形小トナリ且ツ其ノ割合ヲ増加シタルニアリ
海象上ノ調査水温ハ從來調査シタルモノト比較シ常ニ一二度ノ低温ニ在リ殊ニ五月二十二日兩日ノ如キハ急激ナル降下ヲ示シ恰モ大羽鰻漁期前ノ三月下旬乃至四月上旬ニ見ル所ノ十度トナレリ之レ思フル寒流卓越シ佐渡能登間ノ深海部ヨリ沿岸ニ壓流セルニヨルナラン又比重ニ就テ見ルニ表面ハ例年ニ比シ著シキ差ヲ認メサルモ其高低ノ變化ハ比較的著シカリキ浮游生物ハ概シテ五月中旬ヨリ水温ノ上昇ニ伴ヒ漸次多キヲ加ヘ來リ殊ニ撓脚類ハ如キ著シク増加シ來レル經路ハ例年ト同一ナレトモ本年ハ例年ニ比シ其ノ量少カリキ

- (ハ) 染料ノ比較ニ就テ
- (一) 取扱上ノ難易

「こゝるた」ヲ染料トシタルモノハ重量著シク増大シ揚網ニ際シ困難ノ点少カラス然レトモ防腐力強大ナルヲ以テ乾燥ニ於テ勞力ヲ要セサル長所ヲ有スト雖モ數日間乾燥ヲ行ハス連續使用ノ場合ハ浮子ニ海水浸透シテ浮力ヲ減シ浮子網ノ緊張意ノ如クナラサルノ憾アリ永保染料ヲ施シタルモノハ取扱上極メテ簡易ナルモ歸港毎ニ乾燥セサルヘカラサルハ勿論再三染網ノ煩ヲ要シ且ツ網地ノ保存力ハ「こゝるた」ニ比較シ得ヘキニ非ス

- (ニ) 罹網ノ状態

本年度成績ニ依レハ初漁ノ頃ハ永保染網六ニ對シ「こゝるた」染網四ノ割合ニ罹網シタルモ漁期半ハヨリ魚体漸次小形トナリ從テ罹網状態不況ニ陥リタルト共ニ罹網割合ハ一層著ク差ヲ生シタルハ單ニ染網ノ關係ニヨルノミト謂フヘカラス其ノ原因ノ主ナルモノハ永保染料ヲ施シタル網地ハ一寸五分目ナルモ「こゝるた」網ハ一寸六分強ノ目ヲ用ヒタルト前述セル如ク本年度ノ魚体ハ概シテ小形ノモノ特ニ多カリシニヨル

本年度染料比較試驗ノ結果ニ付テハ尙ホ大ニ研究ヲ要スヘキモノアリ殊ニ「こゝるた」染網ニ際シ壓搾不充分ナル爲メ「こゝるた」ノ過度ニ附着シテ網糸硬固シ終漁期ニ至ルマテ充分乾燥セサルノ状態ニシテ各種缺陷ヲ見タリシモ次年度

ニ於テハ之等ノ缺点ヲ排除シ具体的ニ比較試驗ヲ遂行セントス

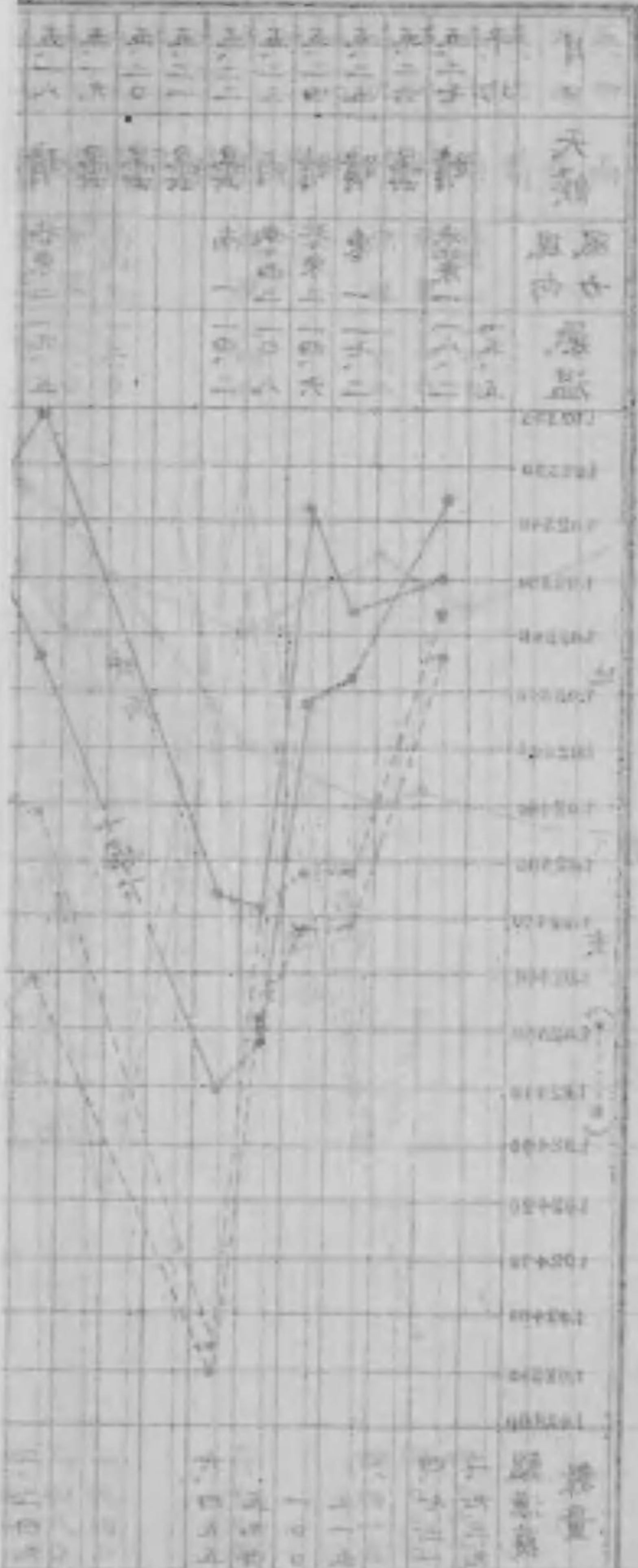
大羽鰺漁業調査日誌

月日	漁場位置	天候	風向	風力	氣壓	氣温	水温及比重	潮流方向	使用時間	漁獲數量	備考
四月二十九日	寺泊西沖	晴	無風	無	一四、〇	一四、〇	表面一四、〇 水深一四、〇	緩南々	前後六、三〇	六〇	
五月五日	石地北々	晴	無風	無	一四、〇	一四、〇	表面一四、〇 水深一四、〇	緩北	前後七、〇〇	四、三六六	
五月七日	西地北々	晴	無風	無	一四、〇	一四、〇	表面一四、〇 水深一四、〇	急東	前後七、〇〇	四、〇三〇	
五月八日	寺泊西	晴	無風	無	一四、〇	一四、〇	表面一四、〇 水深一四、〇	急東	前後七、〇〇	四、四一五	
五月九日	西地北々	晴	無風	無	一四、〇	一四、〇	表面一四、〇 水深一四、〇	急東	前後七、〇〇	二、九四九	
五月十日	西地北々	晴	無風	無	一四、〇	一四、〇	表面一四、〇 水深一四、〇	急東	前後七、〇〇	二、六九四	
五月十一日	西地北々	晴	無風	無	一四、〇	一四、〇	表面一四、〇 水深一四、〇	急東	前後七、〇〇	二、九四九	
五月十二日	西地北々	晴	無風	無	一四、〇	一四、〇	表面一四、〇 水深一四、〇	急東	前後七、〇〇	二、六九四	
五月十三日	西地北々	晴	無風	無	一四、〇	一四、〇	表面一四、〇 水深一四、〇	急東	前後七、〇〇	二、九四九	
五月十四日	西地北々	晴	無風	無	一四、〇	一四、〇	表面一四、〇 水深一四、〇	急東	前後七、〇〇	二、九四九	
五月十五日	西地北々	晴	無風	無	一四、〇	一四、〇	表面一四、〇 水深一四、〇	急東	前後七、〇〇	二、九四九	
五月十六日	西地北々	晴	無風	無	一四、〇	一四、〇	表面一四、〇 水深一四、〇	急東	前後七、〇〇	二、九四九	
五月十七日	西地北々	晴	無風	無	一四、〇	一四、〇	表面一四、〇 水深一四、〇	急東	前後七、〇〇	二、九四九	
五月十八日	西地北々	晴	無風	無	一四、〇	一四、〇	表面一四、〇 水深一四、〇	急東	前後七、〇〇	二、九四九	

大正七年 大羽鰺調査氣象海象一覽表

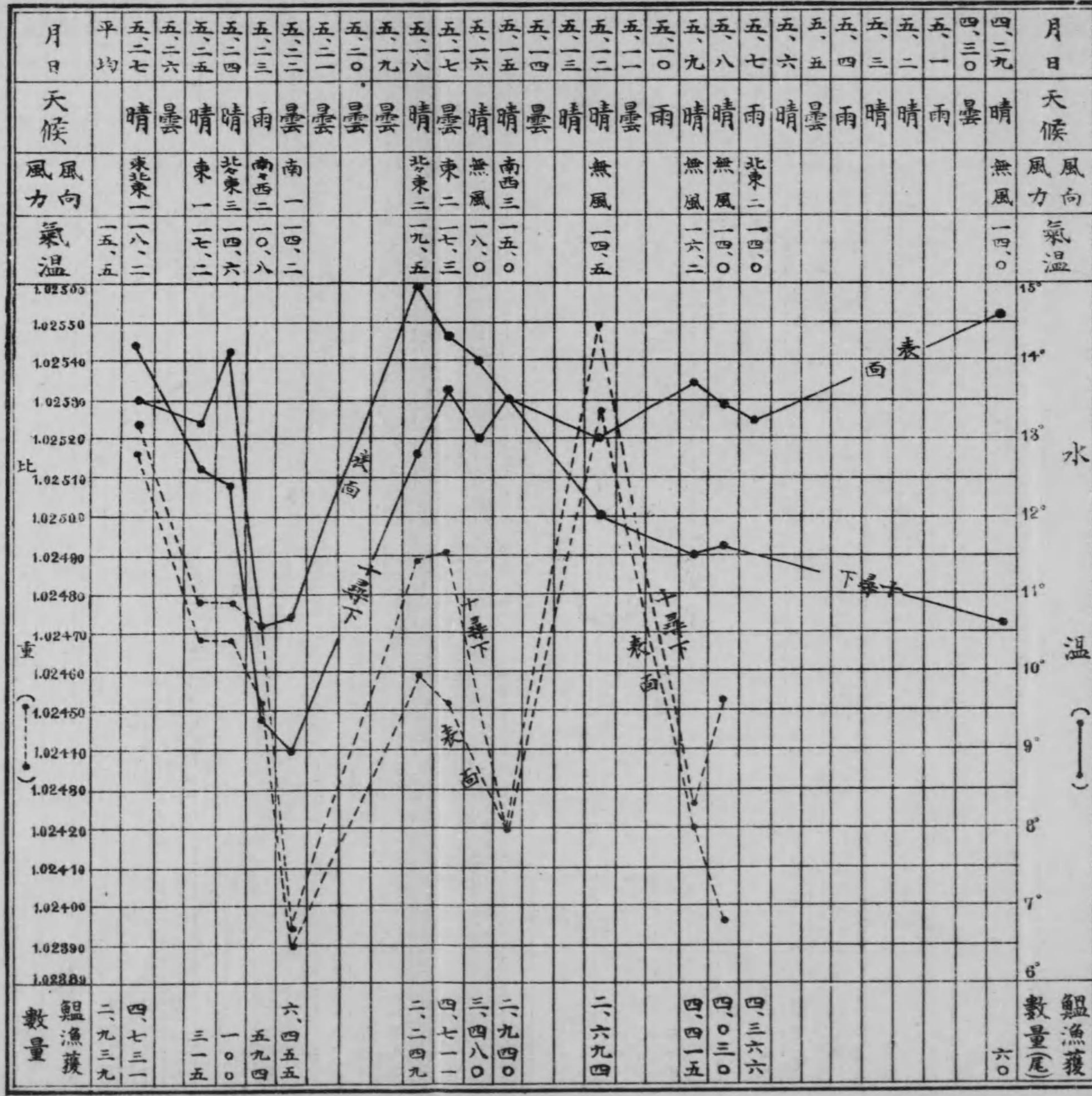
備考
觀測總ノ漁場ニ於テ投網前施行セリ

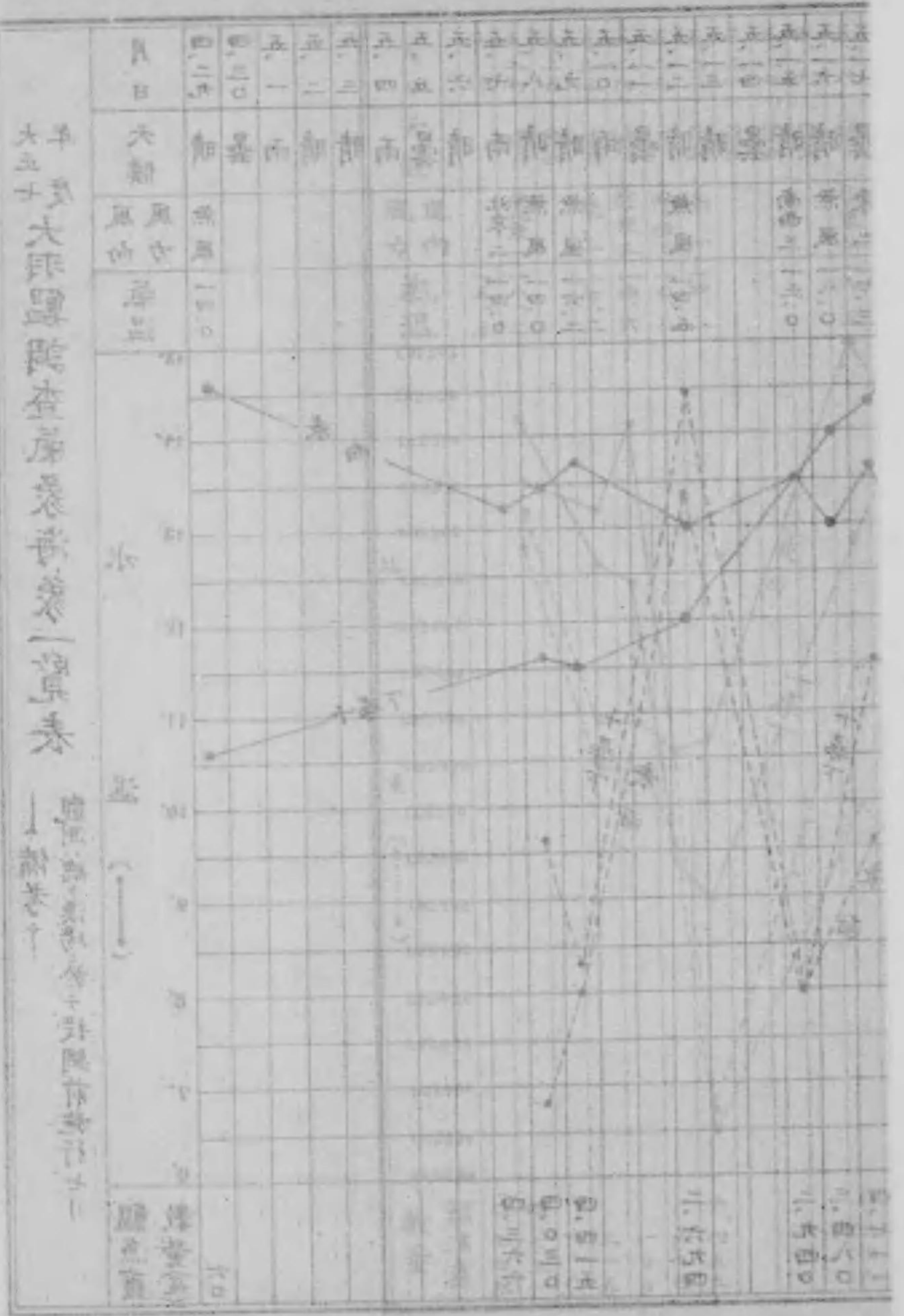
月日	天候	風向	風力	氣温	水温	氣温	鰺漁獲數量(尾)
五月一日	雨						六〇
五月二日	曇						
五月三日	晴	無風	無	一四、〇			



月日	位置	風力	風向	氣壓	氣温	水深	水温	比重	向速度	時間	數量	備考
四月二十九日	寺泊西沖	無	無	七〇	一四、〇	表面	一四、〇	一〇、〇	緩	前	六〇	
五月七日	石地北	無	無	七〇	一四、〇	表面	一四、〇	一〇、〇	緩	前	六〇	
五月十五日	西泊	無	無	七〇	一四、〇	表面	一四、〇	一〇、〇	緩	前	六〇	
五月廿三日	西泊	無	無	七〇	一四、〇	表面	一四、〇	一〇、〇	緩	前	六〇	
五月廿九日	西泊	無	無	七〇	一四、〇	表面	一四、〇	一〇、〇	緩	前	六〇	
六月六日	北出	無	無	七〇	一四、〇	表面	一四、〇	一〇、〇	緩	前	六〇	
六月十四日	北出	無	無	七〇	一四、〇	表面	一四、〇	一〇、〇	緩	前	六〇	
六月廿二日	北出	無	無	七〇	一四、〇	表面	一四、〇	一〇、〇	緩	前	六〇	
六月三十日	北出	無	無	七〇	一四、〇	表面	一四、〇	一〇、〇	緩	前	六〇	
七月八日	北出	無	無	七〇	一四、〇	表面	一四、〇	一〇、〇	緩	前	六〇	
七月十六日	北出	無	無	七〇	一四、〇	表面	一四、〇	一〇、〇	緩	前	六〇	
七月廿四日	北出	無	無	七〇	一四、〇	表面	一四、〇	一〇、〇	緩	前	六〇	
七月卅一日	北出	無	無	七〇	一四、〇	表面	一四、〇	一〇、〇	緩	前	六〇	

大正七年 大羽鯿調查氣象海象一覽表
 備考
 觀測總場於投網前施行





大正六年六月八日ヨリ十八日ニ至ル間ニシテ漁船ハ本場試験船三十馬力高圧縮式ニタイタル複筒輕油

ク	二十一日	出雲崎曇	六、〇	和	表面二〇、七 二五、九 三〇、三	西	東	前後七、〇	六、四五	水温ニ大變動ヲ認ム
ク	二十二日	北	六、〇	和	表面二〇、七 二五、九 三〇、三	西	東	前後七、〇	六、四五	水温ニ大變動ヲ認ム
ク	五月	西	六、〇	西	表面二〇、七 二五、九 三〇、三	西	東	前後七、〇	六、四五	水温ニ大變動ヲ認ム
ク	二十三日	西	六、〇	西	表面二〇、七 二五、九 三〇、三	西	東	前後七、〇	六、四五	水温ニ大變動ヲ認ム
ク	二十四日	西	六、〇	西	表面二〇、七 二五、九 三〇、三	西	東	前後七、〇	六、四五	水温ニ大變動ヲ認ム
ク	二十五日	西	六、〇	西	表面二〇、七 二五、九 三〇、三	西	東	前後七、〇	六、四五	水温ニ大變動ヲ認ム
ク	二十七日	西	六、〇	西	表面二〇、七 二五、九 三〇、三	西	東	前後七、〇	六、四五	水温ニ大變動ヲ認ム

一、打瀬網漁業試験

本試験ハ前年度ヨリノ經驗事業ニシテ其目的タルヤ本漁業ガ本縣ノ海面中如何ナル區域ニ適スルヤ他漁業トノ關係如何ヲ調査スルニアリ依ツテ便宜上前年度ト同ジク發動機船ヲ使用シテ堅良法ヲ採用セリ

出來得ベクンバ縣下全海ニ就テ調査スベカリシモ時日ハ到底之ヲ許サズ廣ク難駁ナル調査ヲ施行セムヨリハ寧ロ地形上到底見込ナキ地方ヲ除キテ充分ナル調査ヲナスニ若カズ此主旨ニ從ツテ試験シタル結果本年ヲ以テ大体ノ調査ヲ完了スル得タリ

本試験期間ノ前後ニ於テハ他ノ場務ノタメ試験船ヲ使用スルノ止ムヲ得サルニ際會シ實際試験セル期間ハ六月八日ヨリ同十八日ニ至ル十一日間ニ過ガザリキ其經過ノ詳細ハ後掲日誌ニ讓リ茲ニハ唯試験ノ方法及結果ヲ述ベムトス即チ左ノ如シ

試験ノ方法

試験期間ハ前述ノ如ク六月八日ヨリ十八日ニ至ル十一日間ニシテ漁船ハ本場試験船三十馬力高圧縮式ニタイタル複筒輕油

發動機付二十トクケツテ型帆船彌彦丸ヲ使用シ堅曳法ニヨリ漁網ハ新タニ八節目網一統ヲ新調シ前年來使用セル九節目網及二寸五分目網ト併用セリ新調八節目網ノ構造左ノ如シ

八節目打瀬網設計書

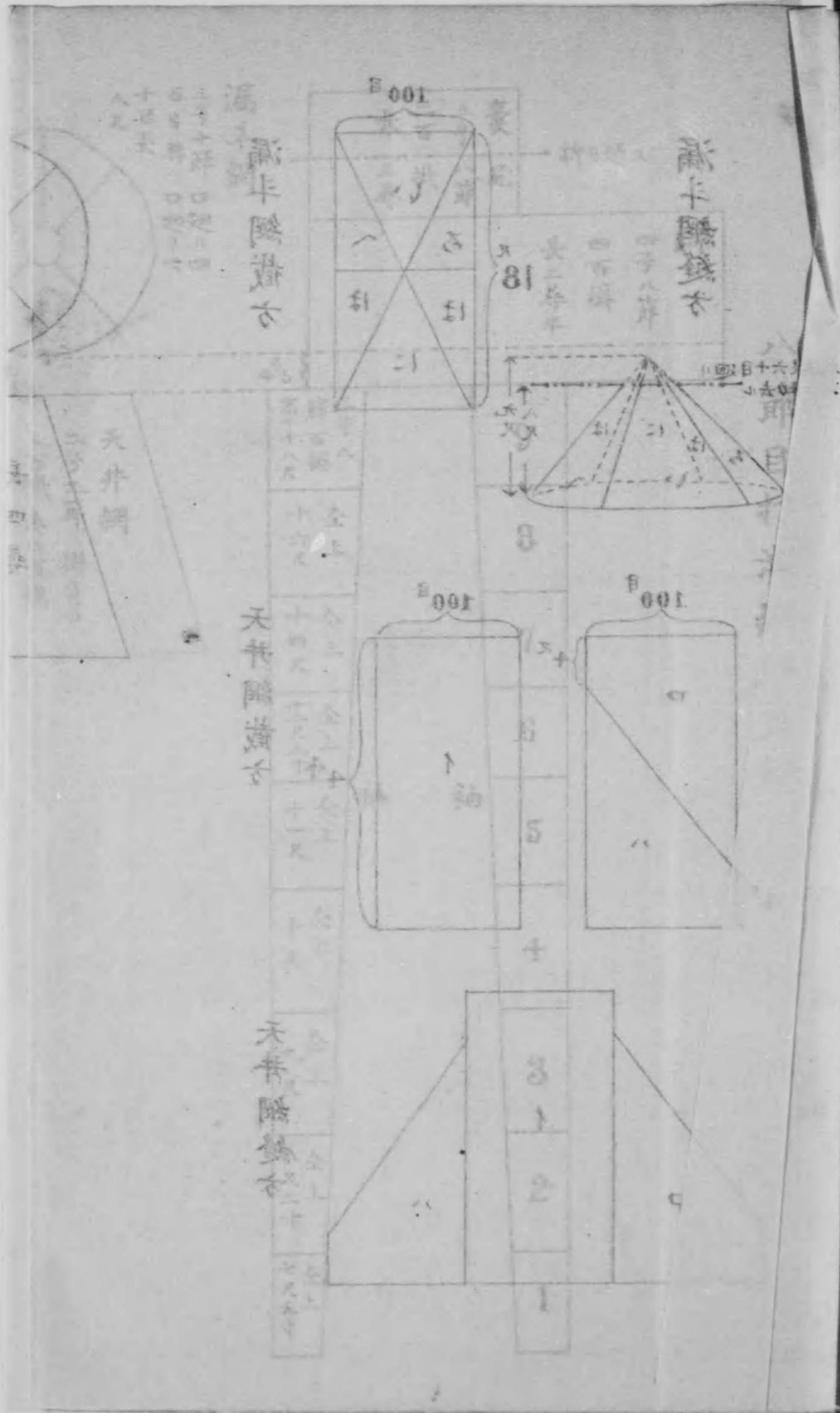
(圖面参照)

材料へ總テ二十番手綿糸ニシテ目ハ本目編ナリ

- (一) 胴 網 三角網ヲ挿入セズ筒型ナリ四号八節四百掛筒型長三尋半
- (二) 囊 尻 五号八節二百掛長三尋ヲ折リ通ス
- (三) 漏斗 網 三号十節口廻リ四百目奥口廻リ六十目長八尺
- (四) 袖 網 九反ヨリ成ル左ノ如シ

- 1 (袖端)三号八節百掛高サ七尺五寸
- 2 同上八尺二寸
- 3 同上九尺
- 4 同上十尺
- 5 同上十一尺
- 6 同上十二尺五寸
- 7 同上十四尺
- 8 同上十六尺
- 9 同上十八尺
- 五) 天井網 二号九節掛目口三百掛奥口百掛長四尋

- (六) 目通糸 徑七厘岩糸全部八十尋
- (七) 力 網 徑二分五厘麻網五尋折リ返ス二條
- (八) 浮子網 徑三分マニラ網長二十八尋二條外ニ天井網前口用トシテ五尋四尺二條
- (九) 沈子網 二條左ノ通り
- (十) 岩通シ 徑四分囊網長二十八尋一條
- (十一) ねばせ 徑一寸囊網長同上二條
- (十二) 浮子 袖用大浮子 捺長一尺二分巾二寸厚六分五厘六十二枚
天井網用小浮子 同長一尺一分巾一寸七分厚サ六分五厘十枚
- (十三) 沈子 藥掛陶器筒型五十枚付二百六十個十三貫目
- (十四) 縮結方 縮結方
- イ) 天井網縮結左ノ通り
- 側 三尋三尺(目通糸四尋)
- 前口 五尋四尺(目通糸モ五尋四尺)
- 奥口 四尺(目通糸四尺五寸)
- ロ) 袖縮結左ノ通り
- 1 八尺五寸 (目通糸九尺)
- 2 八尺 (目通糸八尺五寸)



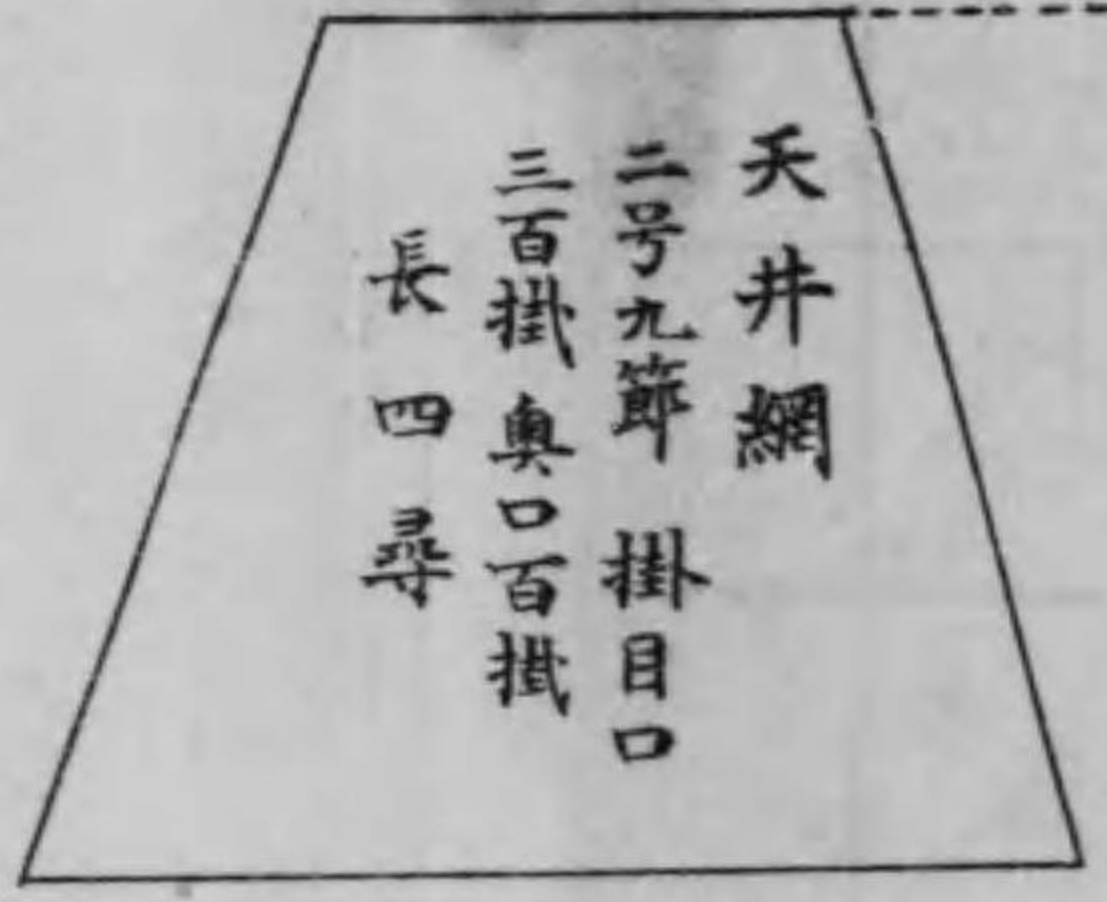
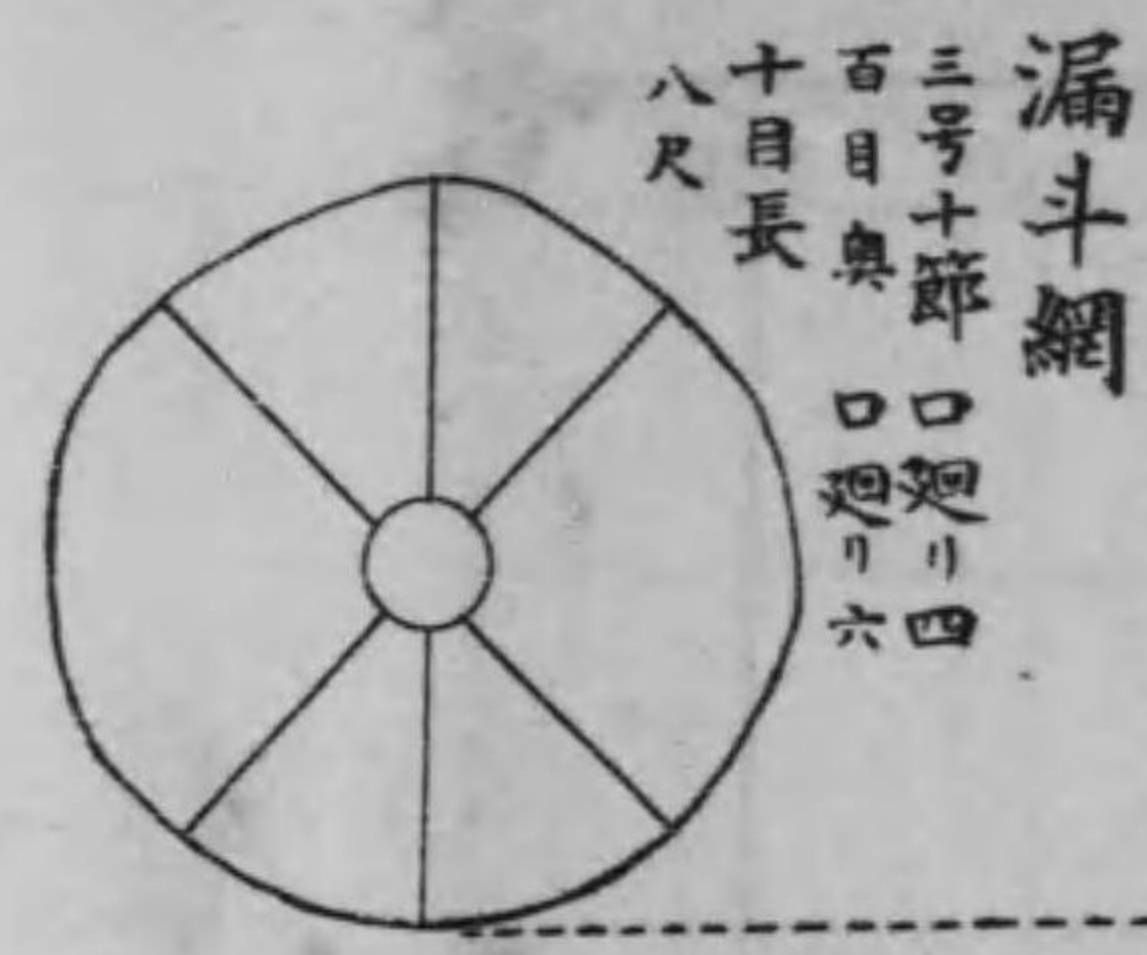
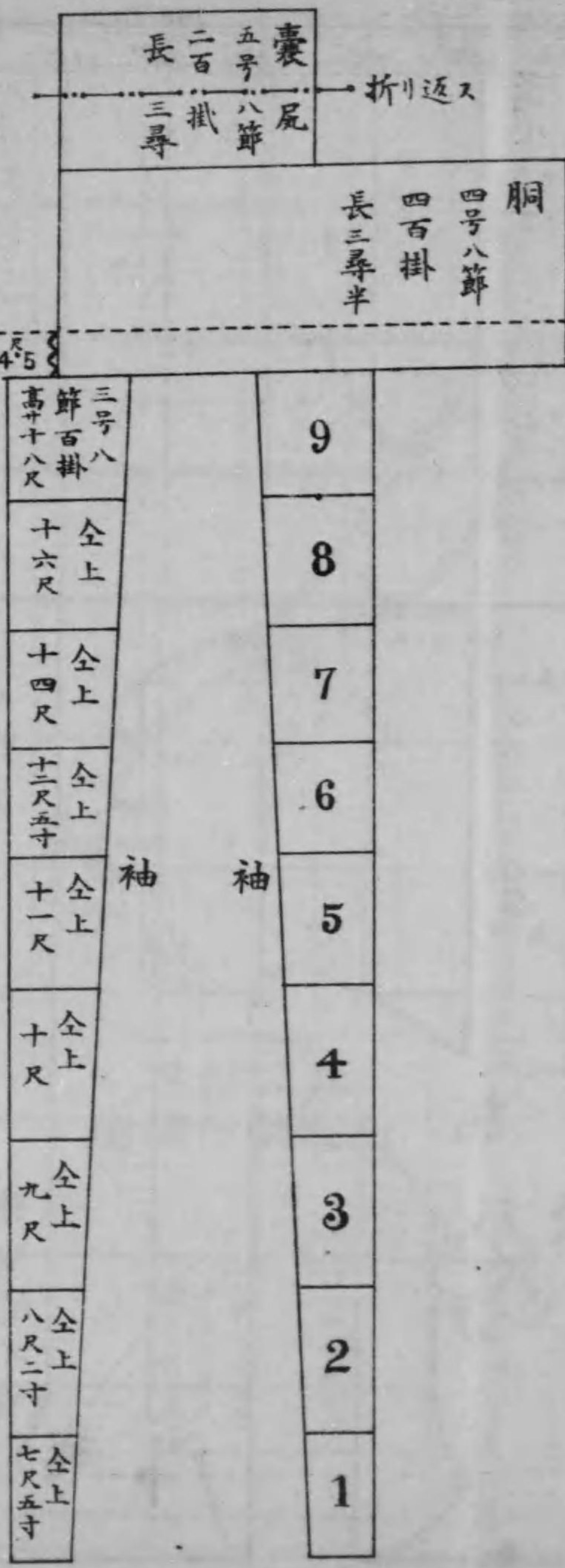
3 同 上 (目通糸同前) (五寸)
 4 七尺五寸 (目通糸八尺)
 5 同 上 (目通糸同前)
 6 同 上 (目通糸同前)
 7 七尺 (目通糸七尺五寸)
 8 同 上 (目通糸同前)
 9 同 上 (目通糸同前)
 合計六十八尺即チ十三尋三尺(目通糸合計七十二尺五寸即チ十四尋二尺五寸)
 漁場 前述ノ如ク本試験ノ目的ハ本縣海面中如何ナル區域ニ適スルヤ他漁業トノ關係如何ヲ調査スルヲ以テ主眼トセルヲ以テ成ルヘク前年度未調査ノ海面ニ於テ試験セリ本年度及ヒ前年度ニ於ケル試験ノ區域左ノ如シ(附圖參照)
 本年度試験區域
 イ 彌彦鼻角田鼻間四十尋以内
 ロ 角田鼻新瀨間五十尋以内
 ハ 新潟湖波間六十五尋以内
 ニ 粟生島水道附近六十尋以内
 前年度試験區域中本年度試験セザリシ區域
 ホ 出雲崎寺泊間五十尋以内
 ヘ 追中イカ場七八十尋
 ト 両津灣四十尋以内

漁場 前述ノ如ク本試験ノ目的ハ本縣海面中如何ナル區域ニ適スルヤ他漁業トノ關係如何ヲ調査スルヲ以テ主眼トセルヲ以テ或ルヘク前年度未調査ノ海面ニ於テ試験セリ本年度及ヒ前年度ニ於ケル試験ノ區域左ノ如シ(附圖參照)

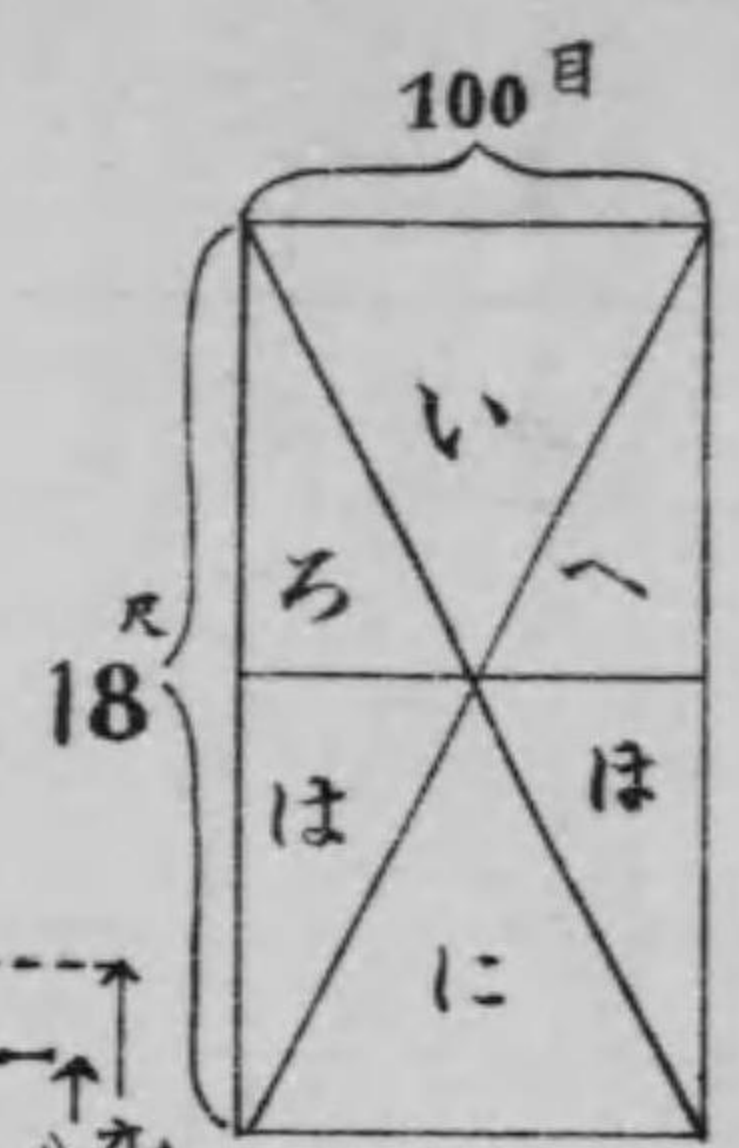
本年度試驗區域

- イ 彌彦鼻角田鼻間四十尋以内
 - ロ 角田鼻新瀨間五十尋以内
 - ハ 新瀨波間六十五尋以内
 - ニ 粟生島水道附近六十尋以内
- 前年度試驗區域中本年度試験セザリシ區域
- ホ 出雲崎寺泊間五十尋以内
 - ヘ 蓮中イカ場七八十尋
 - ト 河津灣四十尋以内

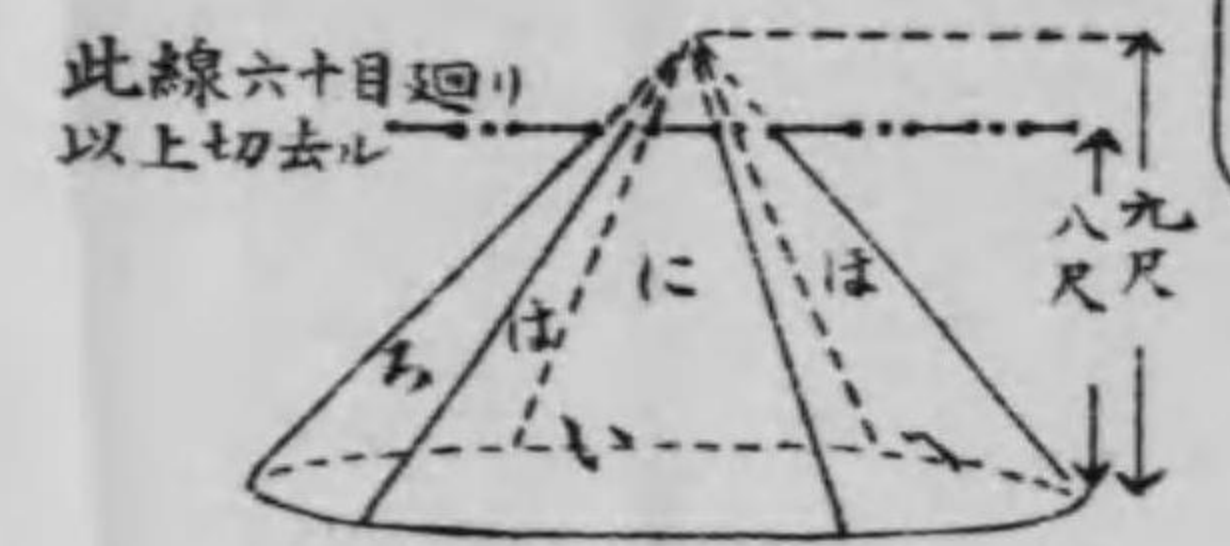
八節目打瀬網仕立圖



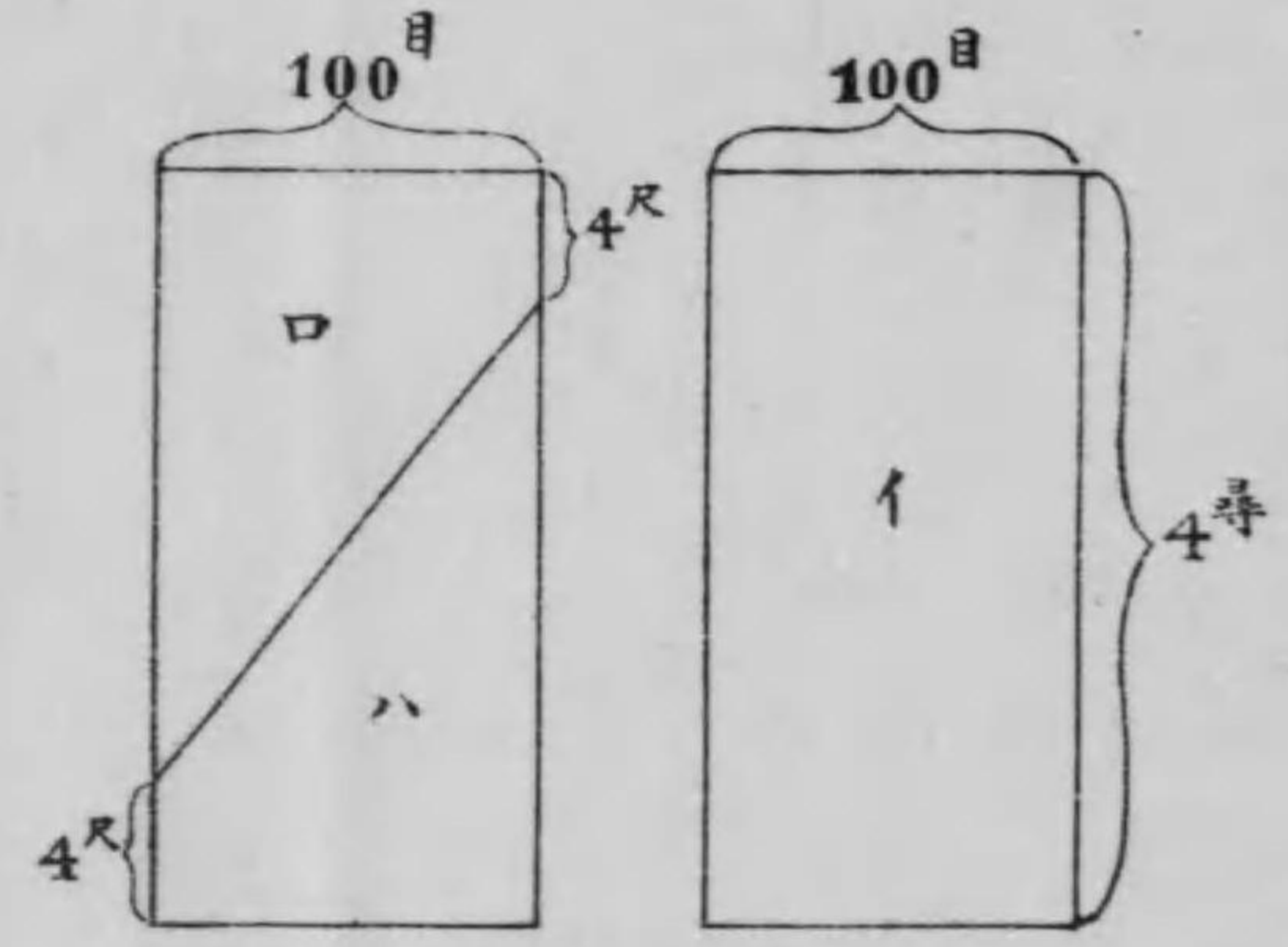
漏斗網截方



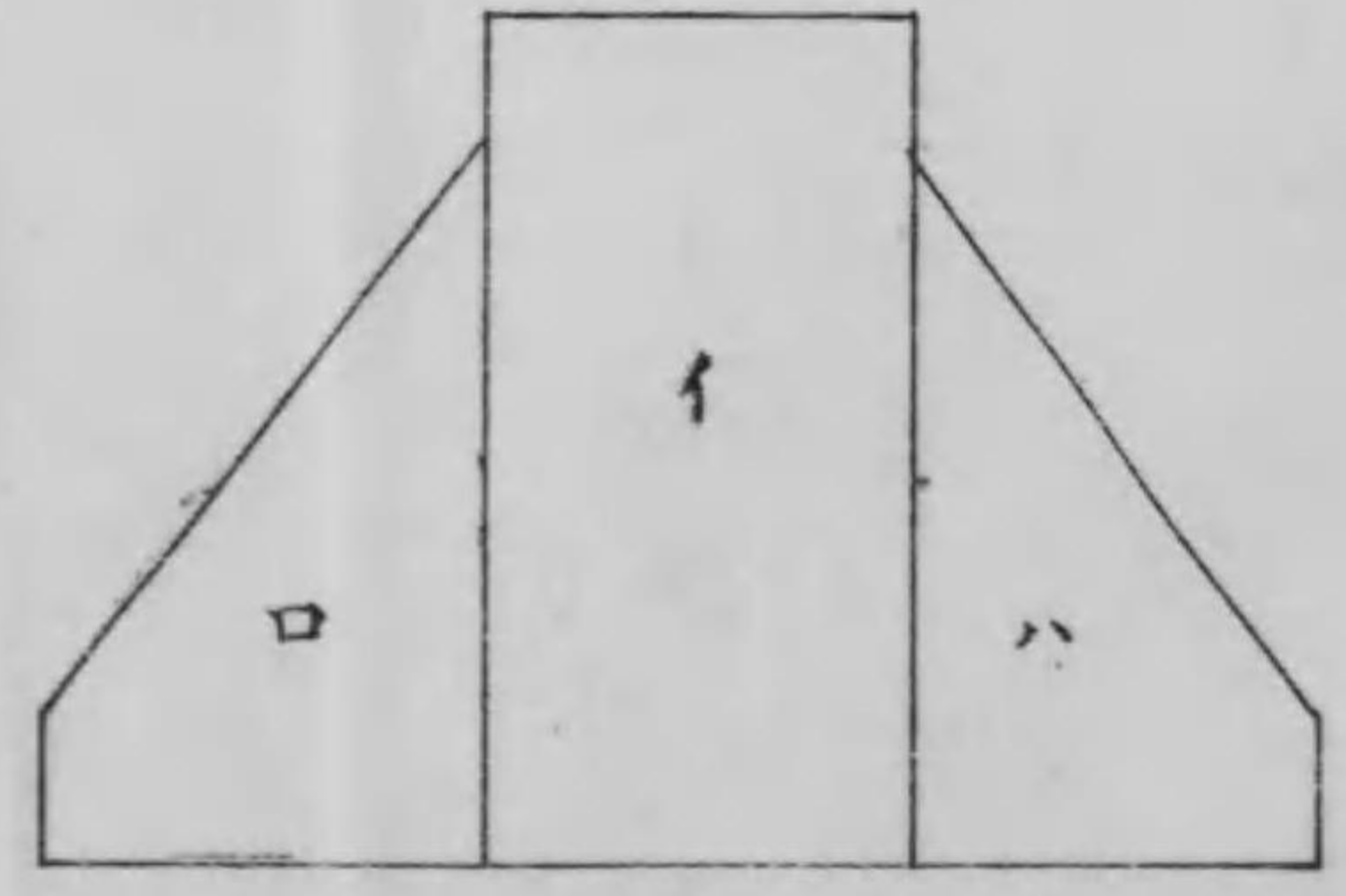
漏斗網縫方



天井網截方



天井網縫方





結果

前記本年度試験區域「イ」「ロ」ニ於テ試験シタルニ結果良好ニシテ殊ニ粟生島水道附近ニ於テハ平目小鯛ノ如キ優等魚最モ豊富ナルヲ知レリ且ツ同地方ハ本漁業ニ適スル七十尋以内ノ面積廣大ニシテ底質亦泥土ナルヲ以テ將來最モ有望ナル打瀬網漁場トシテ推奨スルヲ指カス漁場廣キガ故ニ他漁業ト衝突スルノ虞少キ事亦注目ニ價スベシ

新潟瀬波間漁場(ハ)ハ他漁業トノ衝突又憂フベキ程度ノモノアラザルモ漁獲高ニ於テハ前記粟生島水道附近ニ劣ルガ如ク且ツヤ、モスレハ信濃川ヨリ流出スル塵芥流木ノ爲メ漁業ヲ妨グラレシコトアリ然レ共新潟以北ニ於テハ良好ナル港灣ナキヲ以テ本漁場ニ出漁スルノ止ムヲ得ザルコトアリ

彌彦鼻角田鼻間(イ)及角田鼻新潟間(ロ)ハ漁獲高ニ於テモ粟生島水道附近ニ比シ稍々遜色アルガ如ク且ツ漁場ノ面積比較的狹隘ナルニ出漁船ハ却ツテ遙カニ多數ナルヲ以テ之ト纏絡ヲ避クベク可成リ注意ヲ要セリ

更ニ前年度試験ニ係ル漁場ニ就テ述ベンニ出雲崎寺泊間(ホ)及兩津灣(ト)ハ前記彌彦―角田―新潟間ニ於ケルガ如ク漁獲物モ粟生島水道ニ比シテ劣ルガ如ク他漁業トノ關係ニ就テモ亦可成リ注意ヲ要セリ

連中イカ場(ハ)ハ沖合遠キ漁場ナルヲ以テ出漁ニ不便ナリト雖モ鯧小鯛及はちめ(俗ニせいはいト稱スル種類)豊富ニシテ他漁業ト衝突スル虞絶對ニ無キ好漁場ナリ

次ニ漁網ニ就テ一言セシニ本年度ハ九節目八節目二寸五分目ノ三統ヲ使用シ前年度ニ於テハ最小十四節目網迄試用セルガ本年度使用ノ三統ハ其優劣少キヲ證メタルモ十四節目網ノ如キハ稚魚ヲ濫獲スルノ虞アルニ係ラズ其効果少キガ如シ蓋シ本縣ニ於テ本漁業ノ目的魚タルベキモノハ比較的大型ナル平目、鯛、小鯛、甘鯛、はらばら、金頭、鯧、鱈等ナルヲ以テナリ

以上前年度來試験ノ結果ニ徴スルニ本縣ニ於ケル打瀬網漁業ハ其方法宜シキヲ得バ他漁業トノ關係優慮スベキモノナク最モ有望ナル漁業ナルベシ尙本漁業ノ經濟的價値ニ就テハ次年度以降ノ經濟試驗ニ埃タントス

七年度正打瀬網試驗日誌

日	月	號	符	場	漁
六、八	イ	イ	曇	曇	曇
六、九	ロ	ロ	曇	曇	曇
六、一〇	一	一	雨	雨	雨
六、一一	一	一	曇	曇	曇
六、一二	一	一	曇	曇	曇
六、一三	イ	イ	晴	晴	晴
六、一四	ロ	ロ	曇	曇	曇
六、一五	ハ	ハ	晴	晴	晴
六、一六	ニ	ニ	曇	曇	曇
六、一七	ハ	ハ	曇	曇	曇
六、一八	ニ	ニ	曇	曇	曇
六、一九	ハ	ハ	曇	曇	曇

日	月	號	符	場	漁
六、八	イ	イ	曇	曇	曇
六、九	ロ	ロ	曇	曇	曇
六、一〇	一	一	雨	雨	雨
六、一一	一	一	曇	曇	曇
六、一二	一	一	曇	曇	曇
六、一三	イ	イ	晴	晴	晴
六、一四	ロ	ロ	曇	曇	曇
六、一五	ハ	ハ	晴	晴	晴
六、一六	ニ	ニ	曇	曇	曇
六、一七	ハ	ハ	曇	曇	曇
六、一八	ニ	ニ	曇	曇	曇
六、一九	ハ	ハ	曇	曇	曇

三、沖合漁場探検

本年度沖合漁場探検ハ七月十二日ヨリ九月二十一日ニ至ル間ニ於テ施行シタルモ其間定期海洋観測其他ノ場務ノ爲メニ費シタル日數多ク本探検ニ從事シタルハ通計三十五日間ナリ而シテ其探検ノ時期場所及目的ニヨリ左ノ三種ニ区分シテ施行セリ

- (一) 佐渡沿岸柔魚、秋刀魚、鯛漁場探検(自七月十二日至同二十四日十三日間)
 - (二) 佐渡沖合漁場探検(自八月二十五日至同二十九日五日間)
 - (三) 縣下沖合漁場探検(自九月五日至同二十一日十七日間)
- 依ツテ左ニ此ノ三調査ニ就キ順ヲ追フテ述ブベシ(本文中ニ現ヘレタル各地名ハ別項打瀬網漁場圖中ニ記入シ置ケリ)

第一、佐渡沿岸柔魚、秋刀魚、鯛漁場探検

本探検ハ柔魚群ノ洄游状態其ノ厚薄等ノ調査及ビ秋刀魚洄游ノ状況並ニ鯛漁場ノ調査等ヲ目的トシテ實施シタルモノニシテ其ノ期間ハ七月十二日ヨリ同二十四日迄ノ十三日間ナリ

經 過

七月十二日塙地寺泊ヲ發シ寺泊赤泊間ノ海洋観測ヲナシツ、赤泊ニ着シ翌朝小木ニ入り柔魚釣具ノ購入ヲナシ翌十四日小木出帆同所沖合ニテ晝柔魚釣ヲ試ミタルニ更ニ漁獲ナク且ツ天候不穩ナルヲ以テ午后四時小木ニ入り碇泊其儘二日間同地ニ碇泊セリ

同十七日ハ燃料其他船具ノ補給ヲナス爲メ新潟ニ向ヒ午後四時半全地ニ入り翌十八日午前十一時出帆佐渡郡和木ヨリ機關見習生一名ヲ乘リ組マシムル目的ヲ以テ全地ニ向ヒ午後七時着上陸ノ上打合セラナシ全地ニ碇泊

十九日出帆後午前十二時二ツ龜ヲ通過シ午後一時同所ヨリ西北西十五哩ノ所ニ於テ柔魚釣ヲナセシモ漁獲皆無ナリ因ツテ更ニ同方面ニ四哩航走ノ後チ其儘泛流再ビ晝柔魚釣ヲ試ミシニ是亦漁獲皆無ナリシモ其儘繼續シテ夕刻ニ至リさんま流網六把ヲ投網シ一方柔魚釣ヲナシツ、夜半ニ至リ揚網セシニ網ハ然ノタメ棒狀トナリ漁獲皆無ナリキ揚網後ハ連者ニ向ヒ天明ト共ニ同地ニ入り碇泊シ網ノ乾燥ヲナス

二十日午后三時出帆全所ヨリ西七哩ノ所ニ至リ午後七時ヨリさんま網ヲ投入シ一方柔魚釣ヲナセシニ柔魚數尾ヲ釣獲シ流網ニハ鱒仔五尾ノ罹網ヲ見ル夜半揚網二見灣内河原田濱ニ至リテ網ノ乾燥ヲナス

二十一日ノ天候ハ沖合風強ク所謂海時化ト稱スル天候ナルヲ以テ其儘碇泊セルニ夜半雨トナリ錨地變更碇泊ス

二十二日午后四時半出帆田切須鼻西南西四哩ノ所ニテ全七時ヨリ九時迄ノ二時間ニ六尾ノ柔魚ヲ釣獲シ其後漁場ヲ變更シ澤崎一渾沖ニ至リ全十一時迄更ニ柔魚釣ヲナセシニ二十六尾ノ漁獲アリシヲ以テ之ヲ餌料トシテ内佐渡大石沖三十尋ノ所ニテ網延繩三十鉢ヲ使用セルニ僅カニ一尾ノ漁獲ニ過ギズ翌日午前九時過ギ揚網ヲ終リ小木ニ入り碇泊ス

二十三日小木入港後漁具ノ乾燥ヲ終リ全日午後七時出帆同所ヨリ南東八哩ノ所ニテ柔魚釣ヲナセシニ全十一時半迄ノ四時間ニテ四十六尾ノ釣獲ヲナシ翌朝午前五時半寺泊ニ歸着シ本探検ヲ終了ス

結 果

以上ノ經過ニ依リテ見レバ本年度佐渡ヲ中心トシタル其周圍ニ於ケル海洋ノ柔魚洄游状態ハ例年ト反對ニ其西南海及越佐水道區ニ比較的饒多ニシテ北西海區ニ於テハ皆無ナリ

又秋刀魚ニアリテハ春季五六月ノ頃ハ既ニ明治四十二年ヨリ同四十四年ニ渉ル三ヶ年ノ試験ニヨルモ多少其來游ヲ認ムルニ反シ本期ニ入りテハ水温ノ上昇ト共ニ遠ク北方ニ去リ其跡ヲ絶ツニ非ザルカ勿論僅々二回ノ流網ニ過ギザルヲ以テ未ダ速断シ難キニヨリ次年度ニ於テハ一層沖合ニ於テ本探検ヲナシ之ガ結果ヲ發表セムトス

網去來ノ状態ハ越後海ニアリテハ六月以後ハ其生殖作用ヲ終了シ逐次沖合ニ去ルヲ常トセルカ佐渡近海ニ於テモ亦同一狀

離シテ本期ニ於テハ既ニ其濃厚ナルモノヲ見ルヲ得ザリキ只ダ越後海ニ比較シテ異ル点ハ尙殘留セルモノ、棲息區域水深ニ於テ十尋乃至二十尋淺所ニアルモノ、如ク尙當業者ノ言亦タ一致セルヲ見ル

第二、佐渡沖合漁場探檢

本探檢ハ八月二十五日ヨリ二十九日ニ至ル五日間ナリ本期間元ヨリ短少ナルヲ以テ先ヅ昨年七月發見セル瓢箪礁ニツキ本年度ヘ一ヶ月遲キ此期間ニ於テ再ビ其漁獲物ノ探檢調査ヲナスヲ以テ主眼トセリ
二十五日新潟ヲ出帆シ同夜ハ鷲崎近海ニ於テ餌料「イカ」ヲ釣獲シ翌二十六日朝瓢箪礁ニ到着シ礁上ニ投錨ノ後テ一本釣ヲ垂レシモ昨年ニ比シハちゆめ鮫共ニ漁獲割合ニ薄ク鮫ハ昨年ト等シク發見セザリキ
翌二十七日朝瓢箪礁ヲ發シ達者ニ着シ同地柔魚漁船十三隻ヲ牽引シテ沖合ニ至リ沖台漁場ノ有望ナルヲ實見セシム
翌朝歸途流木ニ鱈ノ付ケルモノアリ依ツテ停船シ之ヲ釣リ姫津沖ニ於テ全船ヲ解放シ小木ニ入ル
翌二十九日午前小木漁業組合員等ヲ招集シ同地沖合漁場探檢計畫ニツキ打合ヲナシタル後テ同日午後十時寺泊ニ歸場ス
右ノ如ク漁場ノ都合ニヨリ本探檢ノ主眼トスル瓢箪礁探檢ハ五日ノ期間中一日ニ過ギザリシモ而モ來年度同礁探檢ノ曙光ヲ認ムルヲ得又タ親シク當業者ヲ誘導啓發スルニカメタリ

第三、縣下沖合漁礁探檢

主 旨

本探檢ノ主旨ハ本縣沿岸所在ニ於テ古來傳説等ニヨリ漁礁ノ存在ヲ想像セラレ、モ民間トシテ之ガ秩序的探檢ヲ遂行シ得ザル爲メ發見スルニ至ラザルモノ例ヘバ昨年七月本場ノ發見ニ係ル瓢箪礁ノ如キモノ多クアルベキヲ考慮シタルヲ以テ是等傳説ヲ基礎トシテ漁礁ノ探檢ヲナスヲ目的トセリ之カ爲メ曩ニ六月初旬縣下漁業組合等百數十ヶ所ニ照合シタリ然ルニ其結果回答シ來ルモノ案外少數ニシテ左記七ヶ所ニ過ギズ尙且ツ其大部分ハ己ニ發見ノ漁礁ニシテ其探檢申請ノ目的ハ多ク漁礁ノ搜索ニアラズシテ己發見ノ漁礁又ハ障害物ノ測量ナリキ故ニ本年度本探檢ニ於テハ新ニ發見セル漁礁等ナク唯將來ノ探檢ニツキ基本的調査ヲナスニ止メタリ

- 一、西頸城郡市振沖鰯漁場
 - 二、同郡名立小泊沖鰯漁場
 - 三、西蒲原郡角田沖鰯場手繰網障害物
 - 四、岩船郡楯谷沖網延繩障害物
 - 五、佐渡郡姫津沖鰯漁場
 - 六、同郡水津沖鰯漁場
 - 七、下宿沖〔笹ノ前ノ大城〕ト傳ヘラル、鰯漁場
- 右ノ内市振沖及姫津沖漁場ノ探檢ハ價值少キヲ以テ之ヲナサズ、楯谷及水津沖漁場ハ天候及期間ノ都合上探檢スルヲ得ザリキ

經 過

本探檢ハ前記日程ニ示スガ如ク九月五日ヨリ同二十一日ニ至ル十七日間ナルモ此間荒天及場務ノ爲メ碇泊六日ニシテ操船日數十一日間ナリキ
五日午前八時半寺泊發西頸城郡名立小泊ニ至リ探檢ニ關スル打合ヲナス翌六日午前五時同地漁業組合員二名ヲ同乗セシメ探檢ヲ行フ然レトモ同地漁業組合ノ希望スル所ハ同地沖合新漁場ノ發見ニアラズ又沖合遠ク新漁場ノ存在ヲ推定スベク何等ノ傳説等アルニアラズ依テ敢テ敢テ新發見ノ漁礁トイフニアラザルモ附近漁礁中ニ於ケル比較的遠方ノ常ニ出漁セザル漁礁ニツキ一本釣試驗ヲ施行シ併セテ同地沖合漁礁ノ確脈ニツキテ測量ヲ施行セリ一本釣ヲ施行シタル地点ニ於テハ短時間

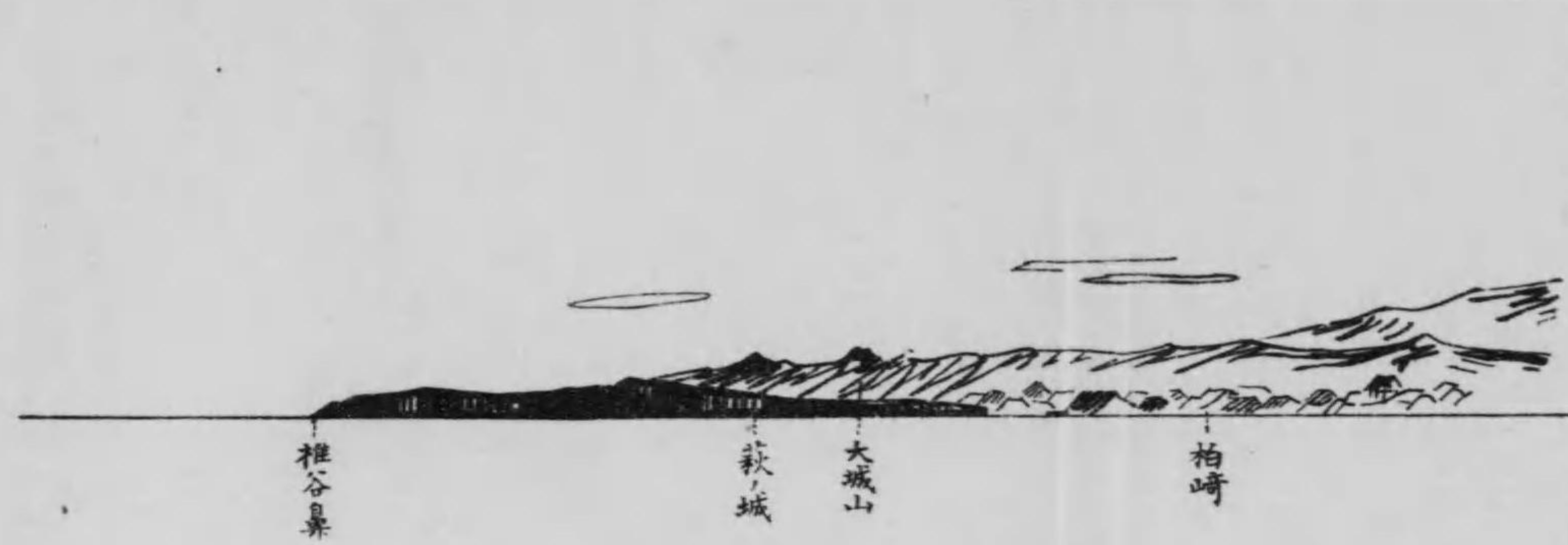
大正七年九月六日施行
名立小泊鮭漁場探檢圖



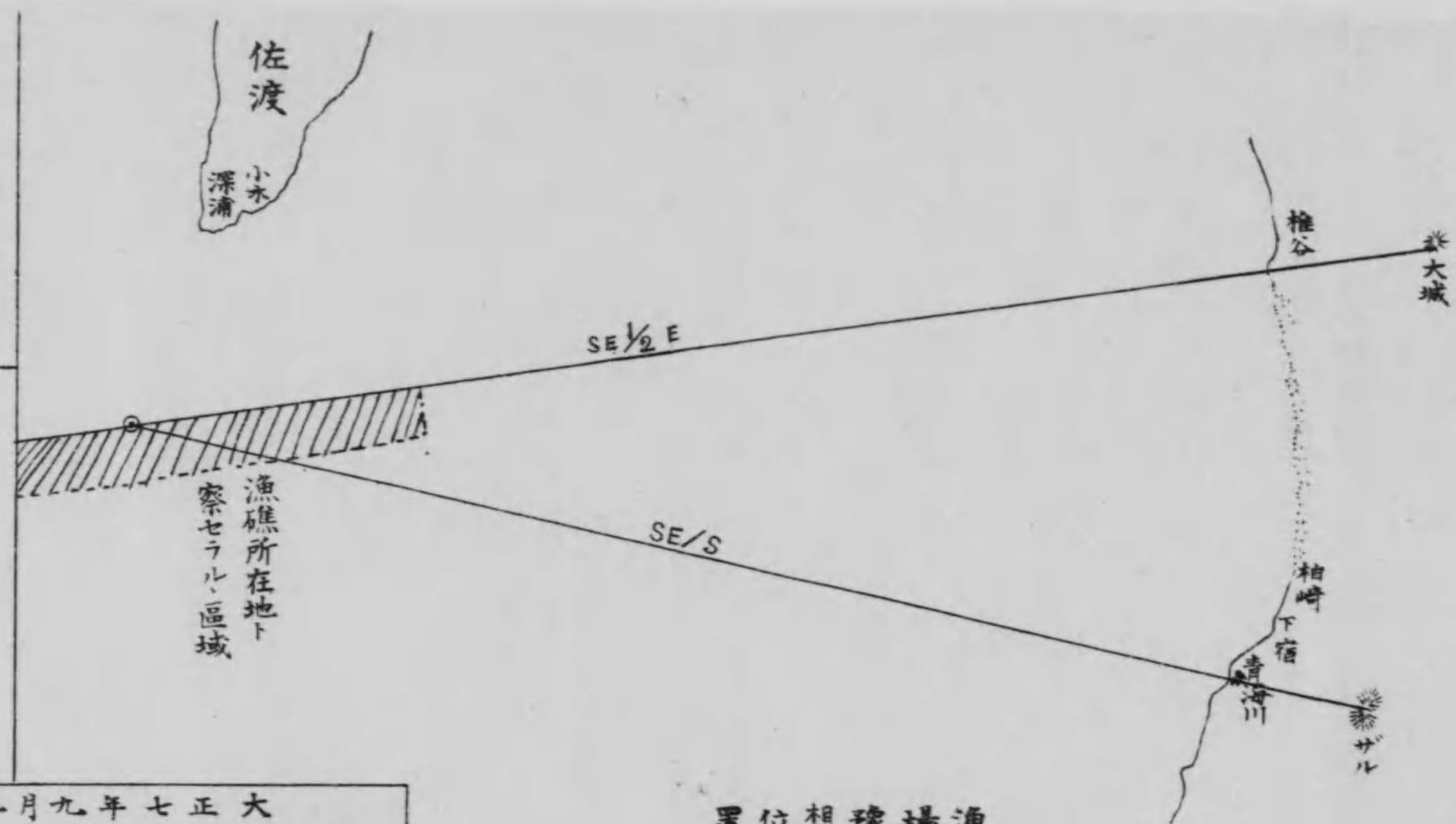
備考
 一 ○ 鮭漁場概略位置ヲ示ス
 二 ↑ ハ 探檢航跡ヲ示ス
 三 ○ ○ ハ 測地矣ヲ示シ相互間隔一哩トス
 四 I II III 等ハ 測地矣ノ順序ヲ示ス
 五 182 85 等ハ 深度ヲ示シ單位ハ「フアゾム」トス
 六 m. T. S. c.s. gel. m. 等ハ 底質ヲ示スコトヲ加シ
 m. 泥 T. 岩 S. 砂 c.s. 粗砂 G. 黑色 G. 黄色

大城二尾はちり一尾ヲ釣獲セリ(附圖參照)午后八時半同乗者ヲ上陸セシメタル後市振ニ向フ
 翌七日市振ニ着シ漁場探檢ニツキ打合ヲナシタルトモ探檢申請ノ理由ハ單ニ冬期眞鱈ノ沿岸ニ漂着スルコトアリト云フニ
 止リ探檢ノ價值少キヲ認メタリ然ルニ正午ニ至リ北風俄カニ強クナリタルヲ以テ出帆シ午后二時半富山縣生地ニ避難ス
 翌八日正午拔錨、夜鯨波沖ニ於テ柔魚釣ヲ試ミタルモ淺キニ過ギテ漁獲ナシ
 翌九日午前五時刈羽郡下宿入港打合ノ後同九時同地漁業者二名ヲ同乗セシメ同地ノ傳説ニヨル「依ノ前ノ大城」ナル鮭漁場
 探檢ノ山見ヲナス然シテ傳説ニヨレバ該漁礁ハ古ヘ同地一漁船ノ發見ニヨルト雖モ其山見トシテハ單ニ所謂大城山ヲ椎谷
 鼻ノ上ニ出シ依山ヲ青海川ノ上ニ出ストノミニテ其出シ方ニ關シテハ詳細ノ傳説ナキヲ以テ從ツテ其探檢區域甚ダ莫タル
 モノ加之其距離甚ダ遠ク到底僅少ノ期間ニ於テ發見スルヲ得ザルヲ以テ單ニ其山見ニツキ研究シ其探檢ハ後日ニ讓ルコト
 ヲセリ(附圖參照)

翌十日朝午前四時出帆前日ニ引キ續キ大城山ノ山見ヲナシタル後午后三時寺泊着翌十一日其儘碇泊
 翌十二日寺泊發新瀨ニ至ル
 翌十三日午前七時半新瀨發同十時半塩谷ニ着シ上陸シテ打合セテナサント短艇ヲ出シタルニ沿岸波高ク短艇轉覆セリ幸ヒ
 何等支障無キヲ得タルモ打合セスルニ由ナク且ツ天候不良ノ兆アルヲ以テ午后十時半新瀨歸着
 翌十四日午前六時出帆シタルモ波高キニヨリ出戻リ同九時半新瀨歸着
 翌十五日及十六日ハ荒天ノ爲メ碇泊シ十七日午前七時塩谷沖ニ至リタルモ本日亦沿岸波高ク到底上陸スルヲ得ズ且ツ天候
 險惡ニツキ加茂ニ入ル而シテ翌十八日及十九日ハ荒天ノ爲メ遂ニ出港スルヲ得ズ
 翌二十日出帆塩谷沖ヲ通過シタルニ本日比較的好風ナリシニ係ハラズ同地沖ニ至リ西風頓ニ強シ
 斯クノ如クニシテ遂ニ鹽谷ニ於テハ上陸スルヲ得ズ而モ上陸セザレバ探檢ノ方策ナキヲ以テ遺憾ナガラ同地探檢ヲ思ヒ切
 リ同九時新瀨入港



山城大ルタ見リ宿下

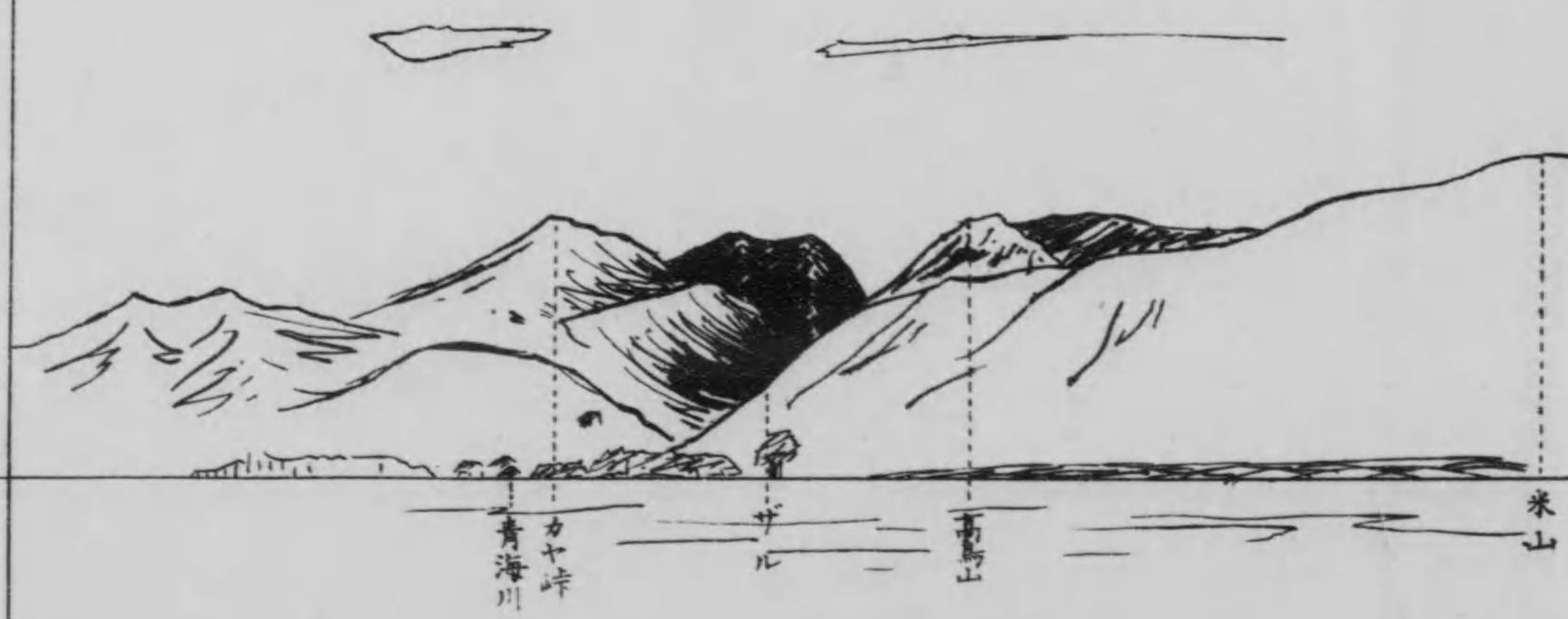


置位想豫場漁

大正七年九月十日調査
鯨魚場ガルノ前大城探險圖



見山ノ城大ル懸ニ上ノ谷椎
SE 1/2 E 4 1/2'



見山ノルガール懸ニ澤ノ川海青
湮三合沖置位ノ船
Bearing SE/S

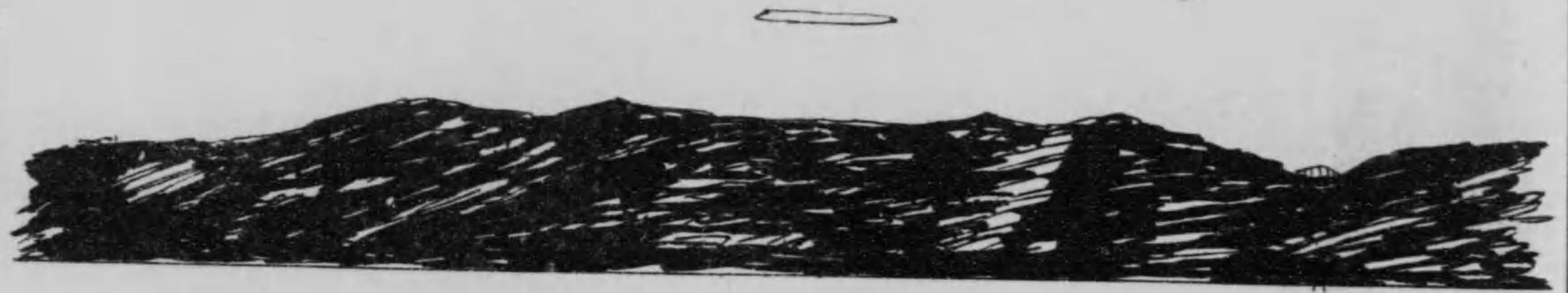
B.S.

Vertical text on the right margin, likely a log or notes, including the date '大正七年九月十日' and other illegible characters.



彌彦山
國上山

一其見山ノ礁大場鯨B



赤玉山

山望ヲ山北金ノ場漁

查詢日一十二月九年七正大
礁暗場網繰手浜田角

山望ヲ渡佐下リノ場漁

見山ノ礁林場鯨A



金北山

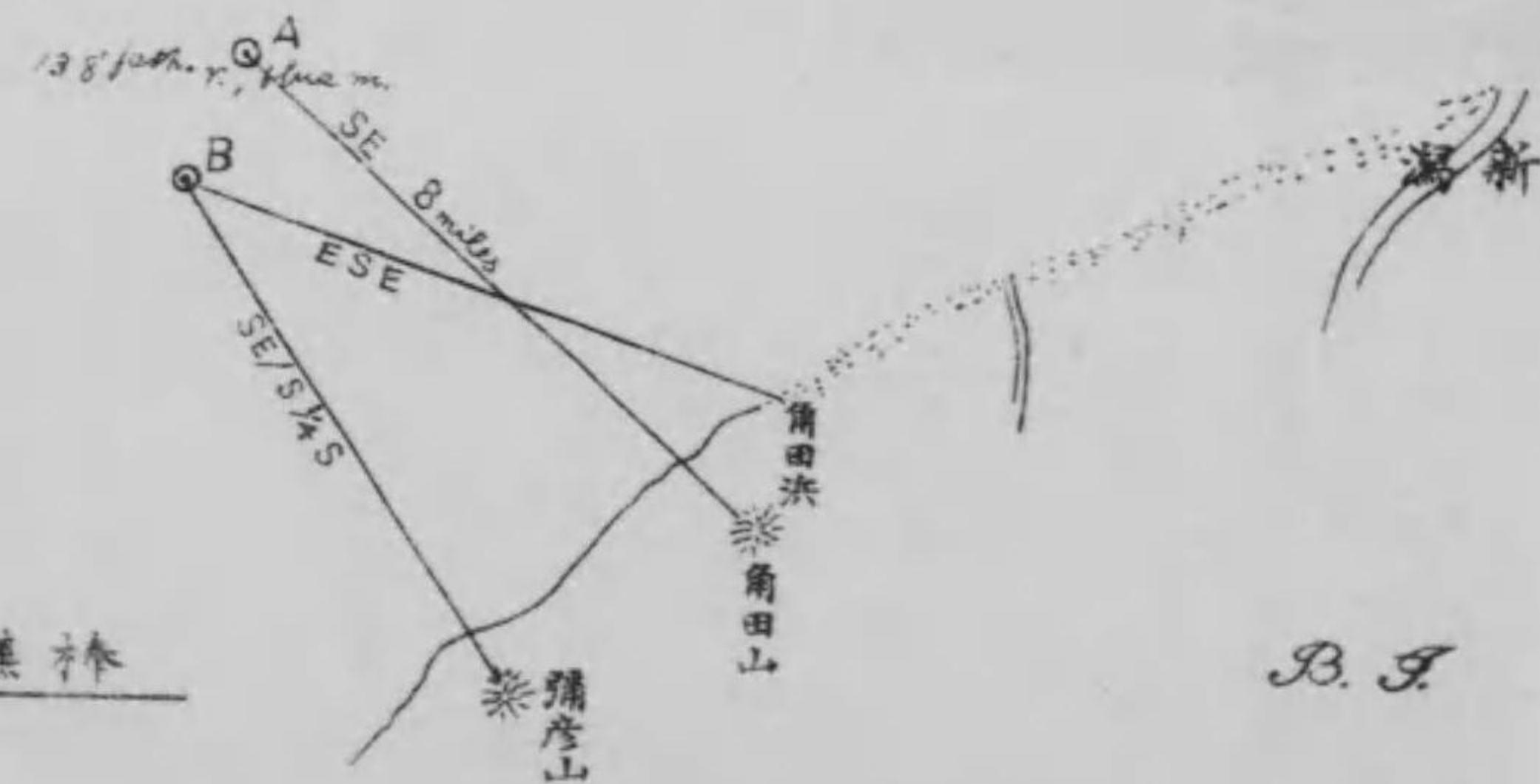
二其見山ノ礁大場鯨B

上 全



佐渡
松崎

置位ノ礁大及礁林



B. 9

翌二十一日角田ニ至リ同地沖鰹場大礁及棒礁ノ探検ニ從事セリ右二礁ハ己ニ發見ノ漁礁ニシテ深海手繰網漁者ガ屢々之ニ
 罹網シテ困難ヲ感ズルニヨリ本場宛其測量ヲ申請シタルモノナリ乃テ之ヲ調査セルニ當リ天候曇リテ山見甚ダ不充分ナリ
 シ爲メ同乗セル角田濱漁業者二名モ其位置ヲ明カニスルヲ得ズ棒礁ハ之ニ達シタルモ大礁ハ遂ニ到達スルヲ得ザリキ然レ
 トモ棒礁ハ調査ノ結果極メテ小ナルモノニシテ其ノ大サ形状ノ測量ハナス能ハズ又必要ナキヲ以テ唯羅針儀ト其他測量器
 械ニヨル方向距離並ビニ山見ノ圖ヲ求ムルニ止メタリ尙大礁ニツキテモ漁業者ノ稱スル其位置、附近ノ距離方向、山見ヲ
 求メ置キ後日ノ參考トセリ(附圖参照)

同日午后三時半寺泊歸場本年度漁場探検ヲ終了セリ

大正七年 沖合漁場探検日誌

月日	場置	天氣			氣象			海況			漁業種類	漁獲物	記	事
		候	風	風力	氣	温	水	比重	流	色				
七、二		晴		e 3	746								午後二時寺泊發午後七時赤泊着漁具準備ヲナス	
七、三		晴		ne2	744								午前十時赤泊發小木ニ至リ漁具購入ヲナス	
七、四	小木沖	雨		ne2	750								午前十一時小木發沖合ニ於テ晝柔魚釣ヲ試ミタルモ漁獲ナシ午後四時小木入港	
七、五		雨											天候不良碇泊	
七、六		曇		ne2	744								午前十一前小木出帆午後四時半新潟着石油其他消耗品積込	
七、七		雨		w 2	752								正午新潟出帆午後七時佐渡郡和木着	
七、八		雨		nw 1	75,2								午前八時十五分和木出帆午後一時鷺崎ヨリ西北西十五度ニテイカ釣更ニ同方向ヘ四度ノ点ニテイカ釣及サンマ網ニ從漁シタルモ網棒狀トナリ漁獲ナシ午後九時揚網	
七、九	鷺崎ヨリ wnw15 及19	雨		nw 1	75,2								急nw	

九二八	雨	s3	760	荒天碇泊
九一九	雨	nw3	756	全上
九一〇	雨	sw1	762	午前五時半加茂出帆樋谷沿岸ヲ通過セルニ波高ク寄ルヲ得ズ遂ニ同地探検ヲ中止ス午後九時新鵜着
九一一	曇	n1	766	午前五時半新鵜發同十時半角田着土地漁業者二名ヲ同乗セルメ大磯及碓氷調査ヲナス午後五時半泊着本年度漁場探検終了

四、鯖流網漁業囑托試験

本漁業ハ本場明治四十五年ヨリ昨大正六年ニ至ル繼續試験ニヨリテ其有望漁業タルヲ認メラレ縣下所在ニ經營セラルモノアリト雖モ末ダ佐渡外海ニ於テ經營セラル、モノナシ依ツテ本年度ハ同方面開拓ヲ旨トシテ本試験ヲ施行セリ
 本試験ハ之ヲ刈羽三嶋西蒲原郡水産組合ニ囑托シ同組合長飯川吉五郎專ラ担当試験セリ囑托ノ條件左ノ如シ

囑托命令書

- 第一條 調査囑托ノ期間ハ大正七年四月十五日ヨリ五月二十日迄トス
- 第二條 調査ノ事項ヲ指定スルコト左ノ如シ
 - 一、第一條ノ期間内ハ荒天ヲ除クノ外連日出漁從業スルコト
 - 二、出漁期間内ハ漁地ノ水温潮流ノ方向速度風向風力天候ヲ觀測スルコト
 - 三、魚群ノ游泳方向及游泳層ヲ調査スルコト
- 第三條 囑托期間ハ調査ノ狀況ニヨリ伸縮スルコトアルベシ
- 第四條 試験調査ノ場所ハ佐渡郡彈崎北方沖合ヨリ姫津北西沖合ノ海區トス

- 第五條 本調査ヲナスガ爲メ本場ヨリ鯖流網二十把以上及其附屬具並ニ漁艇二隻ノ管理ヲ命ズ
 - 第六條 被囑托者ハ左ノ義務ヲ負フモノトス
 - 一、本調査實行ニ要スル漁船漁夫ノ賃金手當ノ支出
 - 第七條 本調査ノ爲メ本場ヨリ監督員ヲ乘組マシメタル場合ハ總テ監督員ノ指定ニ從ヒ之ヲ拒ムコトヲ得ズ
 - 第八條 本調査終了後ハ三十日以内ニ業務日誌及収支計算書ヲ提出スベシ
 - 第九條 本調査ニヨル漁獲物ハ被囑托者ノ所得トス
 - 第十條 本命令ニ違反シ調査遂行見込ナシト認ムルトキハ囑托ヲ取り消シ漁具漁艇ノ返還ヲ命ズルコトアルベシ
 - 第十一條 本場ニ於テ必要ト認ムルトキハ本命令ヲ變更スルコトアルベシ
- 試験期間ハ都合ニヨリ變更シ四月二十一日開始シ七月三日終了セリ此間出漁日數四十二日ナリシモ本漁業ノ傍ラ漁艇ヲ使用シテ母船式鋼延繩漁業ヲ經營セル結果鯖流網使用日數ハ内十四日間ナリキ
- 漁船ハ石地漁業組合恵比壽丸(二十馬力輕油發動機付十五トン)ヲ使用シ漁場ハ前記命令區域ノ外岩船郡早川方面ヲ調査試験セリ
- 漁具ハ本場ヨリ鯖流網二十五把ノ外此間母船式鋼延繩ヲ施行シテ漁獲能率ヲ高ムル爲メ漁艇二隻ヲ供給セリ
- 經過ノ詳細ハ之ヲ後掲日誌ニ譲リ茲ニハ反復ヲ避ケテ述ベズ唯本試験ノ結果ニ就テ一言セン
- 本網ヲ使用セルハ前述ノ如ク期間中十四日間ニシテ鯖漁獲代金合計百六十八圓八十錢ハ敢テ良好ナル成績トイフヲ得ザルモ此間母船式鋼延繩ヲ併セ施行シタルヲ以テ幾分ノ漁獲減少ハ免ルベカラザル所ナリ且ツ本船ニ於テハ鯖流網ヲ使用シタルコト今回ヲ以テ初メトセシガ故ニ最初ハ何カト欠点多ク漁獲モ不足ナリシガ漸次設備ヲ完全ニスルト同時ニ好成績ヲ取ムルヲ得タリ左ニ漁業日誌ヲ掲グ

鯖流網漁業囑託試験

(本日誌中ニ現シタル各地名ハ別項打瀬網附圖中ニ記中シ置ケリ)

月日	天候	風向風力	漁場位置	漁獲尾數	備考
四月二十一日	曇	北二	中瀬		漁具積載午前三時出帆十一時佐渡多田ニ至リ碇泊
二十二日	雨	南三			午後一時出帆同五時鷺崎着碇泊
二十三日	雨	北西五			碇泊
二十四日	晴	北西四			鷺崎碇泊
二十五日	曇	南一	佐渡郡小田沖 二津乃至四津	七六尾 一三貫	漁艇ヲシテ鯛繩ニ從事セシム
二十六日	雨	北二		五八	ク
二十七日	雨	西四			暴風雨トナリ鷺崎ニ避難
二十八日	晴	南西四			碇泊
二十九日	晴	南西一	小田沖北々西三 津	六四 一八	
三十日	曇	南東四			午前五時ヨリ南東風強ク天候不良トナリ新瀬ニ向 フ午後四時人港
五月一日	雨	南西三			新瀬碇泊
二日	晴	西五			全上
三日	晴	西四			全上
四日	雨	西二	二ツ 鐘 津 西	一〇二	初メテ鯖流網ニ従事ス

月日	天候	風向風力	漁場位置	漁獲尾數	備考
五月五日	晴	西四			午前七時天候不良トナリタルヲ以テ鷺崎避難
六日	晴	西四			鷺崎碇泊
七日	雨	西三			全上
八日	晴	西二	全上	二八	鯖流網ニハ漁獲ナシ
九日	晴	西二	高千村高下西北 十津	一六二	
十日	雨	西三	全上	二六六	午前七時揚網新瀬ニ向フ午後六時新瀬着
十一日	晴	西四			風強ク新瀬碇泊
十二日	晴	北西一	小田沖西北十津	シ	午前五時新瀬出帆午後三時半漁場着投網
十三日	曇	西二	小田北西十津	三六 二四	午前三時強風ノ爲メ揚網ヲ終了シ鷺崎避難
十四日	曇	西四			鷺崎碇泊避難
十五日	晴	西四			午後三時出帆午後六時二十分漁場着本船ハ鯖流網 漁艇ハ鯛繩
十六日	晴	西二	小田沖七津	一〇八 二〇六	前日来ノ所ニ碇泊從漁
十七日	晴	南一	小田沖七津	一六〇 三六〇	午前五時小田沖ヨリ水津沖ニ至リ午後五時ヨリ從 漁ス
十八日	晴	北二	水津沖五津	二二〇	午前六時終了新瀬ニ向フ午前十一時着碇泊
十九日	晴	北三	全上		
二十日	雨	南三			新瀬碇泊
二十一日	晴	西四			全上

廿四日	廿三日	廿二日	廿一日	二十日	十九日	十八日	十七日	十六日	十五日	十四日	十三日	十二日	十一日	十日	九日	八日
晴	曇	晴	晴	曇	曇	霧	曇	晴	曇	晴	晴	晴	雨	雨	晴	晴
西	南	北	南	北	北	北西	北西	北	北	西	北	北	西	西	北	北
四	三	二	四	四	二	二	三	三	二	二	三	三	四	三	三	一
鷺崎沖八湊	全	鷺崎沖八湊	大野線沖八湊	全	鷺崎沖六湊	小田沖七湊	小田沖七湊	全	全	全	全	全	上	全	全	全
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ
一〇二	七三〇	二五二	二五二	三六四	二五七	一〇六	一〇六	二八	二八	一五〇	三〇六	三〇六	二七	二七	二七	二七
八時終了新濁ニ向フ午後五時着	本船流網漁艇延繩	午後五時ヨリ本船流網漁艇いか釣	午前七時出帆午後四時漁場着風強ク流網ノミ使用	終了後午前十時半漁場發午後六時新濁着	從漁後碇泊	投網及底繩從漁ノ後碇泊	午前四時新濁發午後三時着本船さば網漁艇いか釣	午前五時終了同十時半新濁着碇泊	全上	全上	終了後碇泊	午後一時新濁出帆五時半漁場着從漁終了後碇泊	新濁碇泊	午前七時新濁ニ向フ正午着碇泊	午前七時終了漁場碇泊	午前六時半終了新濁ニ向フ十一時着午後二時出帆七時ヨリ從漁

廿六日	廿五日	廿四日	廿三日	廿二日	廿一日	二十日	十九日	十八日	十七日	十六日	十五日	十四日	十三日	十二日	十一日	十日	九日	八日
晴	曇	晴	晴	晴	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
北	北	西	南	西	南	南西	南	北西	西	北	北	北	北	北	北	北	北	北
二	三	二	二	二	二	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
全	早川沖五湊	全	全	全	全	鷺崎東沖六湊	岩船郡早川沖	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上	上
タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ	タイ
三三〇	二八八	三九七	四六二	四七六	三三八	七四	七九	七九	七九	七九	七九	七九	七九	七九	七九	七九	七九	七九
全上	午後五時半ヨリ流網及鯛浮延繩ニ從事	午前八時新濁ニ向フ午後一時着全二時半出帆七時着	午前八時新濁ニ向フ午後一時着全二時半出帆七時着	午前八時新濁ニ向フ午後一時着全二時半出帆七時着	午前八時新濁ニ向フ午後一時着全二時半出帆七時着	午前八時新濁ニ向フ午後一時着全二時半出帆七時着	午前八時新濁ニ向フ午後一時着全二時半出帆七時着	午前八時新濁ニ向フ午後一時着全二時半出帆七時着	午前八時新濁ニ向フ午後一時着全二時半出帆七時着	午前八時新濁ニ向フ午後一時着全二時半出帆七時着	午前八時新濁ニ向フ午後一時着全二時半出帆七時着	午前八時新濁ニ向フ午後一時着全二時半出帆七時着	午前八時新濁ニ向フ午後一時着全二時半出帆七時着	午前八時新濁ニ向フ午後一時着全二時半出帆七時着	午前八時新濁ニ向フ午後一時着全二時半出帆七時着	午前八時新濁ニ向フ午後一時着全二時半出帆七時着	午前八時新濁ニ向フ午後一時着全二時半出帆七時着	午前八時新濁ニ向フ午後一時着全二時半出帆七時着

二十五日	曇	北	二	關崎沖	十二湮	六	午前七時新海發午後十一時ヨリあらか釣ヲナス
廿六日	晴	西	一	鷺崎北	十一湮	八九	午前十一時半あらか釣ニ從事ス
廿七日	晴	北	三	全	上	六七	前日ニ同ジ
廿八日	曇	西	四	全	上	七一	天候不良ニツキ午前四時揚繩新海ニ向ヒ午後二時着碇泊
廿九日	曇	西	四	全	上	七一	新海碇泊
三十日	曇	西北	二	全上	十三湮	シ	午前三時半新海發午後二時漁場着六時半いか釣十一時ヨリあらか釣ニ從事
七月一日	曇	西	四	全	上	四五	午前八時あらか釣リ終リシニ天候不穩鷺崎避難
二日	雨	北西	四			四五	時化鷺崎碇泊
三日	晴	南	二				午前十一時鷺崎出帆石地歸着終了ス
合計							
チ	ア	イ	ラ	バ			
魚	魚	魚	魚	魚			
二六六三尾	二五二尾	二六六三尾	二五二尾	二五二尾			
二五五貫	二五二貫	二六六三貫	二五二貫	二五二貫			
五七四九尾	二五二尾	二六六三尾	二五二尾	二五二尾			
							(内流網漁獲二四八七尾)

五、漁況通信

本事業ハ大正六年以來創始セルモノニシテ縣下各地方ニ漁況通信員若干名ヲ設置シ左記要項ニヨリテ本場ニ通知セシメ本場ニ於テハ時々之ヲ綜合シテ縣内外關係諸廳及新聞社雜誌社等ニ送附シ諸廳及ビ營業者ニ周知セシメ併セテ本場調査ノ參考ニ資スルヲ以テ目的トス

通信要項(漁業ニ關スルモノ)

一、鰯、鯖、鯛、柔魚、鯧其他特別大漁アリシ漁族ニツキ迅速通信スルコト

二、通信ノ日割ハ特ニ定メザルモ大凡五日間ニツキ一回位トス尤モ大漁又ハ初漁期終漁期ニ於ケル漁況ハ右ニ係ハラズ成ルベク頻繁ニ通信スルコト

三、地元ノミニ限ラズ知り得ル範圍ニ於テ附近漁村ノ漁況ニ就テモ通信スルコト

四、通信事項左ノ如シ

- (一) 月 日
- (二) 漁村名及漁場位置
- (三) 一雙漁獲高(最高及平均)
- (四) 賣價及販賣地
- (五) 其他

通信要項(魚市場ニ關スルモノ)

一、通信ノ日割ハ特ニ定メザルモ大凡五日間ニツキ一回位トス尤モ特筆スベキ事項アリタル場合ハ此限ニアラズ

- (一) 月 日
- (二) 主ナル入荷ノ魚類、數量及市場價格(價格高下ノ原因モ)
- (三) 其他各地漁況等ニツキ知り得タル事

本年度漁況通信員ハ九名ニシテ左ノ如シ

漁業ニ關スル通信員

西頸城郡浦本村
刈羽郡大洲村

福江源吾
赤澤源四郎

三島郡	出雲崎町	關本庄太郎
北蒲原郡	松塚村 藤塚濱	小林敬治
岩船郡	村上町	中途轉任 本間保之助
同郡	同町	後任 八木完治
佐渡郡	兩津町	北川利喜殿
同郡	二見村 稻鯨	中途死亡 宮下久助
同郡	同村	後任 笠井久治

是等通信員ヨリ受ケタル通信葉書ノ數總計百五十九通ニシテ本場ニ於テ之ヲ綜合シテ發シタル通信四十七回四百四十八通之ヲ前記關係諸廳及新聞社雜誌社等ニ送リ諸廳及縣下當業者ニ迅速周知セシメタリ就中四五月ノ頃ハ本縣重要漁業タル鯧流網漁期ニ當ルヲ以テ發受共最モ頻繁ナリキ依ツテ本期間ニ於テハ最モ力ヲ之ニ注ギ漁期中及終漁後ニ於テ縣下鯧洄游ノ經過狀況ヲ印刷物トシテ發行シ重要漁業組合等ニ配付シ又ハ新聞紙ニ掲載セルヲ以テ屢々謝狀ヲ寄スルモノアリタリ依ツテ再ビ茲ニ本年縣下ノ鯧洄游狀態ヲ掲ゲテ參考ニ資セン

大正七年 鯧來游狀態

一、佐渡郡本部二見村方面ハ例年縣下ニ於テ最モ早ク鯧群ノ洄游ヲ見ル所ナルカ本年ニ於テモ同シク四月十一日ヨリ出漁シ同夜最高ノ船千尾ノ漁獲ヲ得一尾二錢ノ高値ヲ示シタリ二十日以後五月十日頃迄ハ常ニ最高ノモノ二萬以上三萬五千ヲ擧ケタルカ其後收テ不漁ニアラサルモ打テ續ク荒天ニ遭遇シ外海ノ事トテ出漁ノ最少ハ五月末終了セリ
 内海測ナル前濱方面ニ於テハ四月中旬ヨリ六月初旬迄出漁シタルモ大ナル漁獲ナク五月九日一雙平均六千尾ヲ獲タルヲ最
 大漁トナス

一、刈羽郡 本部ニテハ下宿村大洲村、荒濱村等四月十七日ヨリ出漁シ下宿村ニ於テ二萬餘尾ヲ獲タルモノアリシモ其後漁獲漸次減少シテ二十九日及五月五日ノ兩日二萬乃至三萬ヲ擧ケシ船アリタル外ハ概シテ不漁ニテ六月七日一萬二千尾ノ船二雙アリシヲ終末ノ豐漁トシテ閉漁セリ

一、三島郡 四月十八日出雲崎漁船ニシテ初漁ニ四萬尾ヲ漁獲セルモノアリ(一尾九厘替)シモ其後一時減退シ五月ニ入りテハ再ビ活氣ヲ呈シ同月十七日最高三萬尾ヲ最トシテ五六千乃至二萬尾ノ間ヲ以下トセリ然レトモ二十七日以後一時ニ減退シテ五六千尾ヲ超ユルモノナシ六月初旬閉漁セリ

一、西蒲原郡 四月十六日浦濱村漁船初漁トシ最高一萬六千尾ヲ獲タル船アリ其後ノ漁獲大方三島郡ニ同シ
 一、北蒲原郡 四月十七日藤塚濱漁船初メテ出漁シ翌十八日最高一萬二千尾二十日最高四萬五千尾ヲ擧ケタル船アリ其後不漁ノ日アリタリシト雖モ概シテ順調ニ繼續セリ

一、岩船郡 本部ハ毎年本漁業ノ収獲最モ大ナル郡ナリ初漁ハ四月十九日下海府村脇川漁船一雙ガ三千八百尾ヲ擧ケタルニ初マリ二十一日ハ塩谷ノ一漁船五萬尾ヲ獲タルモノアリシモ其後稍不漁ナリ同月三十日ヨリ再ビ活氣ヲ呈シ來リ殊ニ十九日ハ平均一萬五千尾最高五萬尾十日ハ平均三萬尾最高ノ船ハ十餘萬尾ニシテ一時ニ之ヲ船ニ取り入ルヲ得ス一旦歸船シテ二回ニ揚網シテ運搬セシ如キ事實アリ其後概シテ順調ノ經過ヲ取リ六月閉漁セリ

一、西頸城郡 中頸城郡此ノ兩郡ニ於テハ鯧ノ洄游例年ノ如ク少シ四月十四日西頸城郡筒石漁船初漁ニ平均五百尾内外ヲ得同十九日同郡能生町漁船約二千尾ヲ獲タルヲ手初メトシ翌月迄從業セルモ甚シキ大漁アリシヲ聞カス

以上ヲ綜合スルニ本年本縣鯧ノ洄游ハ先ツ四月十日前後ヨリ佐渡外海面ナル二見村方面ヲ襲ヒ同十六日ノ頃ヨリ越後沿岸ニ殺到シテ刈羽、三島、西蒲原、北蒲原四郡沿岸ニ大漁ヲ見岩船郡方面沿岸ニ洄游セルハ二十日二十一日ノ頃ヨリナルカ如シ然ルニ其後荒天アリテ暫ク此魚群ハ散逸シタルカ五月五日頃ヨリハ再ビ第二ノ魚群來游セルカ如ク八日ヨリ十日ニ至ル間佐渡郡二見村方面ニ大漁アリ引キ續キ越後沿岸殊ニ岩船郡北蒲原郡方面ニ密集シ二十日ノ如キ前記十餘萬尾ヲ漁獲セ

鮭特別漁況通信

シ船アリ新ク比較的順調ニ繼續シ六月十日頃ニ至リテ一般ニ終了セリ
 前記普通漁況通信ノ外ニ本年ヨリ標記ノ特別通信ヲ施行セリ本通信ハ本年第二回北陸四縣水産技術員協議會ノ協定ニヨリ施行セルモノニシテ其目的ハ鮭大團網ノ漁況ヲ聯絡他府縣ト相交換スルニアリ他府縣トハ京都、福井、石川、富山ノ四府縣ナルガ是等府縣中六ヶ所ヨリ受ケタル通信合計八十回ニシテ之ニ對シ本場ヨリハ本縣唯一ノ鮭大團網佐渡郡白濁漁場ノ漁況ニ關シ通信シタルモノ十二回ナリキ

養殖部

一、鰻蕃殖試驗

試驗ノ趣旨

本縣ニ於ケル湖沼ノ主ナルモノハ加茂湖、福島湖、鏡湖、鳥屋野湖、旭池等何レモ幾百町步或ハ千町步以上ヲ有スルモノニシテ猶ホ佐瀨、上堰湖及坂田池等ノ如キ百町步以下ノモノヲ加フル時ハ其ノ數甚ダ多數ニ上リ其ノ面積甚ダ廣漠タルモノアルベシ而シテ之等淡水而ヨリハ皆夫々鯉、鮒、鮓、鯰、ノ如キ雜魚ヲ産スルコト僅少ナラズト雖モ底質泥濘深ク水質混濁セルモノ多キヲ以テ其ノ肉味佳良ナラス且ツ多少ノ臭氣ヲ帶ベル事アリ依テ他ノ河海ヨリスル魚族ニ比シ價格著シク低廉ナルヲ免レズ此ノ時ニ當リ斯ノ如キ底土水質ニ棲ムモ香味共ニ優秀ナル鰻或ハ公魚ノ類ヲ蕃殖セシムルハ一方ニ於テ湖沼ノ生産力ヲ増加スルト共ニ他方ニ於テ美味ヲ供給シテ鮮魚ノ缺乏ヲ補填スルヲ得ベク隨テ本縣ノ如キ冬季間海産魚豊ナラザル地方ニアリテハ本試驗ノ如キハ尤モ必要ナル事業ナルベシト信ズ然ルニ本縣ニ於テハ從來生産的ニ鰻ノ産出ナカリシガ明治三十年舊淡水漁業組合聯合會ニ於テ佐渡郡加茂湖ニ僅少ノ鰻兒ヲ移植シタルニ濫觴シ多少ノ産額ヲ生シ其ノ後明治三十六年度ヨリ四十一年度ニ至ル六ヶ年間本場ノ事業トシテ愛知縣三河灣産ノ鰻兒ヲ毎年七十貫匁乃至百貫匁宛購入加茂湖及岩船湖(目下開懸セラレテ殆ンド水田トナレリ)ニ移植シタルニ成績顯著ナルモノアリテ大ニ移植ノ効果ヲ認メラル、ニ至レリ然ルニ岩船湖ハ本場事業廢止後繼續放流セザリシヲ以テ産額漸次減退シ加茂湖ハ四十二年度以降今日ニ至ル迄郡費ノ補助ヲ得テ鴨湖漁業組合聯合會ニ於テ之ヲ經營シ年々ゆる鰻(一尾ニ匁内外ノモノ)百貫匁内外宛ヲ放流シタルニ依リ年産額數千圓ニ上ルニ至レリ此外北蒲原郡福島湖、西蒲原郡佐瀨、上堰湖等ニモ其後ゆる鰻ノ移植ヲ試ミタルニ皆良好ナル成績ヲ得從來一尾モ見サリシ鰻ヲ一個年數千圓宛漁獲スルニ至レリ猶ホ他ノ全然放流セザル河川湖沼ニモ多少ノ漁獲ヲ見ルニ至レリ茲ニ於テ縣内湖沼ノ多クハ鰻苗ヲ多數ニ放流セバ其ノ効果甚ダ顯著ナルモノアルベシトノ確信ヲ得タル

ヲ以テ大正七年度ヨリ其ノ蕃殖試驗ヲ行フ事トナリタリ然ルニ從來鰻ノ移殖ハゆる鰻(五六寸前後ノモノ)ヲ以テスルヲ普通トスルモノナルガ近時養鰻事業ノ勃興ト共ニ其ノ需要激増シ隨テ價格暴騰ヲ來タシ加フルニ其ノ運搬ニハ多大ノ經費ヲ要スルヲ以テ大面積ノ池沼ニ莫大ノ尾數ヲ放棄スルコトハ容易ノ業ニアラズ依テ種々研究ノ結果白鰻(普通ノ鰻ノ稚魚ニシテ長サ二寸前後重量五尾ニテ一匁位透明ナリ長ズレバ普通ノ鰻トナル)ハ多少玩弱ナル患アルモ價格廉ニシテ尾數夥多ナル利アリテ大湖沼ニ粗放シテ天然ノ發育ヲ待ツニハ最モ適當ナルモノト認メタリ之レ今回愛知縣ヨリ之ヲ移殖スルニ至レル所以ナリ猶ホ移殖種苗トシテ白鰻ノ長所及短所ヲ指摘スルハ左ノ如シ

長 所

- 一、價格比較的高カラザルコト
 - 二、同一重量中ノ尾數ゆるニ比シテ數十倍アリ隨テ小面積ノ人造池ニ放テル集約養魚ニハ成長ニ長年月ヲ要シ歩耗多クシテ適セサル嫌アルモ大面積ノ天然池沼ニ粗放養殖ヲナスニハ經費僅少事業輕易ニシテ遺憾ナク自然ノ生産力ヲ利用スルヲ得ルノ益アリ
 - 三、運搬容易ニシテ經費亦少シ
- 短 所
- 一、魚兒玩弱ノ嫌アリ殊ニ水温ノ變化ニ抵抗力少シ
 - 二、魚體細少ニシテ外敵ノ被害率高シ
但シ此ノ被害ハ其ノ尾數優越ヲ相殺シテ餘リアリ
 - 三、生長ニ年月ヲ要スルコト多シ
但シ此ノ缺點ハ池沼ニ放棄セル場合實際ニ於テハ豫期ヨリモ少キガ如シ(後章參照)

一、鰻ノ習性

世界ニ産スル鰻ニ數種アレドモ其ノ形狀性質共ニ大略同一ニシテ殊ニ本邦産うなぎハ米國産うなぎニ能ク類似ス我國ニテハ南方暖地ニ多ク寒地ニ少ク太平洋沿岸ニ多ク日本海岸ニ稀ナリ體長通常二尺内外ナレドモ稀ニ四尺ニ達スルモノアリ雌雄其ノ棲ム所ヲ異ニシテ雄ハ河口附近ノ汽水・淡水・海水ノ混合セル所ニ雌ハ河川池沼等ノ淡水ニ在リ雌雄共ニ流ノ靜穩ニシテ底質ノ泥土ノ所ヲ撰ビテ棲ム晝間ハ潜伏シ夜間出デテ食ヲ求ム性極メテ貪饕ニシテ好ミテえび、かに、蠕虫等ノ動物性食物ヲ取ル成熟シタル雌ハ秋ニ至レバ漸次河川ヲ下リ雄ト共ニ深海ニ至リテ産卵ス鰻ノ成熟年齢ハ雌雄ニヨリ異リ雄五年半ヨリ六年半位ニシテ稀ニ八年半ニ及ブモノアリ雌ハ普通七年半乃至八年半ニシテ六年半以前ノモノナシ從テ大形トナル鰻ハ殆ンド雌ニ限ラル

鰻ハ上記ノ如ク淡水中ニ入りテ食餌ヲ取リテ生長スレドモ此處ニ於テ卵巢成熟スル事ナク必ズ河口附近ノ雄ニ伴ヒ海ニ下リテ産卵スルモノナリ下向ノ季節ハ秋季ニシテ九月、十一月頃ニ及ブ主ニ日没後ニシテ暴風雨ノアリシ後ニハ特ニ多ク又満月ノ後新月ノ間ニ多シト其ノ間ハ食ヲ採ラズ

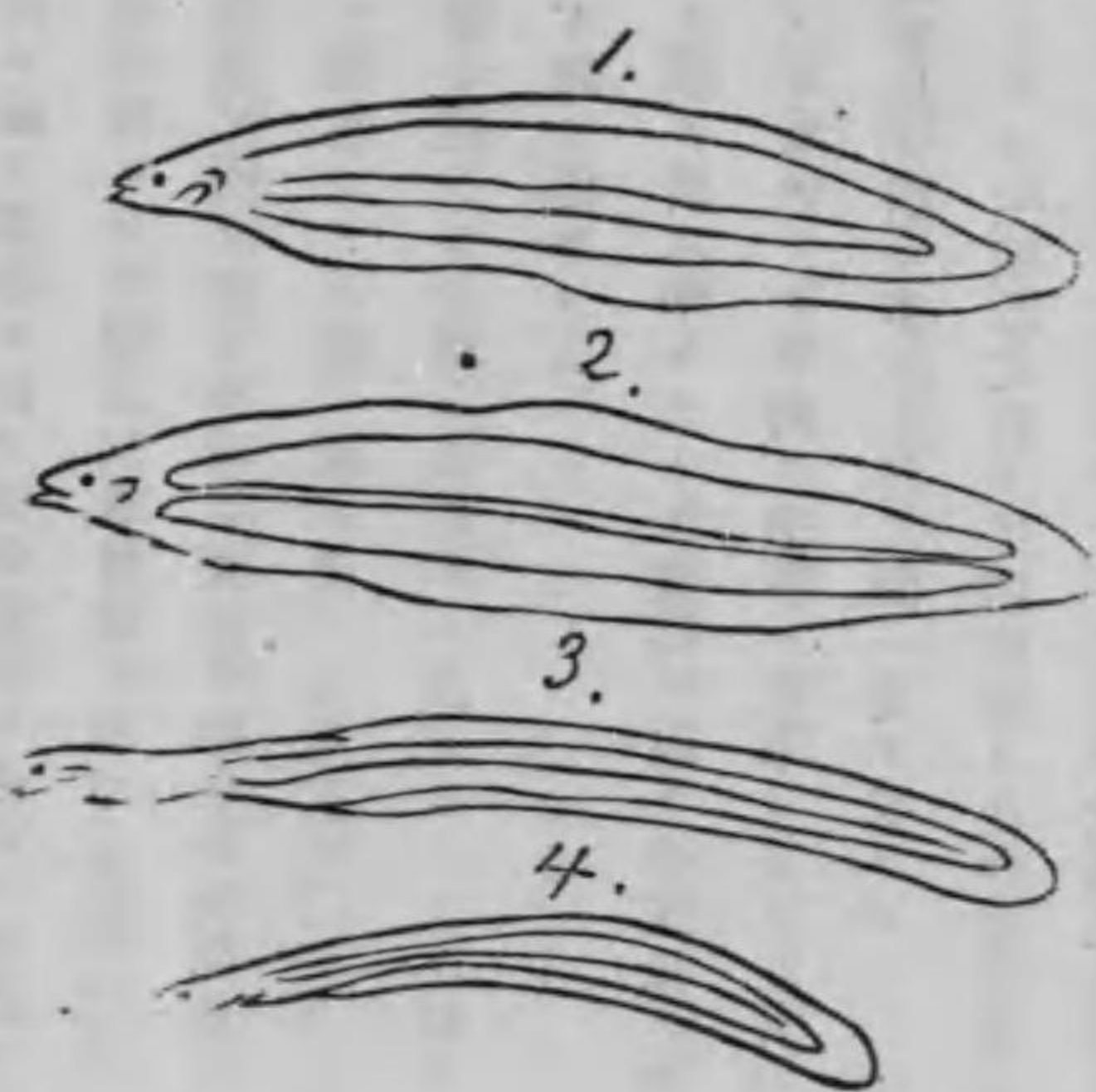
既ニ海ニ入レバ生殖器成熟シ冬期産卵ス産卵後親魚ハ斃死ス鰻ノ産卵場ハ久シキ間疑問トセラレタリシガ最近ノ研究ニテハ極メテ深キ海底ナリトセラレタリ即チ歐羅巴北岸ノ鰻産卵場ハ愛爾蘭ノ西方千乃至二千米ノ海底ナルコト發見セラレタリ本邦ノ鰻ハ未ダ明カナラズ

鰻ノ稚魚ハ母體ト形狀ヲ異ニシ側扁帶狀ヲナシ且ツ透明ナリ之レヲ「レプトセファラス」ト云フ「レプトセファラス」トハラナギ類、わなご、はも等ノ稚魚ノ側扁透明時代ノモノ、總稱ナリ本邦ニテハ「しらをのをば」「びーごろうを」等ト稱ス此ノ時代ニ於テハ多クハ大洋中ニ生活ス稍ヤ長ズルニ從テ體形縮少シ漸次圓筒形ニ變化ス此ノ時代ニ除クニ海岸ニ近ク群來ス全ク圓筒形トナリタル時ハ「レプトセファラス」時代ヨリ遙ニ小形トナリ無色透明ナル小鰻トナリテ淡水ニ沂上ス之レヲ

白鰻(しらすがなぎ)ト言フ

白鰻ハ夜間及ビ陰曇ノ日ニハ水ノ上層ヲ游行シ晴天ノ日ニハ下層ヲ游行ス湖上盛ナルトキハ數萬群ヲナシ爲メニ水色ヲ變ズルコトアリ而テ荷モ水路ノ通ズル處ハ場所ヲ撰バズ進入ス故ニ雨水等ニテ水路ヲ生スルトキハ之ヲ傳ヒテ岩石ヲ攀登スルコトアリ斯ノ如クシテうなぎハ海ニ遠キ内地ノ河川池沼ニ入りテ生活スルモノナリ然レドモ數多學者ノ實驗ニヨレバうなぎノ稚魚ハ全部河川ニ溯上スルモノニ非ス其ノ内雄ハ主ニ海中又ハ瀉水中ニ止マルモノナリ

稚鰻ノ變體



1、2、共ニ「レプトセファラス」時代ニシテ海洋中ニ生活ス

3、4、白鰻時代ニシテ海岸若クハ淡水中ニ生活シ体色透明リ

(備考 白鰻長ジテ体色ヲ生ジ母体ト同形ニナレル

稚魚ハめうト言フ)

三、場所ノ撰定理由

本縣ニ於ケル湖沼ニシテ鰻ノ蕃殖ニ適スト認メラル、モノハ數多アリト雖モ是等全部ニ對シテ同時ニ移殖ヲ計ルハ多大ノ經費ヲ要スルヲ以テ先ス一ヶ所ヲ撰ビテ之ヲ施行シ其成績ニヨリ他ニ及ボス可キナリ然ルニ白鰻ノ移殖ハ未ダ其先例少クシテ効果ノ明瞭ナルモノナク隨テ本試驗ハ成績ノ調査ヲ以テ尤モ重要ナル事項ナリトサレバ適當ナル湖沼ナリトモ從來めうヲ放流シタル所ニテハ其ノ成績考査ニ當リ誤謬疑惑ヲ生ジ易キヲ以テ位置ノ撰定ハ相當ノ面積ヲ有シ鰻ノ蕃殖ニ尤モ適スル所ニシテ曾テめうヲ移殖シタル事ナキ所タラザルベカラス之ニ該當スル所ハ縣内ニテ鳥屋野湖、鏡湖ノ二ナリ而シテ此ノ二者ノ内鏡湖ヲ以テ尤モ適當ト認メタリ之レ兩湖共ニ信濃川ノ中積層ニ生シタル河跡湖ノ一種ニシテ性質面積共ニ略似タレドモ鳥屋野湖ハ附近農民ガ水田底質調整用泥土ヲ湖底ヨリ探求スルヲ以テ大部分ニ亘リ水深稍々深キニ失シ且ツ幾分石油ニ化シカミリタル腐敗植物ヲ多量ニ含有スル泥土ヲ露出スルヲ以テ鰻ニ幾分ノ臭氣ヲ帶バシメ品質ヲ劣惡ナラシムル虞ナキヲ保セス之ヲ以テ本試驗ニ於テ鏡湖ヲ撰定シルタナリ

四、鏡湖ノ概況

鏡湖ハ本縣中部タル西蒲原郡平原ノ中央部ニ位シ信濃川ノ分流タル中ノ口及西川ノ中間低凹部ニ介在ス
現今信濃川ハ其ノ下流ニ於テ大川中ノ口川西川ノ三川ニ分岐シ更ニ河口ヨリ數里上流ノ地點ニテ相合シテ遂ニ新潟市ノ北方海ニ入ルト雖モ昔時蒲原諸郡ノ中積地未ダ固定セス其名稱ノ如ク沼澤池トシ蘆葦葦澤ノ繁茂ニ任セル時代ニアリテハ大河ノ洪水氾濫スル毎ニ支流ノ横出縦裂シテ分合常ナカリシ事歴史ニヨリテ明カナリ然ルニ漸次人口ノ増加ニツレ耕地ノ必要ニ迫レリ封建時代ノ諸候ハ歷代工ヲ起シ役ヲ課シテ河心及河岸ヲ修築シ遂ニ今日ニ及ビシモノナリ而シテ河流ノ改修ニヨリ從來荒蕪ノ沼澤モ漸次水田ニ化シタレドモ猶ホ平野ノ中心ニ介在スル低地ハ湖沼トシテ殘留スルノ止ムナキモノナリ

即チ福島瀧、鳥屋野瀧、田瀧、大海、鐘瀧、等皆之レナリ事實ニ於テ之等ノ湖底ハ日本海平均水準面（高低ハ潮汐ニヨルヨリモ寧ロ氣壓ニ剩セラル、コト大ニシテ最大極限ニテモ一尺五寸ヲ超エマシト思料ス）ヨリ低キ事數尺ニ達シ進歩セル排水機ニ依リ排水スルモ耕地トナリ難キモノナリ但シ現在ニテハ之等ノ湖瀧ノ四周ニ運接スル低地ニテ堤防ニシテ圍ヒ掛水機關ヲ使用シテ水田トナシ得ル所ハ殆ンド水田トセラレタルヲ以テ其ノ附近ニハ海面ヨリ五六寸低キ田面ノ多數ニ存在スルモノナリトス

鐘瀧モ全ク前述ノ瀧湖ノ一種ニシテ西蒲原平原澤野ノ中部ニ位スルヲ以テ四圍ノ耕地ヨリ來ル排水ヲ吞吐シ其ノ溜溜水ハ水田ニ引用セラル、事ナク寧ロ排水溜トシテ使用セラル、モノナリトス

鐘瀧ハ地籍西蒲原郡卷町大字卷字鐘瀧ニ屬シ總面積三百九十五町步全部私有地ニシテ大部分即チ三百五十七町七反三畝二十六步ハ新川疎水普通水利組合ノ共有地タリ其ノ他二十八町一反五畝二十三步ハ新潟市藤田勘吉氏二町二反三畝二十四步ハ西蒲原郡吉田村今井孫市氏六町八反六畝十七步ハ全部鐘瀧村字天竺室高橋直吉氏ノ所有ナリ左ニ其ノ概況ヲ述ブ

(イ) 注 入 水 路

此ノ瀧ニ注グ流域ノ主ナルモノニアリ一ハ飛落川ト言ヒ他ヲ大通川ト言フ共ニ水田ノ排水ニシテ大通川ハ地藏堂町ノ附近ヨリ來リ流程五里下流ノ幅七八間水量多クシテ瀧ノ南岸中部ニ注入ス飛落川ハ吉田村附近ヨリ起リ流程二里下流ノ幅四五間水量少クシテ瀧ノ南西隅ニ注グ其他水田ノ排水ハ小ナル溝渠トナリテ無數ニ積集シ且ツ瀧ノ周圍ノ低地水田（昔時ハ瀧ノ一部ナリシモ二三十年前ヨリ堤塘ニヨリ瀧面ト區劃シ蒸氣ヲ原動力トスル排水機ニヨリテ排出注入セラル、アリ可ナリノ水量ヲ受クルコト、ナル殊ニ各注入水ハ皆ナ水田耕地ノ過剰水ナルヲ以テ養分ヲ含ム事多大ナリ）

(ロ) 流 出 水 路

本瀧ヨリ流出スル水路ハ唯一ニシテ之ヲ早通川ト稱シ瀧ノ北東隅ヨリ出テ田瀧大瀧ニ入り更ニ流レテ西川ニ至リ底樋ニヨリテ之ヲ横斷シテ五十嵐瀧ニ至リ海ニ注グ全流程（鐘瀧ヨリ海迄）約三哩ニ達ス此ノ内西川ノ交叉底樋部ヨリ海ニ至ル迄ヲ

底樋川ト言ヒ早通川ハ改修ノ結果一名新川トモ稱ス

早通川ハ昔時田瀧大瀧ノ水ヲ合シテ新島水門ニ至リテ信濃川分流タル西川ニ合流シタルモノナリシガ當時洪水時ノ排水思ハシカラザリシヲ以テ文化元年ヨリ約十箇年ノ歳月ト莫大ノ費用トヲ投ジテ長岡村上兩藩協力シテ西川ノ底部ニ木製暗渠ヲ設ケ其レヨリ下流海西ニ至ル迄延長二千四百間ヲ開鑿シテ茲ニ全ク安定ナル水田ヲ得タルナリ新川疎水普通水利組合ハ今猶ホ年々少カラヌ經費ヲ投ジテ早通川ノ浚深ヲ行ヒ以テ通水ヲ援クル又所以ナキニアラザルナリ此ノ唯一ノ排水路早通川ハ幅十數間深サ二間ニ達スルモ洪水時ニハ猶ホ淺狹ナルヲ感ズ

(ハ) 深 度

水位ノ變化甚シキヲ以テ一概ニ論ジ難キモ底面ハ頗ル平坦ニシテ凹凸甚ダ少ク湖盆ノ傾斜全ク消失シテ水深甚デ淺シ隨テ沿岸植物漸次潮心ヲ犯ス傾キアリ湖沼學上ヨリ論ズルトキハ湖齡第七期ノ瀕死時代ニ入レルモノタルベク平水時（平均水位ニアラズ一ケ年ヲ通ジ最モ普通ニ顯ハルミ水位ヲ指スモノトス）ニ於テ排水部ニ近キ最深ノ所ト雖モ四尺前後ニシテ注水部即チ南岸ニ於テ四五寸ヨリ一尺ノ處アレドモ大部分ハ三尺内外ナリトス

(ニ) 水 位 ノ 變 化

水位ノ變化ハ主トシテ降水量ニ因ルモノニシテ又水田ニ水ヲ要スル時期ト否トニモ關係アリ一箇年ヲ通ジテ概論スルトキハ最モ乾枯スルハ四月中旬ヨリ下旬ニシテ其後漸次水量ヲ増加シ最高水位ハ七月中旬ヨリ八月下旬ニ掛ケテ起ルコト多シ而シテ九月ニ入レバ漸次減退シ冬期ハ平水トナル而テ水位最モ上昇スル時ハ平水位ヨリ約四尺六寸ヲ増ス可ク尤モ乾涸スル時ハ平水位ヨリ約二尺低下ス可シ故ニ水位ノ昇降ノ差ハ實ニ二尺六寸ニ達スト見ル可シ

(ホ) 結 氷

本瀧ハ例年結氷スルモノニシテ時期ハ年ニ依リ多少差アルヲ免カレザルモ例年十二月末日ニ結氷シテ三月十日頃ニ融解シテ厚ハ七八寸ヨリ一尺ニ達スルコトアリ（瀧水ノ結氷セルモノト積雪ノ永上ニ固着結氷セルモノト二種結合シテ生ズル厚

ナナリ、大正八年ニ於テハ一月四日頃始メテ結氷シ二月五六日頃融解厚ハ五六寸ニ過ギザリキ而シテ氷上ヲ渡過シ得ルハ勿論ナリ

(ハ) 水 温

冬期表面ノ結氷ト共ニ夏季深度ノ關係及受入スル流ガ水田ニテ一旦温メラレタル水ノミナルヲ以テ非常ノ高温ニ昇ル可キハ疑ナキ所ナレドモ未ダ具體的ニ調査シタルコトナシ左ニ大正七年四月及大正八年三月觀測セル所ヲ掲ゲ

大正七年四月十五日午後六時

快 晴 無 風 氣 温 十八度五分

飛落川水温 十五度五分

鐘淵中央附近水温 十四度八分

全年全月十六日午後七時

曇 北 風 和 氣 温 十八度〇分

飛落川水温 二十度

鐘淵西南部水温 十九度

大正八年三月九日正午

雨 南風和 氣 温 十一度五分

飛落川水温 十度三分

大 通 川 十度三分

鐘淵冬時水温 十度五分

(ト) 比 重

稀ニ海水ノ浸入シ來ルコトアリト稱スレドモ各觀測ニ於テハ殆ンド一、〇〇〇〇ニ近シ

(チ) 水 色

冬期稍ヤ清澄トナルモ春夏ハ全ク褐色ニシテ風波大トナリ直ニ赤黃色ノ泥土ヲ攪乱シテ混濁ス

(リ) 底 質

大通川ノ吐出スル附近ニハ多少ノ砂地礫地アレドモ其ノ他ハ全部黒褐色ノ泥土ニシテシカモ泥ノ深サ數尺ニ達ス土質ハ第三紀層ノ粘土ニシテ硅砂ヲ含ム

(ヌ) 舟 航

水深淺キヲ以テ小舟輕快ナルモノ多數アリ舟航ノ便アリ

(ル) 鐘淵ノ生産力及生物ノ種類

前述ノ如ク此ノ湖ニ注入スル水田ノ施肥ヲ溶解シ居ル事多ク且ツ深度淺クシテ日光透射充分ナル關係ヨリ生産力極メテ大ナル事論ヲ俟タズ附近ノ水田ニ稻作ノ豐饒ナルニヨリテモ其ノ地味ヲ窺フテ得ベシ又此ノ湖ニ於ケル鯉魚ノ如キ晚春産卵セラレタルモノ秋季ニハ百匁ヲ超過スルコト多シト傳フ唯凡テノ魚類ガ肉味優レザルト一種ノ臭氣ヲ帶ベルトハ水質底質及水界ノ状態ガ然ラシムル所ニシテ如何トモナシ難キ所ナリトス但シ此ノ湖ヨリ産スルモノナリトモ公魚、鮭、鱈、鰻、等ノ如キ肉味優秀價格高キモノモナキニ非ラズ

此ノ湖ノ全面ヨリ年々産出セラルミ水産物ノ價格(甚ダ低廉ナルモノナリ)ハ大約四十圓トナル可シ左ニ生物ノ種類及其ノ概要ヲ示ス

- (一) 鯉、主トシテ刺網及延繩ニ依リテ捕フ鱒ニ入ルモノモアリ年産額約一千圓ニシテ價格百匁七錢ヨリ十二錢冬期高價ナリ

- (二) 鮭、種々ノ方法ニヨリテ捕獲ス魚類中尤モ多シ一ヶ年産額三千圓ニ達スルモノ、如シ大鮭百匁四錢ヨリ六錢小鮭百

(三)(四)(五)(六)(七)(八)(九)(一〇)(一一)(一二)(一三)(一四)(一五)(一六)(一七)(一八)(一九)(二〇)(二一)(二二)(二三)(二四)(二五)(二六)(二七)(二八)(二九)(三〇)(三一)(三二)(三三)(三四)(三五)(三六)(三七)(三八)(三九)(四〇)(四一)(四二)(四三)(四四)(四五)(四六)(四七)(四八)(四九)(五〇)(五一)(五二)(五三)(五四)(五五)(五六)(五七)(五八)(五九)(六〇)(六一)(六二)(六三)(六四)(六五)(六六)(六七)(六八)(六九)(七〇)(七一)(七二)(七三)(七四)(七五)(七六)(七七)(七八)(七九)(八〇)(八一)(八二)(八三)(八四)(八五)(八六)(八七)(八八)(八九)(九〇)(九一)(九二)(九三)(九四)(九五)(九六)(九七)(九八)(九九)(一〇〇)

夕三錢ヨリ二錢五厘
 たなご、小鮎ト價同ジ
 せぐろ、前ニ同ジ
 めだか、少シ
 せせう、少シ
 いとよ、稀少ナリ二月頃濁ニ入り來リ産卵終リテ四月下旬海ニ歸ル
 いとよのをばこ、(とみよ)少シ
 さより、稀少ナリ
 なます、年七八百圓ノ漁獲アリ百匁平均五六錢
 似鯉少シ
 うぐひ、年四五百圓ノ漁アリ百匁四錢ヨリ九錢ナリ
 此ノ内ニ三種アリはながト稱スルハ周年濁ニ常棲シわかほう及あをとはやハ十月ヨリ翌年四月頃迄冬期濁ニ來ル
 やまめ、稀ニ捕獲セララル
 もろこ、多少産ス
 さげ、年ニヨリ増減アルモ一期二十本ヨリ二百本ノ間ヲ昇降ス價格一貫貳圓内外ナリ
 あゆ、稀少ナリ味甚ダヨロシカラズ多クハさびあゆナリ
 公魚(方言しらうを)可ナリ産ス
 やつめ、稀少ナリ
 はせ、年ニヨリ増減アリ年額四五百圓ノ間ヲ昇降ス價格百匁四錢ヨリ九錢ナリ

(三)(四)(五)(六)(七)(八)(九)(一〇)(一一)(一二)(一三)(一四)(一五)(一六)(一七)(一八)(一九)(二〇)(二一)(二二)(二三)(二四)(二五)(二六)(二七)(二八)(二九)(三〇)(三一)(三二)(三三)(三四)(三五)(三六)(三七)(三八)(三九)(四〇)(四一)(四二)(四三)(四四)(四五)(四六)(四七)(四八)(四九)(五〇)(五一)(五二)(五三)(五四)(五五)(五六)(五七)(五八)(五九)(六〇)(六一)(六二)(六三)(六四)(六五)(六六)(六七)(六八)(六九)(七〇)(七一)(七二)(七三)(七四)(七五)(七六)(七七)(七八)(七九)(八〇)(八一)(八二)(八三)(八四)(八五)(八六)(八七)(八八)(八九)(九〇)(九一)(九二)(九三)(九四)(九五)(九六)(九七)(九八)(九九)(一〇〇)

うさごり、多少漁獲アリ
 たかのはひらめ、稀ニ漁獲セララル
 すゝき、年ニヨリ増減ス七月初旬一寸前後ノモノ海ヨリ入り來リ九月下旬七八寸トナリテ海ニ入ル
 うなぎ、一ケ年約二百圓ノ漁獲アリ大サハ百匁ヨリ六百匁迄ノモノナリ百匁以下ノモノ稀少ニシテ五十匁以下ノモノ殆ド漁獲セラレズ價一貫匁二圓五十錢ヨリ三圓トス
 ぼら、二種アリ目白ト稱スルハ五月頃二寸前後ノモノ海ヨリ浜上シ來リ十月ニ入り八九寸トナリテ海ニ出ズ目赤ト稱スルハ年中濁ニ常棲スルモノニシテ最大二尺五寸トナルモ肉味前者ニ劣ル
 えび、二種アリつのがら、ぬかえび之レナリ一ケ年四百圓ノ漁獲アリ一舛四錢ヨリ六錢
 すつばん、稀ニ見ルコトアリ昔時ハ多数ニ蕃殖セシモノナリシモ近時乱獲ニヨリ減少セルモノナリ
 ひし、周圍ニアルノミナリ一ケ年二百圓ニ上ル
 運、周圍淺汀部ニ植付ケ置クモノナリ一ケ年約二千圓ニ達ス
 蓴菜、此ノ海ニ極メテ稀ナリ
 其他ノ蘆葦菱萍甚ダ多シ

(オ) 漁 獲 状 態

鏡瀨ハ前ニモ述べタルガ如ク全部私有地ニシテ數多ノ個人所有地及新川疎水普通水利組合ノ共有地タルニ依リ所有者ハ各自所有地内ニ於ケル漁獵ヲ左右シ之ヲ貸付セリ其ノ内約九割ハ前記水利組合ノ共有地タルニ依リ大部分ノ漁獵ハ此ノ場所ニ於テ行ハル而テ同水利組合ニテハ其所有地三百五十七町七反三畝二十六歩内漁業權全部ヲ大正四年四月一日ヨリ全七年三月三十一日迄滿三ヶ年間八百五圓ニテ四台村大字遠藤金安清吉ニ讓渡シタリ同人ハ表面ノ漁業權者ニシテ内實ハ多數ノ漁業者ノ組合ナルヲ以テ是等ハ皆共同ニ經營セリ(但シ舩漁業ハ魚類繁殖保護上組合地内ニハ全然許サス個人所有地ニノ



魚釣場ノ位置圖

ミ二三アリ) 其ノ漁業者數ヲ示セバ左ノ如シ

村名	漁業戸數
四合村大字遠藤	八〇戸
同村大字横道	一
漆山村大字山島	二
鐘郷村大字矢島及押付	五
卷町	〇
計	八八

全大字一戸殘ラズ漁業ヲナス但シ專業者ハ約二十戸

個人所有地ニ漁業ヲナスモノアルモ組合地内ニハナシ

此ノ外個人ノ所有地ニテ漁業ヲナスモノ左ノ如シ

村名	漁業者數
漆山村	一〇人
卷町	一
鐘郷村	一
計	一二

摘要

鐘洞ニ於ケル漁業ヲ大別スレバ左ノ如シ

- (一) 魷、近來水利組合地内ニハ禁ジタルヲ以テ唯個人ノ所有地ニ僅カアルノミ降雪期以外周年經營スふな、こひ、なますはせ、やつめ、公魚、たなご、鮫等漁獲セラル
- (二) 延繩、種類甚ダ多ク結氷期以外周年行フ漁獲最モ多キハ四月三日頃ヨリ全十八日迄トスふな、鮫、鯉、鰻、等ヲ漁獲ス

此ノ外個人ノ所有地ニテ漁業ヲナスモノ左ノ如シ

村名	漁業者數
卷山	一〇人
鏡郷	一
計	一一

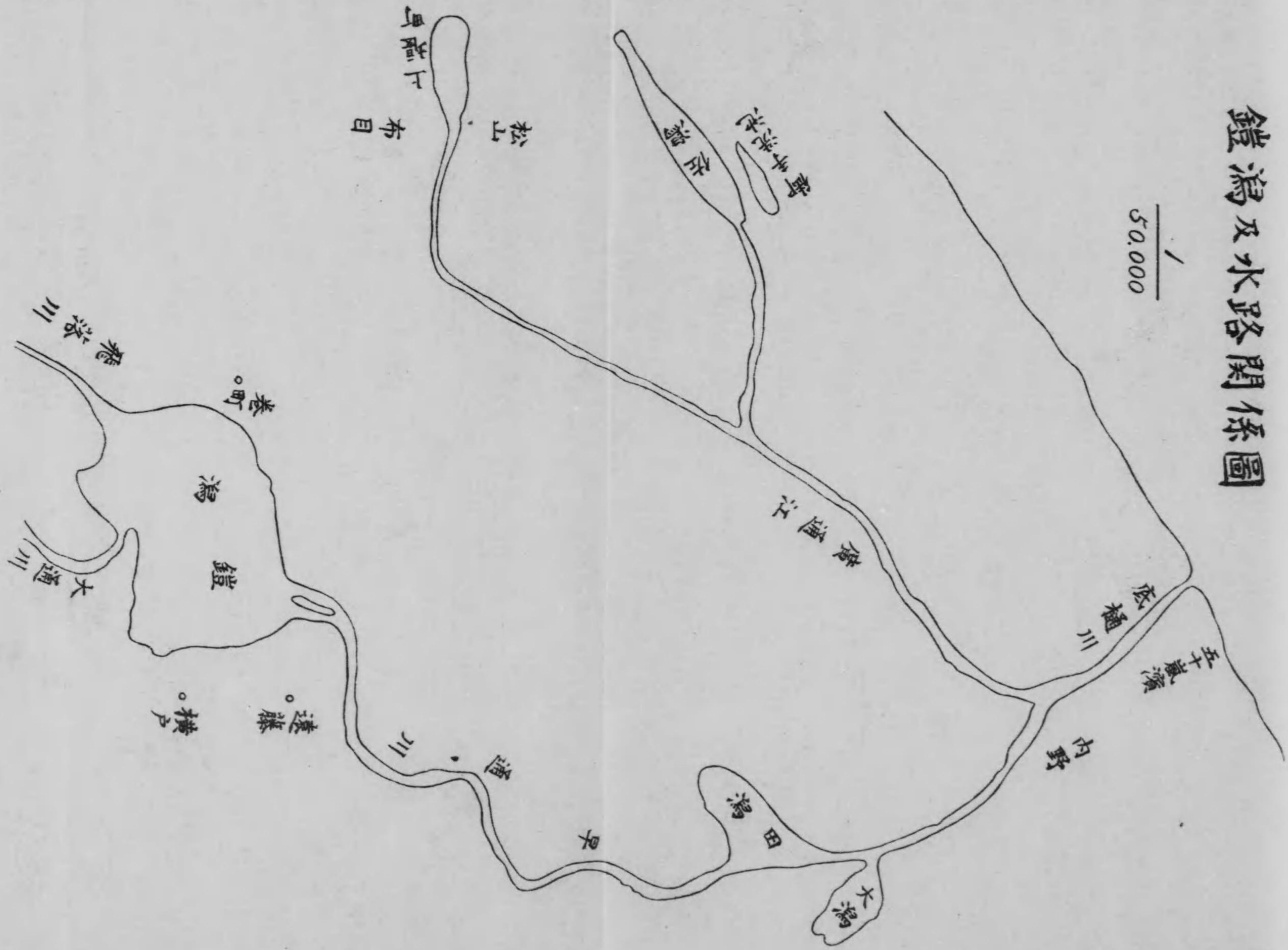
要

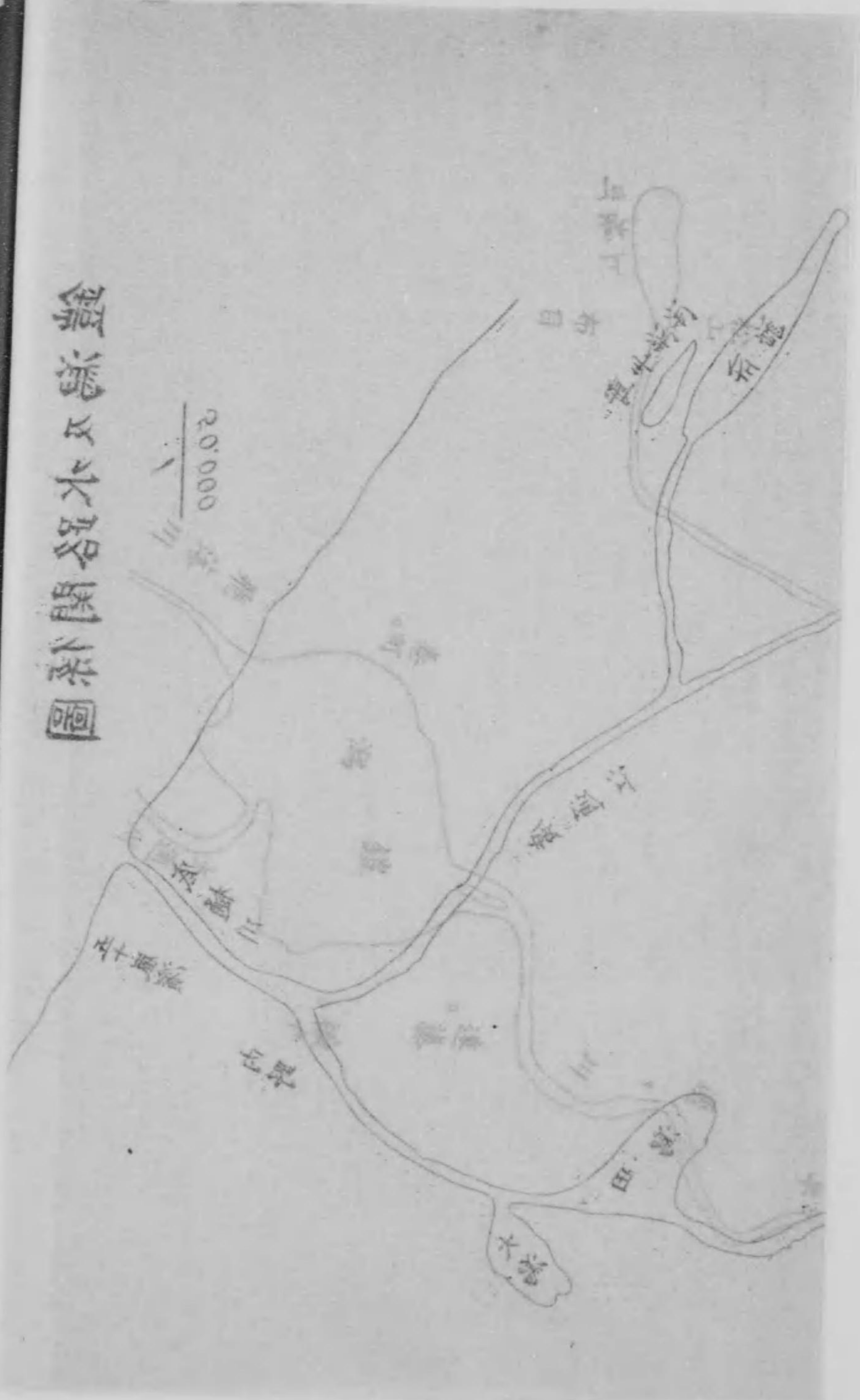
鏡潟ニ於ケル漁業ヲ大別スレバ左ノ如シ

- (一) 魷、近來水利組合地内ニハ禁ジタルヲ以テ唯個人ノ所有地ニ僅カアルノミ降雪期以外周年經營スふな、こひ、なますはせ、やつめ、公魚、たなご、鮎等漁獲セラレ
- (二) 延縄、種類甚ダ多ク結氷期以外周年行フ漁獲最モ多キハ四月三日頃ヨリ全十八日迄トスふな、鮎、鯉、鰻、等ヲ漁獲ス

鏡潟及水路關係圖

1 / 50,000





漁業及水路関係図

- (三) 刺網、網目ノ大小及其ノ種類甚ダ多シ降雪期以外周年行フ鰲湖ノ漁業ノ八割迄延縄ト刺網トニヨルト言ヒ得ベシ
- (四) 籠手繰、小形ナルモノニシテ雑魚ヲ捕フ
- (五) 曳掬網、主ニシバヲ捕フ

漁獲物ノ總収入ハ大約壹萬五六千圓ト見ルヲ得ベシ
 此外水鳥類ノ狩獵ハ可ナリニ豊富ニシテ猶ホ湖ヲ利用シテあひるヲ飼育シ或ハ採藻ヲナスモノアリ蓮根ヲ養殖スルモノアリ
 ヲテ實際ノ収益ハ多大ノモノナル可シ

五、白鰻移殖ニ關スル打合

- 本場ハ鰲湖ニ白鰻ヲ移殖スルニ當リ地元郡長ト協議ヲ遂ゲ左ノ通り決定セリ
- (一) 白鰻ノ移殖事業ハ本場之ヲ行フ
 - (二) 移殖ニ要スル直接ノ費用ハ本場之ヲ負擔ス
 - (三) 移殖ニ際シテハ郡ニ於テ出來得ル限りノ便宜ヲ計ルコト
 - (四) 郡ハ湖面ノ各所有者殊ニ新川疎水普通水利組合ニ對シ移殖試驗ニ就キ必要ナル事項ヲ履行セシム
 - (五) 郡ハ各漁業者ニ對シ稚魚ノ乱獲ヲ戒メ且ツ自ラ之ガ監督ニ任ズ
 - (六) 郡ト本場ト協力シテ成績調査ヲ行フコト

六、白鰻ノ移殖

大正七年度四月十五六日ヲ以テ第一回移殖ヲナセリ但シ本種苗ハ愛知縣水産試驗場ヨリ分譲ヲ受ケタルモノニシテ其ノ概要左ノ如シ

(イ) 原産地及其地ニ於ケル習性

原産地ハ愛知縣幡豆郡内矢作川分流古川ニシテ同所ハ白鰻ノ浜上非常ニ多キ所トシテ知ラル、ナリ同地ニハ春期彼岸前後ノ候河水温十二三度ニ上昇セシ天候雨模様ノ日引潮時ニ群集シテ帯ノ如キ列ヲ作り浜上スルモノナリ之ヲ河岸ニ立チテ捕網ヲ以テ掬ヒ取ルモノニシテ多キ日ハ一夜(引潮時約二時間)一人能ク四五斤ヲ捕獲シ得ベシト猶ホ其ノ大サ重量價格ヲ示セバ左ノ如シ

- (一) 拾貫多ノ價格二十五圓内外
- (二) 拾貫多ノ尾數約二十五萬尾(一尾重量約四厘)
- (三) 體長二寸前後
- (四) 體色透明ナリ

(ロ) 荷造及運搬

荷造ハ大体ニ於テ小ナル内函ノ内ニ水ヲ浸潤セシメタル水苔ト白鰻トヲ混合シタルモノヲ詰メ斯ル内函拾四個ニ大ナル多函ノ中ニ入レ結束シタルモノニシテ其ノ概要左ノ如シ

- (一) 外函ノ大サ長二尺六寸巾二尺高一尺七寸五分
 - (二) 内函ノ大サ長一尺五寸巾九寸五分高一寸七分五厘
 - (三) 外函一ケノ内ニ内函七箇ヅ、一組トシタルモノ二組ヲ収メ之ヲ四方ヨリ外函ニ固定シテ動搖セザラシム
 - (四) 内函ノ内部ニハ運搬中水苔及白鰻ノ動搖セザル様更ラニ適度ノ大サニ區劃ヲ設ケ内函一枚ニ付キ白鰻約一萬尾ヲ水苔ト共ニ慎充セリ仍チ二箱發送ノ内箱ハ十五萬尾入一箱ハ十二萬五千尾入りナリトス
 - (五) 外函ノ外部ハ葎ノ如キ外皮ヲ以テ包ムコトナク其ノ儘繩掛セリ
- 運搬ハ矢作川ヨリ愛知縣吉田驛迄荷車ニヨリ吉田驛ヨリ本縣越後鉄道卷驛迄汽車ニヨリ卷驛ヨリ飛落川口迄約一里荷車ニ

ヨレリ

而テ今回ノ運搬ハ二回ニナセシガ各個時ヲ要セシ事約三十六七時間宛ナリ發送及到着時日左ノ如シ

大正七年四月十四日午前五時愛知縣吉田驛發送ノ分(十五萬尾入)

卷驛 着 四月十五日午後六時

放流地点着 全 八時三十分

全年全月十五日午前五時愛知縣吉田驛發送ノ分(十二萬五千尾入)

卷驛 着 四月十六日午後五時

放流地点着 全 七時

運搬ノ狀況ハ概シテ良好ニシテ十五萬尾入ノ分ハ運搬中斃死數約六%十二萬五千尾入ノ分ハ約二十五%ナリトス

(ハ) 放流

放流ノ地点ハ飛落川ノ河口ヨリ偏ノ中央ニ向ヒテ約二百間沖合へ出デタル所ニシテ其ノ概要左ノ如シ

發送月日	卷驛到着時	放養地点到着時	時刻	天候	風向	風力	氣温	水面水温	運搬器内温度	發送尾數	運搬中斃死數	放流尾數
四月十四日 午前五時	四月十五日 午後六時	午後八時	午後九時	快晴	ナシ	ナシ	一八、五	一四、八	一四、五	約一五〇、〇〇〇尾	九、〇〇〇尾	一四一、〇〇〇尾
四月十五日 午前五時	四月十六日 午後五時	午後七時	午後七時	曇	北	和	一八、〇	一九、〇	一六、〇	一二五、〇〇〇尾	三、一五〇尾	九、七五〇尾
計										二七五、〇〇〇尾	一二、一五〇尾	一五〇、七五〇尾

(二) 移殖經費

今回移殖ニ要セシ諸經費左ノ如シ

種目	金額	摘要
白鰻代	二七,〇〇〇	十一貫代十貫多二十五圓替 十貫多ニ付約二十五萬尾一尾一毛ヅ
荷造賃	〇,〇〇〇	白鰻代中ニ含まタリ
運搬費	三,九五〇	十五萬尾入ノ分二圓五錢 十二萬五千尾入ノ分一圓九十錢
放流人夫若クハ船賃	三,〇〇〇	六人一人ニ付金五十錢
合計	三四,四五〇	此ノ外約一圓ノ通信費アリ

以上ノ費用ヲ白鰻一尾ニ換算ス。時ハ一毛二絲ニ相當スルコト、ナル

七、稚魚ノ乱獲ニ關スル取締

- (一) 稚魚ノ乱獲取締、最モ考慮ヲ要スル中項ニシテ放流ニ際シ豫メ左ノ方法ヲ取リタリ
 - 郡ヨリ各町村宛(郡内全部)通牒ヲ以テ幼鰻 尾十五尾以下ノモノヲ採捕販賣ス可カラザル様告諭ス
 - 新川疎普通水利組合ヨリ鏡泊沿岸各漁業者宛ニ前項ト同様ノ注意書ヲ發ス
- (二) 同水利組合ニ於テ放流後直ニ漁業者ヲ召集シテ白鰻ノ標本ヲ示シテ移殖ノ説明ヲナシ同時ニ稚魚取締方ヲ説諭ス
- (三) 四卷警察署ニテ管内各地駐在所巡査ヲ召集シテ其ノ所管内漁業者ノ家族及其他一般ニ幼鰻ヲ採捕ス可カラザル様説諭ス

ルコトヲ命令ス

八、移殖ノ成績

(大正八年三月末日迄滿一ケ年間)

前述ノ如ク鏡泊ハ從來鰻ヲ移殖シタルルコトナカリシヲ以テ其ノ漁獲始メドナカル可キ筈ナルモ事實ニ於テハ左海、上堰潟等二年々多量ニ放流スル鰻ノ生長スルニ從ヒ移リ棲メルアリ或ハ信濃川、阿賀野川等ノ經路ニヨリテ他縣方面ヨリ流入シ來ル等アリテ從來ト雖モ多少ノ産出ハアリタルモノナリ然レドモ其ノ額タルヤ年二百圓内外ノ僅少ナルヲ以テ鰻ノミヲ目的トスル漁業ハ殆ンドナシ唯ダ僅ニ延繩ニテ蝦類ヲ餌トスル時ハ鰻ヲ獲ヘシト知ルノミナリシカモ之ニヨリテ獲ラル、モノハ多クハ百尾以上ニシテ二三百尾ノモノ少カラズ稀ニ五六百尾ノモノモアリ最少ノモノト雖モ五十尾ニ降ルコト殆ンドナカリシナリ

然ルニ春季白鰻ヲ放流シタル大正七年九月十月ニ至リ漆山村大字山島及四合村大字遠藤部落ノ漁業者等ガ如ク餌トセル延繩ニテ鰻ヲ漁獲セントセシニ從來ニ於テ見タルルコトナキ二十尾内外ト思ハル、細鰻ノ四五尾ヅツ約ニ權リ居ルヲ發見シ之レ多分白鰻ノ生長セシモノナラント語リ合ヒタリ(從來同所ニテ漁獲セラレタル鰻ハ多ク黒色ナリシニ之等ノ鰻ハ稍赤味ヲ帯ビタルヲ以テ殊ニ斯ク信ゼシモノ、如シ是等ガ果シテ春期放流ノ白鰻ノ生長セルモノナリトセバ其ノ生長率激甚ニシテ唯驚クノ外ナク多少ノ疑ヲ挿マザルヲ得ザル次第ナルモ或ハ事實ナラント思ヘル、點少カラズ今之ヲ列舉スレバ左ノ如シ

- (一) 鏡泊ノ如キ湖沼ハ地味肥沃ニシテ天然生産力非常ニ大ナル上洪水時ノ氾濫ヘ多ク湖面ト四周水田面ト同一ニシ自由ニ水ノ流通ヲナスヲ以テ益々天然餌料ヲ豊富ナラシメ且ツ魚ヲシテ廣キ區域ニ遊泳セシムルヲ以テ生長ヲ助長スルコト大ナリ
- (二) 鏡泊ニ於ケル鯉魚ハ一年生ニシテ能ク百四五十尾ニ達シ又すふさ、ぼら、おび等ノ生長度ニ見ルモ異常ナル率ヲ示

スヲ以テ鰻ニ於テモ普通ヨリ數倍ノ生長率ヲ示スナラント想像セラレ
 (三) 白鰻移殖ノ年内ニ細鰻多敷漁獲セラレタルノ實例ハ福島灣ニ於テモ同様ナリ即チ福島灣ハ素封家市島家ノ所有タル關係上年々同家ニ於テめうヲ同所ニ放流シ來リタルガ大正六年三月本場ノ斡旋ニヨリ愛知縣ヨリ白鰻ヲ購入シ少量ヲ放流シタルコトアリ其ノ年ノ夏季同所漁業者ハ延繩ニテ十四五夕ノ小鰻數十尾ヲ漁獲シ之レ全ク白鰻ノ成長セルモノナリト信ゼル事實アリ

以上三点ヲ綜合スル時ハ前記延繩ノ細鰻ハ全ク白鰻ノ成長セシモノナルガ如ク成長ノ速カナルハ全ク豫想外ナルモ未ダ本場ハ其ノ標本ヲ手ニセル事ナク唯ダ漁業者ノ言ヲ信ズルノミナルヲ以テ斷定ヲ下シ難シ且ツ事業成績ハ殘存魚ノ成長ヲ以テノミ論斷ス可キニ非ラズ數ヶ年ノ後漁獲高ノ増加ヲ以テ決定ス可キモノナルヲ以テ茲ニハ大正八年三月九十兩日ニ場員各漁業者ニ就キ直接總取シタル比較的精確ナル事項ヲ摘記シテ參考トスベシ

- (一) 大正七年十月下旬卷町大字卷字洞端小林雄太郎ハ飛落川ノ出口ヨリ北方ニ當ル新潟市藤田勘吉氏所有地内ニ建テタル鰻ニ於テ地方ニ珍ラシキ細鰻一尾捕獲ニテ抄ヒ上ゲタリ試ニ之ヲ驗セシニ體長八寸體重拾分ナリキ數日間飼育セルモ逸出セラレタリ
- (二) 大正七年十月中旬漆山村大字山島安川福藏ハ鰻ヲ目的トスル延繩ニミ、キノ餌ニテ細鰻一尾捕獲體長八寸五分體重十五分ナリキ
- (三) 四合村大字遠藤星野清松ハ大正七年九月末日頃ハハ餌延繩ニテ鰻ヲ漁獲スル内從來殆ンド見ザリシ細鰻數尾ヲ得タリ體長體重ハ驗セザリシモ二十分内外ト覺エタリ
- (四) 此ノ外遠藤及山島ノ漁業者中大正七年秋季ニ細鰻ヲ延繩ニテ獲タルモノ數名アリ皆白鰻ノ成長シタルモノナリト信ゼリ

一、鰻 兒 配 付

囑托親鰻現在一覽表

前年度來ノ繼續事業ニシテ養成囑托者ニ交付ノ親鰻現在數左ノ如シ

親鰻	雌	雄	尾	計數	住 所	氏 名
四	三	七	一	一	中蒲原郡縣田町大字袋津	立川寅吉
四	一	一	一	一	菅名村大字石曾根	高地清吾
五	三	八	一	一	白根町大字鯉淵	大谷一太郎
二	一	三	一	一	北蒲原郡新發田町大字田所	中島詮造
一	一	二	一	一	全郡全町大字伊勢堂	早川文左工門
四	七	一	一	一	岩船郡神納村大字七湊	寺澤修次
六	五	一	一	一	古志郡竹澤村大字竹澤	佐藤初太郎
四	三	七	一	一	所	星野豐藏
二	二	四	一	一	所	星野爲藏
二	三	五	一	一	南魚沼郡藪神村大字一村尾	井上林藏
二	四	六	一	一	所	小幡金松
五	七	一二	一	一	刈羽郡比角村大字比角	小竹宗治郎

計四五	五六	一〇一	中頸城郡春日村五智園分	白石辰治郎
-----	----	-----	-------------	-------

五月上旬ヨリ六月上旬迄ノ間ニ於テ採卵シ六月下旬迄約一寸ニ達セシヲ以テ高地清吾ヨリ二千百尾大谷一太郎ヨリ九千尾小竹宗治郎ヨリ七萬一千五百尾立川寅吉ヨリ九萬一千尾井上林藏ヨリ一萬五千尾小幡金松ヨリ一萬二千四百尾寺澤修次ヨリ七千尾白石辰治郎ヨリ七百尾合計二十萬八千七百尾ヲ買上グ中頸城郡海町村瀧町近藤長次郎外二十九名ニ對シ無償配付セリ其池沼三十三ヶ所總反別六百四十町七畝七步(内一ヶ所稻田ニシテ面積一反步ナリ)ナリトス之ヲ表示スレバ左ノ如シ備考 此ノ外鯉兒配付ノ通知ヲ發シタルモ無斷ニテ受領ニ出頭セザリシモノ三名アリ又配付ヲ出願シタルモ池沼面積狹小ニシテ規定ニ該當セザル爲メ配付セザレザリシモノ六名アリタリ

大正七年度鯉兒配付一覽表

交付月日	交付尾數	水面ノ種類及名稱	水面反別	住	所	氏名
六月三十日	三、〇〇〇	御手洗池	一、一〇〇〇	中頸城郡瀧町村瀧町		近藤長次郎
七月七日	一〇、〇〇〇	溜池	四、〇〇〇〇	全郡	柿崎村上下濱	小山源七郎
七月九日	三、〇〇〇	金町池	五、〇〇〇〇	全郡	旭村田尻	坂口政三
七月十五日	三〇、〇〇〇	朝池	八〇、〇〇〇〇	全郡	全村内雁子新田	細又次郎
七月十六日	一、五〇〇	手崎池	五、八七〇	全郡	大濱村西部青年會長	大島龍淵
七月十日	五、五〇〇	中谷内塘	三、二〇〇〇	全郡	瀧町村長崎	俵木富作
七月二日	七〇〇	上割池	五、五〇〇〇	全郡	旭村山方	竹内謙昌

交付月日	交付尾數	水面ノ種類及名稱	水面反別	住	所	氏名
七月廿四日	三、〇〇〇	瓢湖	九、二八四	北蒲原郡原町水原		佐藤源兵衛
六月三十日	一、一〇〇	中ノ澤池	四、一〇〇〇	全郡	中條町關澤	石塚廣富
六月三十日	九〇〇	溜池	三、三〇〇〇	全郡	中條町長橋	小菅善左工門
七月四日	三〇、〇〇〇	福島島	四九、〇〇〇〇	全郡	中浦村	市島德厚代 熊谷三六
七月三日	一、五〇〇	倉池	六、〇〇〇〇	全郡	築地村山王	水澤久藏
北蒲原郡計	六四、六〇〇	五ヶ所	五〇〇、六〇〇〇			五名
七月三日	一、〇〇〇	稻田	一、〇〇〇	岩船郡全屋村海老江		小川嘉司三
七月三日	〇、四〇〇	溜池	〇、八〇〇〇	全郡	平林村平林	木村米藏
岩船郡計	三、四〇〇	二ヶ所	九、〇〇〇			二名
七月三日	四、五〇〇	向川池	一、五〇〇〇	西蒲原郡卷町卷		有坂惣藏
七月二日	九、〇〇〇	築造池	三、〇〇〇〇	全	所	養鯉組合長 長島政吉
西蒲原郡計	一三、五〇〇	二ヶ所	四、五〇〇〇			二名
七月十二日	二、〇〇〇	新光寺溜	三、〇〇〇	三島郡日吉村鳥越		山田梧郎
七月四日	三、〇〇〇	大溜	八、〇〇〇〇	全郡	寺泊町吉	丸山義忠
三島郡計	五、〇〇〇	二ヶ所	〇、二〇〇〇			二名
七月三日	二五、五〇〇	池沼	二二、五〇四	新潟市沼垂町牛街道		加藤善藏

新潟縣上越地誌 卷之十 地界 地目

自明治四十年 新瀧縣下鯉養殖高郡別増減表
至大正五十年

郡市名	明治四十年		全四十二年		全四十四年		大正元年		大正二年		大正三年		大正四年		大正五年	
	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格	數量	價格
新潟市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
長岡市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高田市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
北蒲原郡	四六	四〇	一、二五	一、〇五	西	西六	九〇	九〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四〇九五	三、〇〇四	五、五八五	五、九四四	五、〇四四	四、四七四
中蒲原郡	五〇	六〇	七三	七〇	七〇	五	五	九	一五	二九	九二	一、三三	一、一〇〇	一、四七四	一、六五五	一、五九四
西蒲原郡	五〇	一五	三三	六六	三〇	四三	四五	四五	二二	三〇	五〇	一五	一〇〇	一〇〇	八〇	一〇〇
南蒲原郡	—	—	—	—	—	—	九	四七	—	—	七	一〇	四九	六	一〇	七
東蒲原郡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三島郡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
古志郡	一、八〇	一、三五四	二、六五	二、三三	一、九〇	一、九二	二、〇〇	一、九五	三、三〇	二、八三	五、四〇	四、四四	六、〇五	四、八六	五、四三	四、〇三
北魚沼郡	二、五〇	二、三三	二、七五	二、八五	二、八九	二、六六	三、一〇〇	二、八〇	二、三〇	三、〇〇	三、二五	二、六八	三、一六	二、九三	二、八六	二、五四
南魚沼郡	五〇	六七	八二	七九	一、一〇	一、一〇	一、三六	一、二七	一、六九	一、七五	一、六五	一、九九	一、八〇	一、六二	二、〇〇	一、九三
中魚沼郡	二五	二五	五五	五〇	六七	六七	九三	九三	一、四五	一、四七	一、六二	一、四九	一、八〇	一、六二	二、〇〇	一、九三
刈羽郡	—	—	一、〇九	一、〇八	一、五九	一、四六	一、三〇	一、四二	一、八八	一、七四	一、五〇	一、四四	一、三〇	一、三五	一、五〇	一、四三
東頸城郡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中頸城郡	一、三〇	一、〇九	一、三八	一、二五	九三	八六	六二	六四	七	七九	六三	一、〇〇	八五	九二	四六	六二
西頸城郡	九	七	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
岩船郡	九	七	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
佐渡郡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	七、六六	六、七〇	一、一四	一、〇四	一、〇七	九八	一、〇七	一、〇四	一、四三	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇	一、三〇

備考 本表ハ縣勸業統計ヨリ採録セルモノナリ

至自明治四十年 新瀉縣下 鯉魚獲高郡別 增減表

郡市名	明治四十年		全四十二年		全四十二年		全四十四年		大正元年		大正二年		大正三年		大正四年		大正五年	
	数量	價格	数量	價格	数量	價格	数量	價格	数量	價格	数量	價格	数量	價格	数量	價格	数量	價格
新潟市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
長岡市	110	六	110	110	100	八〇	100	八〇	五〇	三〇	—	—	五〇	三〇	100	八〇	100	一四〇
高田市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
北蒲原郡	二、六	二、六三	二、四四	二、五二	二、五〇	二、〇五五	二、〇三六	二、〇九五	二、三三〇	二、一〇〇	二、九一	三、六六	五、五五	六、五五	六、三三〇	六、二〇〇	四、五二	五、五九
中蒲原郡	七二	六三	一、四九	一、五五	七二	六三	一、〇五九	一、三三〇	一、四一	一、二五	二、〇一	二、二四	二、七	二、五五	一、五七	一、五九	二、一	二、九七
西蒲原郡	一、〇六五	六元	八〇	九八	五二	四四	一、九一	一、二二	三、三〇	一、九〇	二、三〇	二、〇〇七	一、〇三	九三	一、六四	一、四五	二、〇〇	一、八二
南蒲原郡	105	一、〇	110	七〇	五二	三七	一、五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五	五
東蒲原郡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
三島郡	五〇	三、四	一、五	三、〇	六〇	三、五	三、三	三、三	八、四	六、七	五	五	五	五	五	五	五	五
古志郡	一、八五	一、八三	一、八五	一、八五	一、七五	一、八〇	二、四	二、〇三	二、八	二、四	五、四	四、九	五、九	四、九	五、七	四、九	三、七	二、八
北魚沼郡	六、九	六、七	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三
南魚沼郡	九一	六、八	三、四	三、四	五九	四〇	三、五	三、五	九、五	九、九	九、九	一、〇五	二、八	三、〇	三、二	三、〇	四、五	九、二
中魚沼郡	五五	五、三	110	二、九	三、三	三、三	三、三	三、三	四、〇	四、九	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三
刈羽郡	—	—	一、九	一、九	一、九	一、四	一、四	一、四	一、四	一、四	一、四	一、四	一、四	一、四	一、四	一、四	一、四	一、四
東頸城郡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
中頸城郡	一、五二	一、三	一、六	二、四	九、二	八、五	四、六	三、〇	八、五	七、九	一、八	一、四	三、五	八、二	四、二	五、七	二、三	八、二
西頸城郡	九	七	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
岩船郡	一、六	三、四	九、五	三、三	六、六	六、五	九、九	九、九	六、六	六、六	一、〇	八、〇	一、二	一、四	四、一	二、四	九、〇	六、〇
佐渡郡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	一、六五	一、五	一〇、六	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一〇、五

備考 本表ハ縣勸業統計ヨリ採得セルモノナリ

鯉兒配付事業沿革及成績並ニ廢止

本縣下各地ニ散在スル三反歩以上ノ池沼ハ其數三百ヲ越エ面積約二千七百町歩アリ是等水面ノ渚溜水ハ多ク水田灌溉ニ使
用セラレドモ其水面ハ生産的ニ使用セラル、事甚ダ少シ茲ヲ以テ本場ハ一面不用水面ヲ利用スルト同時ニ農家ニ有益ナ
ル副業ヲ與ヘ鮮魚ノ缺乏ヲ補足スル目的ヲ以テ一般ニ養鯉業ヲ獎勵シタリ
而テ養鯉業ヲ獎勵スルニ當リ先ヅ努ム可キハ種苗ノ配給ヲ潤澤ナラシムルニアリ然ルニ從來縣内ニ飼養セラレタル鯉魚ハ
天然河湖産ノモノト系統ヲ同クシ形体細長肉量少ク成長度遅緩ナルノ缺點アリ茲ニ於テカ本場ハ明治四十年長野縣埴科郡
松代町ヨリ本邦産鯉魚中最モ優良ナル品種ト稱セラル、信州系統親鯉雌四十一尾雄百九十尾ヲ購入シ中蒲原郡菅名村大字
木越ニ九反八畝歩ノ地ヲ有シ之ニ養魚池二十二個面積總計一千六百九十二坪三合二勺ヲ築造シテ之ニ養ヒ翌四十二年ヨリ
採卵種魚養成ヲ行ヒ鯉魚ノ一般配付ヲ開始セリ
爾來前記養魚場ニ於テ鯉兒配付ヲ繼續シ來リタルモ同所ハ地盤及用水ノ關係上常ニ天然餌料ノ發生意ノ如クナラズ爲メニ
豫定ノ魚兒數ヲ得ラレズ加之一ヶ所ノ養魚所ヲ以テ廣調ナル全縣下ニ汎ク配付スルノ到底不可能ナルヲ認メタルニヨリ大
正二年三月三十一日限リ同養魚場ヲ廢止シ之ト同時ニ鯉兒配付方法ヲ變更シ從來同養魚場ニ飼養セル親鯉二百五十五尾ヲ

縣下各地ニ散在セル經驗アリ熟練ナル鯉兒養成者ニ無償ヲ以テ配付シ是等ノ採卵養成セシ鯉兒ヲ相當代價ニテ買上豫メ池
沼及稻田養鯉ノ爲メ鯉兒配付ヲ出願セル者ニ無償配付ヲナスコト、シ爾來本年事業ヲ繼續シテ今日ニ及ベリ左ニ鯉兒養成
嘱托者及親鯉交付數ヲ掲グ

鯉兒養成者及親鯉交付數 (本場鯉兒配付所)

交	付	親	候	補	住	所	氏	名
雌	雄	鯉	鯉	魚				
三尾	七尾	一〇尾	岩船郡神納村大字七湊		寺澤	修次		
三	七	一〇	北蒲原郡新發田町字田所		中島	詮造		
三	七	一〇	全部 字伊勢堂		早川	文左衛門		
五	七	一〇	中蒲原郡龜田町大字袋津		立川	寅吉		
三	五	一〇	全部 白根町大字鱒瀨		大谷	一太郎		
七	一三	一〇	全部 菅名村		高地	清吾		
三	五	五	古志郡竹澤村大字竹澤		佐藤	初太郎		
三	五	五	全部		星野	爲藏		
三	五	五	全部		星野	爲藏		
三	七	六	刈羽郡比角村大字比角		小竹	宗治郎		
三	四	〇	南魚沼郡敷神村大字一村尾		井上	林藏		
三	四	〇	全部		小幡	金松		
四	六	〇	中頸城郡春日村大字五智園分		白石	辰次郎		

備考 白石辰次郎ハ大正六年度始メテ囑托シタルモノニシテ其他ハ全部大正二年ニ囑托セルモノナリ
 鯉兒配付事業ヲ開始シテヨリ大正七年度ニ至ル迄本場ヨリ各當業者ニ配付セシ鯉兒ハ總數百四十萬四千五百四十七尾ニ

及ビ縣下長岡市高田市及東頸郡城ヲ除ク一市十五郡ニ亘レリ其内多數ニ配付セシ都市ハ北蒲原郡ノ四十三萬五千六百尾ヲ
 最トシ中蒲原郡ノ十八萬七百七十七尾西蒲原郡ノ十三萬一千八百八十五尾岩船郡ノ十一萬七百四十尾之ニ亞ギ佐渡郡ノ三
 千百尾最モ少シ猶ホ詳細ハ左ニ表ヲ掲グルト、ス

自事業開始 至事業廢止 鯉兒配付郡別表

郡市名	自明治四十四年度至大正七年度配付尾數	大正六年度配付尾數	大正七年度配付尾數	自明治四十四年度至大正七年度配付尾數
新潟市	—	—	—	—
長岡市	—	—	—	—
高田市	—	—	—	—
北蒲原郡	二九六、九〇〇	七四、一〇〇	六四、六〇〇	四三五、六〇〇
中蒲原郡	一七七、四七七	一、二〇〇	二、一〇〇	一八〇、七七七
西蒲原郡	九七、八八五	二〇、五〇〇	一三、五〇〇	一三二、八八五
南蒲原郡	四一、二三五	—	—	四一、二三五
東蒲原郡	一一、六〇〇	—	—	一一、六〇〇
三島郡	一一〇、五〇〇	—	—	一一〇、五〇〇
古志郡	一一〇、二〇〇	一七、二〇〇	—	一二七、四〇〇
北魚沼郡	一一三、八〇〇	九〇〇	—	一一四、七〇〇
南魚沼郡	一一、〇〇〇	—	—	一一、〇〇〇

中魚沼郡	一八、三〇〇	五、九〇〇	二二六、四〇〇	五〇、六〇〇
刈羽郡	三一、九五〇		四、五〇〇	三六、四五〇
東頸城郡				
中頸城郡	一一三、三〇〇	五六、九六〇	六一、七〇〇	二四一、九六〇
西頸城郡	一一、一〇〇	三〇、〇〇〇		四二、一〇〇
岩船郡	六七、二〇〇	四〇、一四〇	三、四〇〇	一一〇、七四〇
佐渡郡	二、四〇〇	七〇〇		三、一〇〇
計	九四五、八四七	二五〇、〇〇〇	二〇八、七〇〇	一、四〇四、五四七

鯉兒配付ニヨリテ舉ゲタル成績参照ス可キ材料甚ダ少シ之レ各當業者共ニ多クハ粗放的養魚ヲナスモノニシテ殊ニ交付鯉魚ハ一寸前後ノ當才魚ナレバ其ノ收納ハ二三年ノ後ヲ期セザル可カラズ其ノ收穫ハ一時ニ市賣スル事ナク漸次ニ市賣スルカ或ハ自家用ノ魚類ニ代用スルモノナルヲ以テ之ヲ數字のニ示シ得ルモノ其ダ少ク隨テ収支計算ノ如キ報告シ來ルモノ殆ンドナシ依テ本場ニ於テ直接調査セル處ヲ綜合シテ考フルニ無給餌粗放養鯉ノ場合ニ於テ一反步約四五圓ヨリ十五圓内外ノ収利アルモノ、如ク給餌ヨリ貳拾圓内外ノ純益ヲ見ルモノ、如シ但シ天候ノ障害及其他特殊ノ災害ニヨリ不測ノ損害ヲ見ルコトアルハ勿論ナリ

今縣勸業統計ニヨリ明治四十年ヨリ大正五年ニ至ル縣下天然鯉魚漁獲高及養殖鯉魚產額ノ増減ヲ檢スルニ天然鯉魚獲ハ明治四十年ニ一萬六千貫タノモノ大正五年ニ貳萬四千貫タニ増加シタルニ過ギサルモ養殖鯉魚ハ明治四十年八千貫タノモノ大正五年ニ五萬八千貫タニ増加シタルヲ以テ増加率ハ前者ノ十八割ニ比シ後者ハ七十三割ナルヲ知ル可シ如斯養殖鯉魚ノ増加セルハ當業者自身ノ養鯉思想發達セルニ歸因スルハ勿論ナレドモ又本場ノ鯉兒配付事業ガ直接間接ニ

之ヲ助長セル事多大ナリトス殊ニ近來鯉魚ノ品種ガ著シク改善セラレタルノ一事ハ全ク本場ノ努力タラザル可カラズ左ニ明治四十年ヨリ大正五年ニ至ル縣下鯉魚養殖高郡別表及漁獲高表ヲ掲ゲテ參考ニ資ス

本場鯉兒配付事業ハ上述ノ如ク明治四十一年度以降ノ繼續事業ニシテ既ニ大正七年度迄九ケ年間ニ優良ナル鯉兒百四十萬餘尾ヲ配付シ相當實績ヲ舉ゲタルノミナラズ近時一般當業者ノ養鯉ニ對スル思想大ニ進歩シタルト一面本場事業經理關係上本事業ハ大正七年度限り一先ズ廢止スル事トシタリ

三、鮎人工孵化事業(概報)

大正七年度

一、試験ノ趣旨

本縣ニ於テ鮎ヲ產出スル河川ハ、姫川、關川、信濃川ノ諸支流(五十嵐川、魚野川、破間川、清津川、中津川、境川、阿賀野川)及其支流タル早出常浪ノ兩流、加治川、胎内川、荒川、三面川、等枚舉ニ遑ナキモ其内特ニ產額多キハ信濃川ノ諸流及阿賀野川、胎内川、荒川、三面川等ニシテ就中香味及形体ヲ以テ有名ナルハ破間川產ノ鮎ナリトス全所ノ鮎タルヤ重量三四十匁ヲ最小トシ大ハ百三四十匁ヲ超ユルモノアリ形狀甚シク肥滿シ一見尙儂ノ如キ狀ヲ呈セリ然ルニ近時各地共ニ鮎ノ漁獲頓ニ減少シ心アルモノヲシテ嘆聲ヲ發セシムルニ至レリ其原因多々アル可シト雖モ山林ノ荒廢ニヨリ屢々洪水ヲ生ジ天然產床ニ危害ヲ加フルト漁人ハ年々其數ヲ増シ漁具漁法ハ益々精銳苛酷トナリ漸次繁殖力ニ對スル漁獲ノ均衡ヲ失スルニ起因スルモノタラズンバアラズ本縣ハ漁業取締規則ニヨリ產卵期禁漁ノ規定ヲ設ケ繁殖保護ノ途ヲ講スト雖モ未タ之レヲ以テ萬全ノ策ト言フヲ得ス茲ニ本年度ヨリ新ニ本事業ヲ施行シ積極的ニ之カ繁殖ヲ企テ產額ノ増大ヲ計ラントスル所以ナリ

二、孵化場ノ位置

孵化場ハ信濃川ノ支流魚野川ニシテ同川ガ本流ニ合スル出合ヨリ約十五丁ノ上流右岸北魚沼郡川口村大字川口字相川嶋地先ニ撰ベリ孵化場ヲ同所ニ撰ビタル理由ハ本縣内ニ於ケル信濃川諸支流(境川、中津川、清津川、魚野川、破間川)ニ成長セシ鮎ガ產卵期ニ達スレバ全部同所ヲ中心トセル上下流約二十丁ノ河流ニ來リ產卵スルモノニシテ殆ンド他ノ箇所ニ於テ產スルコトナキヲ以テ親魚ヲ得ルニ最モ便ナルト有名ナル破間川產鮎ヲ繁殖セシムルニ最モ適當ナル位置ナルニ依ルモノトス

三、孵化場ノ設備

鮎ノ人工孵化ニ於テハ各種種々ナル方式ヲ取リ必スシモ一定セザルヲ以テ本縣ニ於テハ地方ニ最適ナリト信スル所ニ從ヒ特別ナル孵化場ヲ設置セシメ孵化槽ハ直接河川中ニ浸シ之ヲ麻繩ニ結ビテ陸上ノ立木ニ固定シタリ而シテ槽内ノ水ノ交流及洪水時ノ水流等ニハ時ニ注意シテ調節シ塵芥ノ害敵避用ノ金網戸ヲ備ヘタリ

四、孵化及採卵用器具

- (一) 孵化槽、杉正八分板製内法六尺巾一尺五寸深一尺一寸其前後兩面(短面)ハ十八番亞鉛引針金ノ長目金網戸ヲ附シ上面ハ四分板ノ蓋ヲナス槽内ニハ孵化棒五十枚ヲ挿入スルニ足ル切込附ノ棧ヲ裝置ス一槽ニテ卵粒約壹百萬粒ヲ収室シ得
- (二) 孵化棒、杉厚正二分五厘巾五分長一尺ノ板ニテ角棒ヲ作り之ニ棕桐皮ヲ張ル一枚ニ卵粒約二萬ヲ附着ス
- (三) 採卵箱、松八分板製内法長一尺二寸巾一尺一寸深六寸長邊兩側上面ヨリ一寸六分下リタル處ニ巾厚共八分ノ棧ヲ打付ケ底部ニ排水栓ヲ設ケタリ
- (四) 採卵盆、杉六分板製内法上面長一尺三寸巾九寸底面長一尺二寸巾八寸深二寸五分
- (五) 羽箒、卵精液ヲ攪拌スルニ用ユ
- (六) 里芋ノ葉、卵子搾出ニ用ユ
- (七) 副器具、活魚槽數個

五、産卵場及時期

- (一) 産卵場ハ所謂瀬付場ニシテ縣内ノ信濃川流域中ニハ唯前述ノ北魚沼郡川口村地内ニ數ヶ所アルノミナリ而シテ毎年多少ノ移動ハ免レザルモ要スルニ其底質ニ依ルモノニシテ砂礫ノ五分乃至二寸大(殊ニ一寸内外)ノ場所ニシテ水深四五寸乃至三四尺ノ水勢稍々強ク水清澄砂礫ニ水垢各推積セザル所ナリトス
- (二) 時期本縣ノ各河共ニ九月二十日ヨリ始マリ十月下旬ニ全ク産卵終了スルモノ、如ク最モ盛ナルハ九月二十四日頃ヨリ十月一二日頃迄トス
- (三) 産卵ノ時刻、生殖素成熟セル親魚ハ前記ノ瀬付場附近ニアル稍々深部ニ集リ居薄暮ヨリ夜間ニカケテ瀬付場ニ出テ砂礫ニ放産ス産卵ハ初期ニ於テハ夜間ニ多キモ盛期ニ至レバ晝間ニテモ出デテ産卵ス然レドモ概シテ午後四時頃ヨリ七時頃迄最モ瀬付盛ナリ曇天ノ日ヨリモ晴天ノ日多ク産卵ス

六、親魚ノ漁獲方法

本縣下ニ於ケル鮎ノ漁獲方法ハ鮎關築、投網、鵜籠(旋網トモ言フ)かけ釣、友釣、ころかけ等種々アレドモ採卵用ノ親魚ハ孵化場ノ附近ニアル築ニテ捕獲セルモノヲ一時築内ニ飼育シ置キ適當ナル時期ニ採卵スル事トセリ

七、採卵

採卵方法ハ先ヅ採卵箱ニ水ヲ滿タシ此中ニ孵化棒四五枚ヲ入レ棧ニヨリテ支ヘ置ク次ニ漁獲セル親魚ノ内最初雌魚ヨリ卵ヲ里芋ノ葉ノ上ニ搾出シ用濟ノ親魚ハ採卵盆ニ之レヲ入レ次ニ卵上ニ雄魚ノ精液ヲ搾出シ羽箒ニテ叮嚀ニ攪拌混合シタル後少量宛羽箒ノ先端ニ附シテ前記採卵箱内ノ孵化棒ノ水面ニ入レ敏速ニ水ヲ攪拌シ卵粒ヲ個々ニ離シテ厚薄ナキ棕桐皮上ニ落下附着セシム斯クテ兩面ニ卵粒ヲ附着セシメタル孵化棒ハ直チニ孵化槽ニ収容ス

本年度ニ於ケル採卵豫定數ハ約一千萬粒ナリレモ經費其他ノ都合アリタルニヨリ豫備的試驗ニ止ムル事トナシ僅カニ百三

十四萬一千六百粒ヲ採卵セリ其概要左ノ如シ

- 一、採卵時日 九月二十五日
- 二、親魚數 雌八十六尾
雄二百七十二尾
- 三、採卵數 百三十四萬一千六百粒
- 四、雌一尾平均孕卵數二萬五千六百粒
- 五、卵粒ヲ附着シタル梓ノ數五十枚

八、卵子發育及經過

九月二十五日採卵後孵化槽ハ直チニ川口村大字中山地先魚野川流域中ニ浸漬シ專ラ卵ノ發生ヲ待チタリ然ルニ九月三十日及十月五六日ノ出水アリタルニ何等ノ被害ヲ見ル事ナク發育進捗シ九月三十日全部發眼十月八日ヨリ全十二日迄ニ孵化終了死卵約十三%孵化魚兒數約百十六萬七千七百九十二尾ニシテ全部魚野川ニ流出シ去レリ其概要左ノ如シ

九、鮎人工孵化放流概要

- 一、親魚產地 魚野川(信濃川支流)
- 二、親魚漁獲方法 落切リ築
- 三、採卵時 九月二十五日
- 四、採卵親魚數 雌八十六尾雄二百七十二尾
- 五、採卵總數 百三十四萬一千六百粒

- 六、孵化槽數 壹個(孵化梓五十枚)
- 七、孵化槽位置 北魚沼郡川口村大字中山地先魚野川
- 八、發眼時日 九月三十日
- 九、孵化時日 自十月八日至全十二日
- 〇、孵化期中平均氣温
 - 午前六時十六度四分正午二十度六分
 - 午後六時二十度一分
- 一、孵化期中平均水温
 - 午前六時十五度四分正午十六度九分
 - 午後六時十七度三分
- 二、孵化率 八十七%
- 三、死亡率 十三%
- 四、放流總數 百十六萬七千七百九十二尾
- 五、放流河川 信濃川支流魚野川

氣象觀測表

月日	時刻	天候	風向	風力	氣温	水温	記	事
廿九日	午前六時	晴	北西	和	一八、五	一七、五		
	十二時	晴	北	ク	二三、〇	一八、〇		
廿四日	午後六時	曇	ク	ク	二四、〇	一九、〇		
	午前六時	雨	北西	ク	一七、〇	一七、〇	午後二時ヨリ俄然出水シ平水位ヨリ約四五尺高シ	
	正午	ク	ク	軟	二三、六	一八、〇		
廿五日	午後六時	曇	南	和	二三、五	一八、五		
	午前六時	晴	北西	疾	一七、八	一八、〇	採卵ス	
	正午	曇	ク	和	二二、八	一七、五		
廿六日	午後六時	晴	西	ク	二四、八	一八、〇		
	午前六時	晴	北	和	二〇、〇	一五、五		
	正午	晴	北西	和	二三、五	一六、五		
廿七日	午後六時	ク	北	ク	二五、〇	一九、〇		
	午前六時	曇	北東	ク	一五、五	一五、〇		
	正午	曇	南	ク	二二、〇	一八、〇		
	午後六時	ク	ナシ		三三、〇	一八、五		

廿八日	午前六時	ク	ナシ		一九、〇	一六、〇		
	正午	晴	北西	和	二三、〇	一七、六		
廿九日	午後六時	ク	北	ク	二四、〇	一九、五		
	午前六時	雨	ナシ		一八、五	一六、八		
	正午	雨	ク		二二、〇	一七、〇		
	午後六時	雨	ク		一九、五	一七、〇		
三十日	午前六時	ク	北	和	一八、〇	一六、五	終日洪水發眼ヲ認ム	
	午後六時	ク	北	強	一八、七	一七、〇		
	正午	ク	北西	和	一七、五	一七、〇		
十月一日	午前六時	ク	ナシ		一七、〇	一五、五		
	午後六時	ク	北	西和	一七、〇	一六、五		
	正午	ク	北東	ク	一五、六	一五、〇		
二日	午前六時	曇	東	ク	一五、六	一四、五		
	午後六時	ク	ク	ク	二二、〇	一七、〇		
	正午	晴	北西	ク	一八、〇	一七、〇		
三日	午前六時	曇	東	ク	一五、〇	一四、〇		
	午後六時	ク	北	ク	二〇、五	一七、五		
	正午	晴	北	ク	二〇、五	一七、五		

平均	午前六時		正午	午後六時	
	氣温	水温		氣温	水温
ク	午後六時	ク	正午	午後六時	ク
ク	雨	北	ク	北	ナシ
十三日	午前六時	東	二七、二	一四、五	
ク	曇	北	一八、五	一六、七	
ク	晴	西北	二〇、五	一六、五	
十二日	午前六時	東	一五、〇	一四、〇	發生終了ス
ク	曇	北	一八、〇	一六、七	
ク	ク	北	一八、五	一六、〇	
十一日	午前六時		一五、五	一五、〇	
ク	雨	ナ	二〇、〇	一七、五	
ク	ク	南	二三、〇	一六、五	
十日	午前六時	東	一一、五	一三、五	
ク	ク	軟	二二、〇	一七、五	
ク	ク	西北	二三、〇	一六、五	

平均	午前六時		正午	午後六時	
	氣温	水温		氣温	水温
ク	午後六時	ク	正午	午後六時	ク
ク	曇	北	ク	北	ナシ
八日	午前六時	東	一八、五	一四、五	
ク	晴	西	一八、〇	一六、〇	
ク	曇	東	二三、五	一四、五	發生ヲ始ム
七日	午前六時	北	二〇、五	一六、五	
ク	ク	北	一五、五	一六、〇	
ク	ク	軟	一八、七	一七、〇	
六日	午前六時	北	二〇、〇	一六、五	
ク	ク	北	一九、五	一七、〇	
ク	ク	南	二二、〇	一六、五	
五日	午前六時	南	一八、二	一五、五	
ク	雨	ナシ	一九、〇	一七、〇	
ク	ク	南	一九、五	一六、五	
四日	午前六時	東	一四、五	一五、〇	
ク	曇	北	一九、〇	一七、五	
九日	午前六時	東	一一、五	一三、五	

四、鮭人工孵化事業

一、採卵ノ狀況

本場創立以來ノ繼續事業ニシテ採卵ハ例年ノ如ク三面川筋ニ於テ十一月二十二日堀川第三回渡ヨリ開始シ十二月二十六日堀川第十六回渡マテ三十四日間専心努力シタルモ三面川鮭總漁獲一萬一千二百七十七尾ニ對シ僅カニ百九十七萬五千粒ヲ採卵シタルニ過ギズ豫定額八百萬粒ニ及バザル事遺憾キハ甚ダ遺憾トスル所ナリ

由來三面川ノ鮭漁ハ大正二年迄ハ頗ル順調ニ發達シ來リシモ大正三年ヨリ漸次減少シ大正五年秋季ニハ其ノ最低限ニ達シ三面川ニテ漁獲數僅カニ四千尾トナリ大正六年稍挽回シテ一萬八千三百三十三尾トナリシモ本年ハ再び稍々減少シテ一萬一千二百七十七尾トナレリ然ルニ大正四年總漁獲七千九百六十四尾ニ對スル採卵總數四百三萬五千粒大正五年ハ總漁獲四千六百餘尾ニ對スル採卵總數百三十三萬粒大正六年ハ總漁獲一萬八千三百三十三尾ニ對スル採卵總數六百二十六萬二千五百粒ヲ得タルニ本年ハ總漁獲一萬一千二百七十七尾ニ對スル採卵總數二百萬粒弱ナルハ甚ダ僅少ナルガ如シ之レ何ニ起因スルカト言フニ漁場ノ關係ニヨリ老魚多クシテ適當ナル親魚少カリシニ由ルト言フヲ得ベシ

例年三面川筋ニ於ケル鮭漁場ハ大海戸、中網、見出川、種川、寺股、欠ヶ上リ等アリ其内大海戸、中網ハ地曳網ヲ使用シ見出川、寺股、欠ヶ上リ等ハ堰四手若クハ錯突等ニヨリ種川（堀川芝居股川ヲ合セテ呼ブ）ハ二三日目毎ニ「浚ヒ」ヲ施行スルモノナリ而シテ其内最モ漁獲多キハ大海戸漁場ニシテ殆ンド全川漁獲ノ四五割ハ此處ニ漁セラル加シ位置河口ニ接近スルヲ以テ漁獲セラレタル親魚ハ未ダ産卵場ニ附キタルコトナキモノ多ク隨テ孕卵適當ナル親魚多ク故ニ毎年總採卵數ノ約六七割ハ此ノ漁場ニ於テ採卵スルヲ例トセリ然ルニ本年度ハ例年公賣ニ附スル慣例ナル大海戸、中網兩漁場ハ金高ノ關係上公賣セズ養育所自ラ漁撈スル事トナリタルニヨリ前記兩漁場ヲ廢止シ堀川、芝居股川ノ二種川迄鮭魚ヲ撈上セシノ然

ル後二三日目毎ニ「浚ヒ」ニヨリテ捕獲スル事トナリタリ而テ此ノ二種川ハ其ノ名稱ノ如ク流程約二十町ノ間全部好箇ノ天然産卵場ニシテ産卵期ニ入りテ湖上スル三面川ノ鮭ハ河川ニ溯入後一晝夜若クハ數時間ニシテ直ニ産卵ヲ開始スルモノナルヲ以テ「浚ヒ」ニヨリテ漁獲セラル頃ハ既ニ産卵ヲ了シタル鮭魚多ク隨テ採卵用ノ親魚ヲ得ル事甚ダ困難ナリトス之レ本年産卵數ノ漁獲尾數ニ比シ比較的僅少ナリシ重要ナル原因ニシテ全川ノ漁獲尾數多カラザリシト両々相持ツテ豫定卵子ヲ得ラレザリシ所以ナリ

上述ノ如ク本年ハ三面川ニ於テ僅カニ百九十七萬五千粒ノ採卵ニテ豫定卵數八百萬粒ニハ六百萬粒ノ不足アリ依テ北海道廳ヘ卵子分與方交渉シタルニ百五十萬粒分讓ノ回答ヲ得タルニヨリ北海道水産試驗場千歲支場ヨリ購入補充スルコト、シタリ然レドモ總ホ合計三百四十七萬五千粒ニシテ卵子數少キヲ以テ三面川採卵ノ分百九十七萬五千粒ハ月岡鮭人工孵化場ニ收容スルコト、シ阿賀野川及信濃川兩鮭人工孵化場ハ開場セザリキ
三面川ニ於ケル採卵ノ方法ハ採取法ニシテ北海道ヨリ購入ノ卵子ハ切開法ニヨリ採卵セルモノナリ
左ニ三面川採卵表ヲ掲グ

三面川鮭採卵表 (大正七年度)

漁場名	漁獲總尾數		採卵數		採卵方法
	雄	雌	雄	雌	
種川	八七五尾	五五尾	二七尾	一、五二、五〇〇粒	採取法
見出川	一、二六	一八一	七	四六、五〇〇	全
寺股	一、〇〇〇	—	—	—	—
飲ヶ上	—	—	—	—	—
計	二、一三七	五六一	三六	一、九七、〇〇〇	—

備考 河口潮波濱ニ於ケル地曳網鮭漁獲高四千八百尾ナリ

一、三面川鮭人工孵化場ニ於ケル育卵經過魚兒發育狀況及放流

前述ノ如ク三面川筋ニ於テ採卵シタル鮭卵數總計百九十七萬五千粒ニ過ギザリシヲ以テ之等ノ卵子ハ全部三面川鮭人工孵化場第一孵化室ニ收容シタリ然ルニ卵子ハ一月初旬ヨリ一月下旬ニカケテ漸次發眼シタルニ一月十三日ヨリ無眼卵ノ整理ヲ開始シ一月末日迄ニ無眼卵十三萬二千五百粒ヲ除去シタリ

孵化ハ一月二十三日頃始メテ二百尾ヲ見夫レヨリ漸次盛トナリ二月中旬最モ盛ニシテ三月八日全ク孵化終了セリ而テ其死卵數發眼前九萬三百粒發眼後二萬二千五百十四粒ニシテ孵出魚兒數百七十五萬九千六百八十六尾ナリ

魚兒ハ三月二十二日頃ヨリ浮上ヲ始メ全二十七八日頃ヨリ四月十日頃迄最モ盛ニシテ最後ノモノハ四月中旬迄ニ全部浮上セリ

投餌ハ四月五日浮上早キモノヨリ漸次開始シ最初ハ魚兒一萬尾ニ付乾燥蠶蛹一匁ノ割合トシ成長スルニ隨テ漸次増加セリ孵化後四月下旬放流迄ノ魚兒斃死數二千七百七十八尾差引現在數百七十五萬七千五百八尾ニシテ之ヲ四月二十五日三十五萬尾二十六日三十八萬尾二十七日四十萬尾二十八日三十五萬尾二十九日三十萬七千五百八尾放流セリ

放流地点ハ例年ノ如ク三面川字見出川ノ一支流ニシテ養魚池ヨリ連絡セル小溝ヘ流出セシメタリ放流時ノ體長大一寸八分小一寸二分五厘ナリ

左ニ其ノ成績一覽表ヲ掲グ

採卵期	自十一月二十二日至十二月二十六日
發眼期	自一月初旬至一月下旬
孵化期	自一月二十三日至三月八日

浮上期 自三月二十二日至四月十六日
 投餌開始期 自四月五日至四月十九日
 放流期 自四月二十五日至四月三十日

三面川鮭人工孵化場成績一覽表 (大正七年度)

卵子總數	期日		用水温(正午平均)	死亡數	放流數	摘	要
	自採卵開始	至發眼終了					
一、九五、〇〇〇粒	至發眼終了	七日間	七、八度	九、七〇〇粒	一、五七、五〇〇尾	%	放流數ハ採卵總數ノ八十%ナリ
	自發眼終了	至孵化終了	五、六度	三、五二四			
合計	至放流終了	一〇、一		二、一六尾	二七、四九二		

三、月岡鮭人工孵化場ニ於ケル鮭卵運搬、發育及放流

前述ノ如ク本年度月岡鮭人工孵化場ニ収容シタル鮭卵百五十萬粒ハ北海道水産試驗場千歲支場ヨリ分譲ヲ受ケタルモノニシテ十二月九日ヨリ全十二日迄ニ千歲川ニ於テ採卵セラレ一月七日ヨリ同十日迄ニ發眼シタルヲ一月十四日荷造ヲナシ直チ千歲ヲ發送シ一月十九日月岡鮭人工孵化場ニ到着翌二十日全部孵化槽ニ収容セルモノナリ
 爾來同孵化場ニ飼育セルニ卵子ハ二月二十八日ヨリ孵化ヲ始メ三月二十六日全部孵化ヲ終リ四月二十日ヨリ魚兒浮游ヲ始メ五月五日全部浮上シタリ此間死卵數三萬九千九百三十三粒魚兒斃死數四千八百七十尾ヲ出シタルニヨリ五月十日放流終了迄ノ現在魚兒數百四十五萬五千二百七十七尾ナリ之ヲ五月一日ヨリ全十日ニ至ル十日間ニ亘リ全部信濃川支流タル五十嵐川ニ運搬放流セリ左ニ同孵化場成績一覽表ヲ掲グ

採卵期 自十二月九日至十二月十二日
 發眼期 自一月七日至一月十日
 運搬期 自一月十四日至一月十九日
 孵化期 自二月二十八日至三月二十六日
 浮上期 自四月二十日至五月五日
 放流期 自五月一日至五月十日

月岡鮭人工孵化場成績一覽表 (大正七年度)

収容卵子數	期日		用水温(正午平均)	死亡數	放流尾數	摘	要
	自採卵開始	至發眼終了					
一、九〇〇、〇〇〇粒	至發眼終了	六日間	四、〇度	三九、九三粒	一、四三、二七尾	%	放流數ハ購入卵子數ノ九十%ナリ成績甚ダ良好ナリ
	自發眼終了	至孵化終了	八、〇度	四、八〇〇尾			
合計	至放流終了	一二	三、二	五〇	四、六三		

本場創立以來採卵並放流表

年 度	採 卵 數	放 流 數	斃 死 步 合
明治 32	3,513,000	2,392,145	1,65
33	3,085,000	2,762,303	1,50
34	3,020,500	2,761,147	,85
35	2,369,000	2,021,024	1,47
36	3,000,000	2,560,577	1,46
37	3,002,000	2,426,615	1,92
38	3,011,000	2,762,000	1,12
39	5,603,000	5,041,927	1,00
40	5,457,000	5,066,043	,25
41	4,589,000	4,081,643	1,01
42	5,003,000	4,255,711	1,50
43	8,817,500	7,318,950	1,63
44	8,347,500	6,861,264	1,78
大正 1	8,305,000	6,816,587	1,79
2	8,001,000	6,820,246	1,58
3	7,505,000	5,922,234	2,10
4	6,035,000	5,325,400	,88
5	1,330,000	1,021,136	2,32
6	6,262,500	5,313,535	1,41
7	3,475,000	3,212,725	,72

大正七年度採卵日表

漁場 月日	堀 川	見出川	日 計	累 計	備 考
11,22	32,500		32,500	32,500	採 卵 開 始
,23		12,500	12,500	45,000	
,24		10,000	10,000	55,000	
,25		10,000	10,000	65,000	
,26	70,000	5,000	75,000	140,000	
,27		7,500	75,000	147,500	
,28	12,500	15,000	140,000	287,500	
,29		10,000	10,000	297,500	
,30	177,500	7,500	185,000	482,500	
十一月分計	405,000	77,500		482,500	
12, 1		2,500	2,500	485,000	
, 2		32,500	32,500	517,500	
, 3	335,000	27,500	362,500	880,000	
, 4		25,000	25,000	905,000	
, 5	70,000	5,000	75,000	980,000	
, 6		42,500	42,500	1,022,500	
, 7	85,000	30,000	115,000	1,137,500	
, 8		10,000	10,000	1,147,500	
, 9	90,000		90,000	1,237,500	
,10					
,11	35,000		35,000	1,272,500	
,12					
,13	12,500	15,000	27,500	1,300,000	
,14		15,000	15,000	1,315,000	
,15		50,000	50,000	1,365,000	
,16	265,000	67,500	332,500	1,697,500	
,17		32,500	32,500	1,730,000	
,18	105,000	10,000	115,000	1,845,000	
,19		20,000	20,000	1,865,000	
,20					
,21					見出川採卵中止ス
,22	100,000			1,965,000	
,23					
,24					
,25					
,26	10,000		10,000	1,975,000	
合 計	15,12,500	462,500			

本館立役對準此表

日	時	場所	調査項目	結果
1	10
2	11
3	12
4	13
5	14
6	15
7	16
8	17
9	18
10	19
11	20
12	21
13	22
14	23
15	24
16	25
17	26
18	27
19	28
20	29
21	30
22	31

一、海洋調査

本年度ニ於ケル海洋調査ハ左ノ如ク施行シタリ

- I、大正七年四月十九日寺泊赤泊間(田谷技手観測)
- II、全年全月二十一日彈崎北方五十哩及其終點ヨリ粟生島ニ至ル間(田谷技手観測)
- III、全年全月全日粟生島馬下間(田谷技手観測)
- IV、全年五月一日寺泊赤泊間(田谷技手観測)
- V、自全年全月七日至全年全月二十七日鰻流網漁場(田谷技手観測)
- VI、全年六月一日寺泊赤泊間(石井技手観測)
- VII、全年六月三日彈崎北西五十哩(石井技手観測)
- VIII、自全年六月六日至全年全月十八日打瀬網漁場(石井技手観測)
- IX、全年七月三日寺泊赤泊間(田谷技手観測)
- X、全年七月三十四兩日彈崎北方五十哩(田谷技手観測)
- XI、自全年七月十九日漁場探検期中海洋観測(田谷技手観測)
- XII、全年八月一日寺泊赤泊間(田谷技手観測)
- XIII、全年全月二日彈崎北西五十哩(田谷技手観測)
- XIV、全年九月一日寺泊赤泊間(石井技手観測)
- XV、全年九月二日彈崎北西五十哩(石井技手観測)
- XVI、全年十月二日寺泊赤泊間(石井技手観測)

- XVI 全年全月三日彈崎北西五十湊(石井技手觀測)
 - XVII 全年十一月一日寺泊赤泊間(石井技手觀測)
 - XX 全年全月四五兩日彈崎北西五十湊(石井技手觀測)
 - XXI 全年十二月一日寺泊赤泊間(田谷技手觀測)
 - XXII 全年全月四日彈崎北西五十湊(田谷技手觀測)
 - XXIII 大正八年一月七日寺泊赤泊間(石井技手觀測)
 - XXIV 全年二月三日寺泊赤泊間(田谷技手觀測)
 - XXV 全年三月一日寺泊赤泊間(田谷技手觀測)
 - XXVI 全年三月五日彈崎北西二十湊(田谷技手觀測)
- 前述各觀測ノ結果ヲ表示スレバ左ノ如ク

I、四月十九日寺泊赤泊間海洋觀測表 (田谷技手觀測)

番號	觀點	觀置	觀時	天候	風位	風力	氣温	深度	潮流	水觀	水層	水温	換算	比	重	算	記	事
1	寺堤	沖泊	四月十九日午前十一時十分	晴	南	二	缺	六尋	東缺	表	面	二、四	一、一〇、二二					
2	寺泊	赤泊	同上	曇	南	二	一九、五	五ク	ク缺	五、二十	表	五、八	一、〇、五二					
3	全	湊	全日午後	晴	南	二	二〇、五	缺	ク缺	五、二十	表	八、八	一、〇、四六					

II、四月二十一日彈崎北方五十湊及其終點ヨリ粟生嶋間海洋觀測表 (田谷技手觀測)

番號	觀點	觀置	觀時	天候	風位	風力	氣温	深度	潮流	水觀	水層	水温	換算	比	重	算	記	事
1	彈崎	端崎	四月二十一日午前零時五分	晴	北	一	缺	ク	ク	表	面	一〇、五	一、〇、五〇					
2	彈崎	北方	全日	晴	北	一	缺	六八尋	缺	六、五	表	八、八	一、〇、五二					
3	全	湊	全日午前二時	缺	ク	ク	七九尋	缺	缺	七、五	表	八、八	一、〇、五二					
4	全	湊	同上	晴	北	一	缺	ク	ク	二、五	表	九、九	一、〇、五二					

番測点	1	2	3	4
位測	粟生島前	粟生島下	三湮半	馬下前
観時	四月二十日 九時五分			
天候	曇欠	曇欠	曇欠	曇欠
風力	北々東	北々東	北々東	北々東
気温	欠	欠	欠	欠
深度	欠	欠	欠	欠
潮流	欠	欠	欠	欠
水観	表	表	表	表
層測	面	面	面	面
水温	一四、四	一四、四	一四、四	一四、四
比換	一、〇五六	一、〇五六	一、〇五六	一、〇五六
記				
事				

Ⅲ、四月二十一日粟生島馬下間海洋観測表 (田谷技手観測)

八〇

番測点	1	2	3	4
位測	寺泊	赤泊	五湮	全十湮
観時	五月一日 午前九時			
天候	曇欠	曇欠	曇欠	曇欠
風力	北々東	北々東	北々東	北々東
気温	欠	欠	欠	欠
深度	欠	欠	欠	欠
潮流	欠	欠	欠	欠
水観	表	表	表	表
層測	面	面	面	面
水温	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇
比換	一、〇四七	一、〇四七	一、〇四七	一、〇四七
記				
事				

Ⅳ、五月一日寺泊赤泊間海洋観測表 (田谷技手観測)

八一

番測	1	2	M	L	K	J	I	H	G
測点	寺泊ヨリ	全五湊	寺泊ヨリ	寺泊ヨリ	寺泊ヨリ	寺泊ヨリ	出雲崎ヨリ	出雲崎ヨリ	全一湊
観測時間	六月一日午後一時	全日午後二時	五月廿七日午後七時	五月廿七日午後七時	五月廿四日午後七時	五月廿三日午後七時	五月廿二日午後七時	五月十八日午後七時	五月十七日午後七時
天候	曇S	曇K	晴	晴	晴	欠	快晴	晴	快晴
風向	W	M	e	e	NE	W	S	NNE	NE
風力	一	一	一	一	三	二	一	二	二
気温	二、八	二、七	一八、五	一七、二	一四、六	一〇、八	一四、二	一九、五	一七、三
深度	二〇尋	五〇尋	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠
潮流	e 緩	ク 急	e 緩	e 急	W 緩	NNE 急	ESE 急	SSW 急	NAW 緩
水層	十表	二十表	十表	十表	十表	五、二十表	五、二十表	二十表	十表
水温	一六、七	一六、八	一三、四	一三、四	一三、四	一〇、六	一〇、七	一三、八	一三、三
換算	一〇、四九〇	一〇、五〇七	一〇、二五八	一〇、二五八	一〇、二五八	一〇、二五八	一〇、二五八	一〇、二五八	一〇、二五八
記			鯉三百尾	鯉三百尾	漁獲少シ	鯉六千五百尾	漁網纏絡漁獲ナシ	鯉二千尾	鯉四千五百尾 うるめヲ混ス

Ⅱ、六月一日寺泊赤泊間海洋観測表

(石井技手観測)

番測	5	4	F	E	D	C	B	A
測点	赤堤沖	全十五湊	出雲崎ヨリ	寺泊ヨリ	全所ヨリ	出雲崎ヨリ	寺泊ヨリ	石地ヨリ
観測時間	全日午後二時	全日欠	五月十六日午後六時	五月十二日午後七時	五月十二日夕方	五月九日午後七時	五月八日午後八時	五月七日午後七時
天候	曇	雨N	欠	晴	晴	晴	晴	雨N
風向	SW	S	ク	SW	〇	〇	〇	NE
風力	三	一	ク	三	〇	〇	〇	二
気温	欠	欠	一八、〇	一五、〇	一四、五	一六、二	一四、七	一四、〇
深度		七五尋	欠	欠	欠	欠	欠	欠
潮流	四東緩	東緩	E 急	欠	E 欠	E 急	E 急	NE 急
水層	表	二十表	二十表	二十表	二十表	二十表	十表	表
水温	一三、〇	一〇、七	一三、〇	一〇、五	一〇、五	一〇、五	一三、四	一三、二
換算	一〇、二四五	一〇、二四五	一〇、二四五	一〇、二四五	一〇、二四五	一〇、二四五	一〇、二四五	一〇、二四五
記			水色濁鯉三千五百尾	魚網纏絡漁獲ナシ	鯉四千七百尾	漁獲鯉五千尾	鯉五千尾ヲ漁獲ス	漁獲ナシ

Ⅲ、自五月七日至全二十六日 鯉流網漁場海洋観測表

(田谷技手観測)

番測点	位置	観測時刻	天気	風向	風力	気温	深度	潮流	水層	水温	換算	記事
G	北新 四濁 湊	六月十七日午後八時十五分	雨 N	0	0	二二、二	三、三	急	十表 尋面	一八、八 一六、五	一、〇二五 一、〇三三	
F	粟生 北東 湊	六月十四日午後四時	曇 K	二	二	二二、五	三、五	急	十表 尋面	一八、五 一六、五	一、〇二五 一、〇三三	
E	大夫 濱 湊	六月十三日午後十時	晴 K	二	二	一九、〇	三、〇	緩	十表 尋面	一八、三 一六、九	一、〇二五 一、〇三三	底砂
D	一關 屋 湊	六月十二日午後六時五十分	晴 C	二	二	一九、五	三、五	緩	十表 尋面	一八、〇 一七、二	一、〇二五 一、〇三三	
C	北新 二濁 湊	六月十日午後五時十五分	雨 N	三	三	二二、七	三、七	緩	十表 尋面	一八、五 一六、二	一、〇二五 一、〇三三	
B	角田 四分 湊	六月九日午後四時十分	曇 S	一	一	二六、三	三、三	急	十表 尋面	一八、三 一八、二	一、〇二五 一、〇三三	
A	一野 積 湊	六月八日午後五時三十分	曇 S	一	一	二二、〇	三、〇	急	十表 尋面	一八、二 一五、八	一、〇二五 一、〇三三	

自六月六日 至全十日 打瀬網漁場海洋観測表 (石井技手観測)

番測点	位置	観測時刻	天気	風向	風力	気温	深度	潮流	水層	水温	換算	記事
8	全五十 湊	全七時五分	晴 C, K, 5	三	三	一八、六	三、六	急	二十表 尋面	一四、七 一三、七	一、〇五九 一、〇五七	
7	全四十 湊	全五時十分	曇 S	二	二	二〇、二	三、二	急	二十表 尋面	一四、八 一三、三	一、〇五九 一、〇五七	
6	全三十 湊	全五十二分	曇 S	二	二	二二、六	三、六	急	二十表 尋面	一四、〇 一四、二	一、〇五九 一、〇五七	
5	全二十 湊	全十一時	曇 S	一	一	二〇、〇	三、〇	急	二十表 尋面	一四、八 一三、三	一、〇五九 一、〇五七	
4	全十五 湊	全九時三分	曇 S	一	一	一九、二	三、二	緩	二十表 尋面	一四、七 一三、七	一、〇五九 一、〇五七	
3	全十 湊	全八時	曇 S	一	一	一八、二	三、二	緩	二十表 尋面	一四、七 一三、七	一、〇五九 一、〇五七	
2	同所 北西 湊	六月三日午前八時	曇 S	一	一	一七、五	三、五	急	十表 尋面	一四、八 一三、三	一、〇五九 一、〇五七	
1	彈崎 直下	六月三日午前七時十五分	曇 S	一	一	二〇、〇	三、〇	急	十表 尋面	一四、八 一三、三	一、〇五九 一、〇五七	

六月三日 彈崎北西五十湊海洋観測表 (石井技手観測)

番測点	位置	観測時刻	天気	風向	風力	気温	深度	潮流	水層	水温	換算	記事
5	全二十 湊	全七時十分	曇 S	一	一	一九、〇	三、〇	急	十表 尋面	一四、七 一三、七	一、〇五九 一、〇五七	
4	全十五 湊	全五時十分	曇 S	一	一	一九、〇	三、〇	緩	二十表 尋面	一四、七 一三、七	一、〇五九 一、〇五七	
3	全十 湊	全五時十分	曇 S	一	一	一九、〇	三、〇	緩	二十表 尋面	一四、七 一三、七	一、〇五九 一、〇五七	

H	下波山ヨ リ西微南	六月十八 日午後七 時〇分	曇 N 〇	〇	二、三	四	緩	十	表	尋面	一九、二 一六、八	一、〇二五〇 〇〇〇〇		
---	--------------	---------------------	-------	---	-----	---	---	---	---	----	--------------	----------------	--	--

Ⅴ、七月三日寺泊赤泊間海洋観測表 (田谷枝手観測)

測点 番號	1	2	3	4	5
位測 置点	寺泊沖	赤泊ヨリ	全十湊	全十五湊	全二十湊
時測 日測	七月三日 午前六時	七月三日 午前六時	全七時 午前	全四時 午前	全四時 午前
天候 風力	曇 C.S. 〇 S	晴 C.S. 二 WSW	曇 〇 WSW	曇 九 WSW	曇 九 WSW
氣温	二五、四	二五、四	五、〇	二五、〇	二五、二
深度	欠	欠	欠	欠	欠
潮流	欠	緩	欠	欠	欠
水観 層測	表	表	表	表	表
水温	二三、一	一九、八	二二、八	一九、〇	一九、〇
換算 比重	一、〇二四六	一、〇二四六	一、〇二四六	一、〇二四六	一、〇二四六
記 事		透明度十尋			

Ⅳ、七月三四兩日彈埼北五十湊海洋観測表 (田谷枝手観測)

測点 番號	1	2
位測 置点	彈埼直下	彈埼ヨリ
時測 日測	七月十日 午後六時	七月十日 午後六時
天候 風力	曇 霧 E	曇 霧 E
氣温	二三、三	二三、〇
深度	欠	欠
潮流	欠	欠
水観 層測	表	表
水温	二〇、二	一九、〇
換算 比重	一、〇二九一	一、〇二八五
記 事		

測点 番號	3	4	5	6	7	8
位測 置点	全十湊	全十五湊	全二十湊	全五十湊	全四十湊	全五十湊
時測 日測	全八時 十五分	全九時 十分	全十時 十分	七月四日 午前零時 二十五分	全二時 五分	全四時 十分
天候 風力	霧 霧 E	曇 霧 E	曇 霧 E	雨 N 〇 E	雨 N 〇 E	雨 N 〇 E
氣温	二五、〇	二二、八	二二、〇	二二、〇	二二、〇	一九、五
深度	欠	欠	欠	欠	欠	欠
潮流	欠	欠	欠	欠	欠	欠
水観 層測	表	表	表	表	表	表
水温	二〇、〇	一九、〇	一九、〇	一九、〇	一九、〇	一七、〇
換算 比重	一、〇二五七	一、〇二五七	一、〇二五七	一、〇二五七	一、〇二五七	一、〇二五七
記 事						

Ⅲ、自七月十九日
至全二十三日 漁場探検中海洋観測表 (田谷枝手観測)

測点 番號	A	B	C	D
位測 置点	佐渡二ツ 西へ大湊	佐渡達者 ヨリ西七	須賀田切 西へ西南	小本ヨリ 南東へ七
時測 日測	七月十九日 午後六時	七月二十日 午後六時	七月二十日 午後六時	七月二十日 午後六時
天候 風力	晴 欠 nne	晴 欠 nne	晴 欠 nne	晴 欠 E
氣温	二七、五	二九、三	二九、〇	二九、〇
深度	欠	欠	欠	欠
潮流	WN 急	N 急	不明	欠
水観 層測	表	表	表	表
水温	二五、六	二四、八	二四、五	二二、六
換算 比重	一、〇二五九	一、〇二五七	一、〇二五七	一、〇二五七
記 事				

Ⅳ、八月一日寺泊赤泊間海洋観測表 (田谷技手観測)

番測点	観測時間	天候	風向	風力	気温	深度	潮流	水層	水温	換算	記	事
1	八月一日 午前七時五分	晴	欠	欠	二六、〇	欠	欠	表	二七、五	一、〇二五〇		
2	八月一日 午前八時	晴	夕	西	二六、二	五尋	急	表	二七、二	一、〇二五九		
3	八月一日 午前九時	晴	欠	欠	二九、〇	欠	緩	表	二六、八	一、〇二五七		
4	八月一日 午前十一時	欠	欠	SSW	二九、八	欠	緩	表	二七、二	一、〇二五八		
5	八月一日 午前十二時	晴	C	SSW	三〇、八	欠	欠	表	二六、八	一、〇二五七		

Ⅴ、八月二日彈埼北西五十湊海洋観測表 (田谷技手観測)

番測点	観測時間	天候	風向	風力	気温	深度	潮流	水層	水温	換算	記	事
1	八月二日 午前二時	晴	〇	W	二五、〇	欠	欠	表	二五、五	一、〇二五八〇		
2	八月二日 午前三時	晴	〇	W	二五、五	欠	緩	表	二五、八	一、〇二五八〇		
3	八月二日 午前四時	晴	欠	W	二六、〇	欠	急	表	二六、二	一、〇二五八〇		
4	八月二日 午前五時	晴	欠	SSW	二五、五	一五尋	急	表	二六、八	一、〇二五八〇		
5	八月二日 午前六時	晴	欠	SW	二六、〇	欠	急	表	二七、〇	一、〇二五八〇		
6	八月二日 午前七時	晴	欠	SW	二九、五	欠	急	表	二七、四	一、〇二五七		
7	八月二日 午前八時	晴	欠	SSW	三〇、〇	欠	急	表	二七、五	一、〇二五七		

番測点	1	2	3	4	5	6	7	8	9
位測	五	全	全	全	全	全	全	全	全
観測	十月三日	全	全	全	全	全	全	全	全
天候	曇	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
風向	曇	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
風力	曇	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴	晴
気温	一九、三	二〇、〇	一九、六	一九、五	一九、二	二〇、八	二〇、八	二〇、八	二〇、八
深度	二〇尋	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明
潮流	n/e	sw/w	sw/w	sw/w	sw/w	sw/w	sw/w	sw/w	sw/w
水層	表	表	表	表	表	表	表	表	表
水温	二〇、七	二〇、七	二〇、七	二〇、七	二〇、七	二〇、七	二〇、七	二〇、七	二〇、七
比重	一、〇四八六	一、〇四八六	一、〇四八六	一、〇四八六	一、〇四八六	一、〇四八六	一、〇四八六	一、〇四八六	一、〇四八六
水色	水色二	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
事									

XII、十月三日彈埼北西五十湊海洋観測表 (石井技手観測)

番測点	4	5
位測	全	全
観測	全	全
天候	晴	晴
風向	晴	晴
風力	晴	晴
気温	二〇、〇	二〇、〇
深度	不明	不明
潮流	sw/w	sw/w
水層	表	表
水温	二〇、七	二〇、七
比重	一、〇四八六	一、〇四八六
水色	同上	同上
事		

番測点	1	2	3
位測	寺泊沖	寺泊ヨリ	赤泊
観測	全	全	全
天候	曇	曇	曇
風向	曇	曇	曇
風力	曇	曇	曇
気温	一九、八	一九、〇	一九、八
深度	欠	欠	欠
潮流	欠	欠	欠
水層	表	表	表
水温	二〇、七	二〇、七	二〇、七
比重	一、〇四八六	一、〇四八六	一、〇四八六
水色	同上	同上	同上
事			

XVI、十月二日寺泊赤泊間海洋観測表 (石井技手観測)

番測点	5	6	7
位測	全	全	全
観測	全	全	全
天候	晴	晴	晴
風向	晴	晴	晴
風力	晴	晴	晴
気温	二五、二	二五、〇	二六、〇
深度	不明	不明	不明
潮流	ne/n	sw/w	sw/w
水層	表	表	表
水温	二〇、七	二〇、七	二〇、七
比重	一、〇四八六	一、〇四八六	一、〇四八六
水色	水色二	同上	同上
事			

番測点	1	2	3	4	5	6
位測点	彈埼ヨリ	全所ヨリ	北西へ	全二十湮	全三十湮	全四十湮
観測日時	十一月四日午後三時十分	十一月四日午後五時十分	十一月四日午後七時十分	十一月四日午後九時十分	十一月四日午後十一時十分	十一月五日午前二時五十分
天候	晴	晴	晴	晴	晴	晴
風向	東	西	南	北	東	西
風力	一	二	三	四	五	六
気温	一八・〇	一七・二	一六・二	一四・四	一三・七	一三・七
深度	二元	二元	二元	二元	二元	二元
潮流	欠	欠	欠	欠	欠	欠
水層	表	表	表	表	表	表
水温	一九・一	一九・一	一九・一	一九・一	一九・一	一九・一
換算	一・〇四四六	一・〇四四六	一・〇四四六	一・〇四四六	一・〇四四六	一・〇四四六
記	水色二 透明度十尋					
事						

ⅩⅤ、十一月四五兩日彈埼北西五十湮海洋観測表

(石井技手観測)

番測点	1	2	3	4	5	10
位測点	寺泊湮沖	全五湮	全十湮	全十五湮	全二十湮	全五十湮
観測日時	十一月一日午前八時二十分	十一月一日午前九時十分	十一月一日午前十時十分	十一月一日午前十一時十分	十一月一日午前十二時十分	十一月一日午前二時十分
天候	晴	晴	晴	晴	晴	晴
風向	南	西	北	東	南	西
風力	二	三	四	五	六	七
気温	一三・七	一四・四	一六・二	一七・二	一七・八	一七・八
深度	二元	二元	二元	二元	二元	二元
潮流	欠	急	緩	緩	緩	緩
水層	表	表	表	表	表	表
水温	二〇・四	一九・九	一九・九	一九・九	一九・九	一九・九
換算	一・〇四四六	一・〇四四六	一・〇四四六	一・〇四四六	一・〇四四六	一・〇四四六
記		水色三	透明度十三尋			水色二
事						

ⅩⅦ、十一月一日寺泊赤泊間海洋観測表

(石井技手観測)

XXI、一月七日寺泊赤泊間海洋観測表

(石井技手調査)

番測点	1	2	3	4	5
位測置点	寺泊下泊	寺泊ヨリ	赤泊	赤泊	赤泊
時観測日	一月七日午後二時	〇全二分	全二時四分	全三十分	全四十分
天候	雪	ク	ク	ク	ク
風候	N	ク	ク	ク	ク
風力	〇	ク	ク	ク	ク
位置	欠	ク	ク	ク	ク
气温	欠	ク	ク	ク	ク
深度	欠	ク	ク	ク	ク
潮流	欠	ク	ク	ク	ク
水観層測	表面	表面	表面	表面	表面
水温	八、五	二、五	一三、〇	二二、八	二二、五
換算	一、〇三六三	一、〇四五六	一、〇四六八	一、〇四四九	一、〇四五三
比算					
記					
事					

XXII、二月三日寺泊赤泊間海洋観測表

(田中技手観測)

番測点	1	2	3
位測置点	寺泊下泊	寺泊ヨリ	赤泊
時観測日	二月三日午後二時	〇全二分	全三十分
天候	曇	ク	ク
風候	N	ク	ク
風力	NE	ク	ク
位置	和	ク	ク
气温	六、七	六、七	六、〇
深度	欠	ク	ク
潮流	NE	ク	ク
水観層測	急	表面	表面
水温	七、七	七、九	七、九
換算	一、〇二五六	一、〇二五六	一、〇二五六
比算			
記			
事			

番測点	4	5
位測置点	赤泊	赤泊
時観測日	〇全五分	全五分
天候	ク	ク
風候	ク	ク
風力	ク	ク
位置	ク	ク
气温	五、八	五、五
深度	ク	ク
潮流	ク	ク
水観層測	表面	表面
水温	八、〇	七、七
換算	一、〇二五六	一、〇二三四
比算		
記		
事		

XXV、三月一日寺泊赤泊間海洋観測表

(田谷技手観測)

番測点	1	2	3	4	5
位測点	寺泊沖	寺泊ヨリ 赤泊へ	全十湊	全十五湊	全二十湊
時観測	三月一日 午前九時五分	全十時二十分	全日午後 〇時四十分	全一時三十分	全七時三十分
天候	晴S	晴S	曇S	晴S	曇SK
風力	SSW	W	ク	W	SSW
気温	一〇、五	一〇、二	一〇、六	一〇、六	九、五
深度	欠	七尋	欠	欠	欠
潮流	W 緩	NE 急	NE 緩	不明	sw 欠
水観測	表	五二十表 十五尋面	百五二十表 十五尋面	百五二十表 十五尋面	五二十表 十五尋面
水温	九、三	一〇、〇 九、七 九、八	九、七 九、七 九、七	九、六 九、六 九、六	九、五 九、五 九、五
比換	一、〇、三、七、九	一、〇、四、七、六	一、〇、四、八、八	一、〇、四、五、三	一、〇、四、八、四
比重					
記		透明度九尋	同十尋	同十尋	欠
事					

XXV、三月五日彈埼北西二十湊海洋観測表

(田谷技手観測)

番測点	1	2	3	4	5
位測点	彈埼直下	彈埼ヨリ 北西五湊	全十湊	全十五湊	全二十湊
時観測	三月五日 午前一時	全二時三十分	全三時四十分	全五時四十分	全七時
天候	晴	ク	ク	曇	曇SK
風力	S	W	ク	ク	SSW
気温	一〇、〇	九、〇	八、八	九、〇	九、〇
深度	欠	九尋	欠	欠	欠
潮流	欠	ク	ク	ク	欠
水観測	十表	九五二十表 十五尋面	百五二十表 十五尋面	百五二十表 十五尋面	五二十表 十五尋面
水温	九、六	七、〇 九、〇 九、〇	七、〇 八、九 九、〇	八、二 九、二 九、五	九、三 九、三 九、三
比換	一、〇、二、四、六、五	一、〇、二、五、二、二	一、〇、二、五、二、二	一、〇、二、五、二、二	一、〇、二、四、七、五
比重					
記					
事					

測点	水深	水温	流速	流向	備考
寺泊	10	12.5	0.5	東	
赤泊	15	12.0	0.5	東	
佐渡	20	11.5	0.5	東	
越後	25	11.0	0.5	東	
...

甲、越佐海峽(寺泊赤泊間)海洋状態

イ、大正七年四月十九日観測ノ分

本観測ニ於テハ水温ハ表面ニ於テ概ネ十度乃至十二度ニシテ一般ニ越後寄ニ於テ高温ニ佐渡寄ニ於テ低温ナリ而テ十度等温線ハ佐渡寄ニ於テ表面ニアレモ赤泊ヲ離ル、六哩半ヨリ以東寺泊迄十尋深附近ニアリト異リ九度等温線ハ寺泊ヨリ海峽中央迄二十五尋ニアレトモ赤泊附近ニ至リテハ五十尋深附近ニ下レリ八度等温線ハ赤泊附近ニ於テ八十尋ニアレトモ寺泊寄ニ至レハ漸次百尋附近ニ下レリ本観測ニ於テ二百五十尋深ヲ測レルニ寺泊ヨリ十哩ノ点ニ於テ一度六分全十五哩ノ点ニ於テ一度四分ノ低温ヲ示セリ

比重ノ分布ハ赤泊沖五哩附近ヨリ以東寺泊マテ表面ニ一、〇二五〇〇以下ノ比較的淡キ水アリ海峽中央ニ於テハ之ノ水層下層迄分布シ一、〇二五〇〇以上ノ濃キ水ヲ佐渡寄リ及越後寄ノ二區ニ分割セル形ナリ殊ニ越後沿岸五哩以内ノ表面ニ一、〇二四五〇以下ノ輕キ水層ヲ有スルハ注目ス可キ現象ニシテ富山灣ニ流入スル河川ノ融雪期洪水ノ影響ヲ受ケタルモノナルヘシ

ロ、全年五月一日観測ノ分

前観測ノ時ヨリ僅ニ旬日ヲ隔ツルノミナルヲ以テ海況ニ著シキ變化ヲ認メス唯等温線ノ傾斜ハ前観測ノ場合ト異リ却テ越後寄ニ於テ上方ニ佐渡寄ニ於テ下方ニ傾ケルヲ見ル即チ十度等温線ハ越後寄ニ二十尋深ニアリ佐渡寄ニ二十五尋深ニアリ八度等温線ハ越後寄ニ六十五尋深ニ佐渡寄ニ八十五尋深ニアリ二百五十尋深ノ水温ハ寺泊ヨリ五哩ニ於テ一度五分十哩ニ於テ一度二分ヲ示セリ

比重ハ前観測ニヨリ一般ニ上昇セルヲ見ル之レ融雪ニヨル洪水ノ影響減セルト既ニ暖流ノ幾分影響シ來レルニヨルモノナルヘシ即チ越後沿岸五哩以内及佐渡沿岸五哩以内ハ其ニ表面ニ近ク一、〇二五〇〇以下ノ低比重ヲ見ルモ其他ハ

全部一、〇二五〇〇以上ニシテ殊ニ海峡中央ヨリ東方即チ越後寄ノ百尋深以下ニ、一〇二五五五〇以上ノ高比重ヲ見ル
ハ、全年六月一日観測ノ分

本観測ハ前月ニ比シ著シク水温ノ上昇セルヲ見ル即チ表面ニハ十五度乃至十六度七分ノ水温アリ十六度等温線ハ寺泊
ヨリ一哩ノ点ニ於テ十尋深ニアリ五哩十哩ノ点ニ至リ五尋深トナリ十五哩ノ点ニ至レハ影ヲ没ス即チ赤泊前一哩半ニ
於テハ表面水温十五度トナリ寺泊前ニ比シ一度七分低シ十三度等温線ハ越後寄ニ於テ五十尋深以下ニアレトモ佐渡寄
ニ於テハ十二三尋深ニアリ十度等温線ハ佐渡寄ニ於テハ五十尋深ニアレトモ越後寄ニ七八十尋深ニ分布セルヲ見ル九
度等温線ハ百二十三尋深附近ニ水平的ニアリ八度等温線ハ百六十尋深ニ六度等温線ハ二百尋深附近ニアリ而テ海峡中
央二百五十尋深ノ水温ハ一度二分ヲ示セリ

比重ハ前月ニ比シ著シク濃度ヲ増シ海峡全体ニ亘リ十尋深附近ヨリ表面ニ一、〇二五五〇以下ノ比重アレトモ其他ハ
全部一、〇二五五〇以上ヲ示セリ而テ寺泊前表面ニ一、〇二五〇〇以下ノ低比重ヲ見ルハ河水ノ影響ト見ルヲ得可シ
ニ、全年七月三日観測ノ分

本観測ハ測深器ノ破損ニヨリ二十五尋深以上深部ニ及ホシ得ザリシナリ而テ其ノ水温ハ前月ヨリモ更ニ上昇シ表面水
温ハ寺泊附近ニ二十三度内外中央部二十一二度赤泊前十九度ナリ随テ等温線モ佐渡寄上方ヨリ越後寄ト方ニ傾斜シ二
十一度等温線ノ如キハ赤泊沖六哩半ノ表面ヨリ起リ十尋深附近ヲ通りテ寺泊ニ達ス二十五尋深ノ水温ハ一般ニ十八度
内外ヲ示セリ

比重ハ佐渡方面濃ク越後方淡シ即チ寺泊ヨリ十哩迄ノ表面ニ一、〇二五〇〇以下ノ淡キ水アリ其他ハ一、〇二五〇〇
以上ニシテ更ニ赤泊前ニ於テハ一、〇二六〇〇以上ノ甚タ濃キ比重ヲ有セリ

ホ、全年八月一日観測ノ分

本観測ニ於テ水温ハ年内最高ニ達セリ即チ表面ニ於テ二十七度ヨリ二十七度五分ヲ示シ十尋深ニ於テ二十二三度ヲ示

セリ而テ此ノ表面ニ於テノミ著シク高温ナルハ夏期ノ日本海ニ於ケル特色ト見ル如キモノナリ其ノ理由トスル所ハ此
ノ地方ニ於テハ他ト異リ朝夕干満ノ差甚タ少キト夏期ニ於テ天候静穏ナルノ時ハ海波起ラス恰モ一面鏡ヲ延ヘタルカ
如キ觀ヲ呈スルヲ以テ海水ノ動搖全ク停止シ直接日光ヲ受クル表面ノミ著シク水温上昇スルニ因ルモノナリ本観測ニ
於テハ二十五度等温線ハ五尋深附近ニ水平的ニ分布シ二十度等温線ハ越後寄二十五尋深ニ佐渡寄二十尋深附近ニアリ
十五度等温線ハ越後寄六十尋深ニ佐渡寄四十尋深附近ニアリ十度等温線ハ佐渡寄九十尋深ニアレトモ越後寄ニ百尋
深ニアリ而テ二百四十尋深ノ水温ハ海峡中央ニ於テ二度四分赤泊ヨリ六哩半ノ沖台ニ於テ四度四分ヲ示シ明カニ前月
ヨリモ水温上昇セルヲ見ル

比重ハ水温ノ上昇ニ比例シテ著シク濃度ヲ増シ寺泊沿岸表面ニ一、〇二五五〇以下ノ海水アル外ハ二十五尋深ヨリ上
層ニハ一、〇二五五〇ヨリ一、〇二六〇〇ノ間ノ海水アリ其ヨリ下層ハ一、〇二六〇〇以上ノ濃厚ナル海水ニヨリテ占
據セラル

ハ、全年九月一日観測ノ分

本観測ニ於テ水温ハ表面ハ前月ヨリ二三度低下シ十尋深ニ於テハ却テ一二度上昇シ二十五尋深以下ハ二三度ツ、低下
セリ二十三度等温線ハ越後寄十五尋深ニ佐渡寄十尋深ニアリ二十度等温線ハ越後寄二十尋深ニ佐渡寄十四五尋深ニア
リ十五度等温線ハ越後寄四十二三尋深ニ佐渡寄三十五尋内外ニアリ十度等温線ハ七十五尋深附近ニ水平的ニ分布セリ而
テ今期二百尋深ノ水温ヲ見ルニ海峡中央ニ於テ二度赤泊前六哩半ニ於テ一度七分ニシテ前日ニ比シ明カニ低温ナリ
比重ハ越後寄及佐渡寄上層ニ一、〇二五〇〇以下ノ低比重アリ其他ハ全部一、〇二五五〇以下ノ比重ヲ示シ明カニ前
月ヨリ比重下降セルヲ知ル可シ此レ夏期ノ降雨量ニ關係スルモノナルヘシ

ト、全年十月二日観測ノ分

今期ニ於ケル水温ハ前月ニ比シ表面ヨリ十尋迄一般ニ二度乃至三度低下シ二十五尋以下ハ平均三四度上昇セリ而シテ

二十一度等温線へ越後寄二十五尋深ニ佐渡寄十一尋深附近ニアリ十八度等温線へ越後寄四十尋深佐渡寄三十尋深附近ニアリ而テ百尋深附近ニハ九度等温線稍々水平的ニ分布セルヲ見ル

比重ハ前月ニ比シ著シク低下シ越後沿岸上層ニ淡ク佐渡寄下層ニ濃シ即テ寺泊附近ニハ一、〇二四〇〇以下ノ甚ク淡キ海水アリ寺泊ヨリ十五哩迄ノ海面上層ニハ一、〇二四〇〇以上一、〇二四五〇以下ノ淡キ海水アリ佐渡寺泊附近ヨリ越後沿岸中層ニハ一、〇二四五〇以上一、〇二五〇〇以下ノ海水アリ五十尋深以下ニハ一、〇二五〇〇以上ノ海水アリ斯ノ如ク秋期著シク海水比重ノ低下スルモ日本海方面ノ特長トシテ見ル可キモノニシテ之レ地形ノ關係上九月中旬ヨリ例年降雨量増加シ各河川ノ吐出スル水量増加スルニヨルモノナルヘシ

ナ、全年十一月一日観測ノ分

今期ニ於テハ表面及十尋深水温ハ前月ニ比シ平均二度内外低下シテ十九度内外トナリ二十五尋深又幾分下降セリ然レトモ五十尋深ニ於テハ却テ前月ヨリモ上昇シテ十八九度ヲ示スニ至レリ依テ今期ノ水温ハ表面ヨリ五十尋層迄略ホ一様ニ十九度内外ヲ示セリ唯寺泊沖五哩迄表面二十九度以下ノ低温アルト海峡中央以西五十尋深二十八度前後ノ水温アルヲ以テ別掲断面圖ノ如キ等温線ヲ引クヲ得可シ

比重ハ越後寄上層及佐渡寄五十尋深迄一、〇二四〇〇以上一、〇二四五〇以下ノ低比重アリ其他ハ全部一、〇二四五〇以上一、〇二五〇〇以下ノ比重ヲ示シ前月ニ較フハ等比重線ノ形状ハ變化セルモ一般ノ比重ニハ大ナル變化ナシ

リ、全年十二月一日観測ノ分

今期ニ於テハ一般ニ前月ニ比シ著シク水温低下シタリ即チ佐渡寄ニ於テハ表面ヨリ五十尋迄佐渡寄ニ於テハ二十五尋迄一様ニ十六七度ヲ示シ百尋深ニ至リ海峡中央ハ十一度八分赤泊前六哩半ニ於テ八度八分ヲ示セリ而テ寺泊沿岸表面水温ノ十四度五分ナルハ他ニ比シ餘リニ低温ニシテ其ノ眞偽ヲ疑ハル、カ如キ觀アルモ之レ陸地ノ冷却ニヨリ影響セタルトモノニシテ汀渚ヲ去リ距離ノ遠近ニヨリ著シキ差異アルモノナリ

比重ハ前月ニ比シ大差ナク唯等比重線ノ形状ニ變化ヲ生セシノミナリ即チ越後寄及佐渡寄上層ニ一、〇二四五〇以下低比重水アリ佐渡寄五十尋深以下ニ一、〇二五〇〇以上ノ比較的輕カラサル海水アル外海峡中央部上下層ニ百リ一、〇二四五〇以上一、〇二五〇〇以下ノ海水ニヨリテ占據セラル

ス、大正八年一月七日観測ノ分

今期ニ於テ本場漁船彌彦丸船体修理中ナリシヲ以テ寺泊赤泊間定期航海船佐渡丸ニ便乗シ船ヲ停止スルコトナク表面水温ノミニ就キテ観測セリ其ノ結果ニ依レハ前期ニ比シ表面水温著シク低下シ概ネ十二三度ヲ示セリ然レ赤泊沖ノ表面水温八度五分ナルハ前月ノ場合ト同シク陸地冷却ノ影響ニシテ特殊ナルモノト見ルヲ得可シ今期ニ於テ前月ヨリ水温ノ冷却甚ク速カナリシ觀アルハ全ク十二月中ノ降雪ニ歸因スルモノナルヘシ

比重ニ至リテハ一様ニ一、〇二四五〇内外ニシテ前月ト大差ナシ唯寺泊沿岸ノ一、〇二二六三ナルハ陸地ヨリ流出スル淡水ノ影響ナル可シ

ル、全年二月三日観測ノ分

今期ニ於テハ彌彦丸ノ修理略ホ終リタルモ更ニ機關ニ損所ヲ生シタルニ依リ前月同様佐渡丸ニ便乗表面水層ノミヲ観測セリ

而テ表面水温ハ更ニ前月ヨリ著シク低下シテ各点共ニ七度七分乃至八度ヲ示スニ至レリ

比重ハ却テ前月ヨリモ上昇シ一、〇二五五〇内外ヲ示スニ至レリ之レ日本海ノ冬期ハ毎日荒天ニシテ降雪アレトモ降雨ノ如ク直ニ河川ニ洪水ヲ惹起スルコトナク山地平野等ニ推積スルヲ以テ河川ノ吐出量減スルニヨルナルヘシ

オ、全年三月一日観測ノ分

今期ニ於テハ表面水温ハ前月ニ比シ平均二度上昇セリ而シテ表面ヨリ七十尋内外迄ハ水温一様ニシテ變化ナク九度等温線ハ海峡中央ニ於テ七十尋深ニ赤泊前六哩半ニ於テ百尋深ニアリ百五十尋深ノ水温ハ海峡中央三度赤泊前六哩半ニ

於テ八度五分ヲ示シ一般ニ下層ハ佐渡寄ニ於テ著シク高温ナリ
比重ハ寺泊沿岸及赤泊沖六哩半ノ上層ニ於テ一、〇二四五〇以下ノ淡キ水アルモ其他全部七八十尋深ヨリ上層ニ一、〇二四五〇以上一、〇二五〇〇以下ノ海水アリ下層ハ一、〇二五〇〇以上ノ稍重キ海水ニヨリ占據セラル

乙、佐渡外海洋状態

(佐渡北端彈埼ヨリ北方或ハ西北方五十哩ノ海區)

イ、大正七年四月二十一日觀測ノ分

本觀測ハ彈埼ヨリ北方ニ觀測セリ其ノ結果水温ハ表面十度二分乃至十度八分ニシテ十尋深ニ於テハ九度四分乃至十度二十五尋深ニ於テハ彈埼ヨリ北方四十哩迄九度乃至九度五分五十哩ノ點ニ於テハ彈埼ヨリ四十哩迄八度乃至九度ニシテ五十哩ノ點ハ七度二分ナリ而テ十度等温線ハ五尋乃至十尋深附近ニ水平的ニ分布シ九度等温線ハ彈埼ヨリ五哩ノ點二十五尋十哩ニシテ三十五尋二十哩ニテ二十五尋三十哩ニテ五十尋四十哩ニテ二十五尋五十哩ニテ十五尋深ニアリトス八度等温線ハ更ニ曲線的ニシテ彈埼ヨリ十哩ニテ五十尋二十哩ニテ百二十尋三十哩四十哩ニテ八十尋五十哩ニテ二十尋附近ナリトス二百五十尋深ノ水温ハ彈埼ヨリ二十哩一度四分四十哩及五十哩〇度八分ノ低温ヲ示セリ
比重ハ彈埼ヨリ十哩二十哩及四十哩ノ上層ニ一、〇二五〇〇以下ノ稍淡キ海水アリ三十哩ノ八十尋深以下ニ一、〇二五五〇ヨリ一、〇二六〇〇迄ノ稍重キ海水アル外他ハ一樣ニ一、〇二五〇〇ヨリ一、二五五〇ノ間ノ比重ナリトス
全年六月三日觀測ノ分

五月ニ於テハ本場業務都合ニヨリ觀測セズ又本觀測ニテハ測深器ノ破損ニヨリテ二十五尋深以下ノ水層ノ觀測ヲナサズ今期ニ於テハ水温ハ四月二十一日ノ場合ヨリ著シク上昇セリ即チ表面ハ彈埼ヨリ北西三十哩迄十六七度ヲ示シ四十哩五十哩ニ於テ十四五度ナリトス十尋深水温ハ彈埼ヨリ二十哩迄十五度内外三十哩四十哩五十哩ハ十三四度ヲ示セリ

二十五尋深水温ハ彈埼ヨリ二十哩迄十三度内外三十哩ニ於テ十二度三分四十哩ニテ八度三分五十哩ニテ十一度二分ヲ示セリ

比重ハ四月二十一日ニ比シニ般ニ上昇シ彈埼附近ニ僅ニ一、〇二五〇〇ヨリ一、〇二五五〇迄ノ海水アレトモ其他ハ全部一、〇二五五〇以上一、〇二六〇〇前後ノ濃厚ナル海水ヨリ占據セラル

全年七月三四日兩日觀測ノ分
今期ニ於テハ水温ハ前日ニ比シ一般ニ四五度上昇セリ即チ表面ハ彈埼ヨリ北方五十哩ノ點ニ於テノミ十八度ニシテ他ハ全部二十度ナリ十尋深ハ五十哩ノ點ニ於テ十七度ナル外全部十八度二十五尋深ハ十五哩ノ點ニ於テ十五度五分ナル外多クハ十六七度ナリトス

比重ハ一般ニ前月ニ大差ナク四十哩五十哩ノ上層及二十哩ノ二十五尋深ニ一、〇二五〇〇ヨリ一、〇二五五〇ノ間ノ海水アル外ハ全部一樣ニ一、〇二五五〇以上一、〇二六〇〇前後ノ濃厚ナル海水ニヨリ占據セラル

全年八月二日觀測ノ分
越佐海峡ニ於テハ今期ニ於テ上層ノ水温最高ニ達シタルモ佐渡外海ニ於テハ未ダ充分水温上昇セズ即チ表面水温概ネ二十四五度ニシテ越佐海峡ノ二十七度前後ナルニ比シ著シク相異アリ之レ佐渡以東ノ内海面ハ夏期天候晴朗ナルノ際海波起ラス平坦鏡ノ如ク海水ノ動搖甚タ少キモ佐渡外海ニ於テハ多少ノ波浪及潮流等ノ爲メ海水ノ動搖アルヲ免レス依テ日光ノ直射ニヨリ水温上昇セル海水ノ交流スルニ歸因タルモノナル可シ而テ此觀測ニ於ケル十尋深水温ハ二十度乃至二十三度ニシテ二十五尋深ハ十六七度五十尋深ハ彈埼ヨリ三十哩ノ點ニ於テ九度三分ナルノ外概ネ十五六度ナリ猶ホ百尋深水温ハ彈埼ヨリ三十哩ニ於テ五度八分ナル外全部八九度ニシテ二百四十尋ニ至レハ彈埼ヨリ十哩ノ點四度八分其他ハ二三度ナリ
比重ハ前月ニ比シ更ニ上昇シ明カニ年内最モ濃厚ナル示度ヲ承セリ即チ彈埼ヨリ四十五哩迄ノ十尋乃至二十五尋ノ上

層及彈埼ヨリ十五哩二十哩二十五哩三十哩ノ八九十尋以下下層ニ於テ一、〇二五五〇以上一、〇二六〇〇以下ノ比重
アル他ハ全部一、〇二六〇〇以上ノ甚タ濃厚ナル海水ニヨリテ占據セラル
ホ、全年九月二日觀測ノ分

今期ニ於テハ前ニ比シ水温幾分上昇セルヲ認ム可シ即チ年内ニ於ケル最高ヲ示スモノトス表面水温ハ彈埼ヨリ十五哩
迄二十四度内外ナレトモ全二十哩ヨリ沖合ハ二十五度ヲ示スニ至ル十尋深水温ハ彈埼ヨリ二十哩迄二十一二度三十
哩ヨリ沖合ハ二十四度前後ヲ示ス二十五尋深水温ハ一般二十七度乃至十九度ニシテ五十尋深ニテハ甚タ不規則トナリ
二十哩迄十二度五分乃至十三度五分三十哩四十哩ハ十一度五十哩ニ至リ俄然十六度一分ノ高温ヲ示ス百尋深水温ハ前
月ニ比シ著シク低温トナリ概シテ三四度ヲ示シ二百尋深ニ於テハ彈埼ヨリ十五哩ニ於テ五度五十哩ニ於テ二度六分ヲ
示ス外全部一度内外ナリトス

比重ハ前八月二日ニ比シ著シク低下シ二十尋深ヨリ上層ニハ一、〇二四五〇ヨリ一、〇二五〇〇ノ間ノ海水アリ其下
層ト雖モ一、〇二五〇〇ヨリ一、〇二五五〇ノ間ヲ示スニ過キス
ハ、全年十月三日觀測ノ分

本觀測ハ天候不良ナル結果彈埼北西二十哩三十五哩五十尋迄ノ三点ニ於テ觀測シタルニ過キス
水温ハ前月ニ比シ表面ヨリ十尋深迄著シク低下シ二十五尋五十尋ハ却テ上昇セリ即チ表面ヨリ二十五尋迄ハ一樣ニ二
十度乃至二十一度ノ水温ヲ示シ五十尋深ハ十五度内外ヲ示スニ至レリ

比重ハ前月ト大差ナク各点共ニ三四十尋ヨリ表面ニハ一、〇二四五〇ヨリ一、〇二五〇〇迄ノ海水アリ其ヨリ下層ハ
一、〇二五〇〇以上一、〇二五五〇前後ノ海水ナリ
ト、全年十一月四五兩日觀測ノ分
本觀測ニ於テハ水温更ニ低下シ表面ヨリ二十五尋深迄ハ一樣ニ十九度内外ノ水温トナリ五十尋深ハ十七八度百尋深ハ

彈埼ヨリ十哩ノ点ニ於テ十度其他ハ全部十二三度ヲ示スニ至レリ
比重ハ前月ヨリモ更ニ低下シ上層ニ一、〇二四〇〇ヨリ一、〇二四五〇迄ノ海水アリ中層ハ一、〇二四五〇ヨリ一、
〇二五〇〇迄ノ海水下層ハ一、〇二五〇〇以上ノ海水ニヨリテ占據セラル

チ、全年十二月四日觀測ノ分
今期ニ於テハ前月ヨリモ更ニ水温低下セリ即チ表面ヨリ五十尋深迄ハ概ネ十五六度ニシテ變化ナク百尋深ニ於テハ彈
埼ヨリ十哩ニ於テ七度五分ナレトモ其他ハ全部十二度内外ナリトス

比重ハ前月ヨリ幾分上昇シ上層ニ一、〇二四五〇ヨリ一、〇二五〇〇迄ノ海水アリ中層ニ一、〇二五〇〇ヨリ一、〇
二五五〇迄ノ海水アリ下層ニ一、〇二五五〇以上ノ海水アリ
リ、大正八年三月五日觀測ノ分

大正八年一月及二月ハ本場漁船修繕ノ爲メ欠測シ本觀測ニ於テモ天候不良ナル爲メ二十哩以上ノ觀測ヲ欠ケリ
本觀測ノ結果ヲ見ルニ水温ハ表面ヨリ五十尋深迄一樣ニ九度内外ニシテ百尋深ハ七八度百五十尋深ハ三度七分ヲ示セ
リ

比重ハ彈埼直下及彈埼ヨリ二十哩ノ点ニ於テ一、〇二四五〇ヨリ一、〇二五〇〇迄ノ間ノ比重アレトモ其他ハ全部一、
〇二五〇〇ヨリ一、〇二五五〇迄ノ間ノ海水ニヨリ占據セラル

丙、大七年 鯉來游狀態

一、佐渡郡 本郡二見村方面ハ例年縣下ニ於テ最モ早ク鯉群ノ洄游ヲ見ル所ナルカ本年ニ於テモ同シク四月十一日ヨリ出
漁シ同夜最高ノ船千尾ノ漁獲ヲ得一尾貳錢ノ高値ヲ示シタリ二十日以後五月十日頃迄ハ常ニ最高ノモノ二萬以上三萬
五千ヲ擧ケタルカ其後敢テ不漁ニアラサルモ打チ續ク荒天ニ遭遇シ外海ノ事トテ出漁ノ日取少ク五月末日終了セリ

内海側ナル前濱方面ニ於テハ四月中旬ヨリ六月初旬迄出漁シタルモ漁獲ナク五月九日一雙平均六千尾ヲ獲タルヲ最大漁トナス

二、刈羽郡 本郡ニテハ下宿村大洲村荒濱村等四月十七日ヨリ出漁シ同夜最高一萬五千ヲ獲タル船アリ翌十八日ハ下宿村

ニ於テ二萬余尾ヲ獲タルモノアリシモ其後漁獲漸次減少シテ二十九日及五月五日ノ兩日二萬乃至三萬ヲ擧ケシ船アリタル外ハ概シテ不漁ニテ六月七日一萬二千尾ノ船二隻アリシヲ終末ノ豐漁トシテ閉漁セリ

三、三島郡 四月十八日出雲崎漁船ニシテ初漁四萬尾ヲ漁獲セルモノアリ(一尾九厘替)シモ其後一時減退シ五月ニ入りテ

ハ再ヒ活氣ヲ呈シ同十七日最高三萬尾ヲ最トシテ五六千乃至二萬尾ノ間ヲ上下セリ然レトモ二十七日以後一時ニ減退シテ五六千尾ヲ超ユルモノナク六月初旬閉漁セリ

四、西蒲原郡 四月十六日浦濱村漁船初漁ニ最高一萬六千尾ヲ獲タルモノアリ其後ノ漁況大方三島郡ニ同シ

五、北蒲原郡 四月十七日藤塚濱漁船初メテ出漁シ翌十八日最高一萬二千尾二十日最高四萬五千尾ヲ擧ケタル船アリ其後

不漁ノ日アリシト雖モ概シテ順調ニ繼續セリ

六、岩船郡 本郡ハ毎年本漁業ノ収獲最モ大ナル郡ナリ初漁ハ四月十九日下海府村脇川漁村一雙カ三千八百萬ヲ擧ケタル

ニ初マリ二十一日ハ榎屋ノ一漁船五萬尾ヲ獲タルモノアリシモ其後稍不漁ナリ同月三十日ヨリ再ヒ活氣ヲ呈シ來リ殊

ニ十九日ハ平均一萬五千尾最高五萬尾二十日ハ平均三萬尾最高ノ船ハ十餘萬尾ニシテ一時ニ之ヲ船ニ入ル、ヲ得ス一旦歸船シテ二回網運搬セシ如キ事實アリ其後概シテ順調ノ經過ヲ取り六月中旬終漁セリ

七、西頸城郡 中頸城郡此兩郡ニ於テハ鯉ノ洄游例年ノ如ク少シ四月十四日西頸城郡筒石漁船初漁ニ平均五百尾内外

ヲ得同十九日同郡能生町漁船約二千尾ヲ獲タルヲ手初メトシ翌月迄從業セルモ甚タシキ大漁アリシヲ聞カス

以上ヲ綜合スルニ本年鯉ノ洄游ハ先ツ四月十日前後ヨリ佐渡外海面ナル二見村方面ヲ襲ヒ同十六日ノ頃ヨリ越後沿岸ニ殺

到シテ刈羽、三島西北兩蒲原四郡沿岸ニ大漁ヲ見岩船郡方面沿岸ニ洄游セルハ二十日二十一日ノ頃ヨリナルカ如シ然ルニ其後荒天アリテ暫ク此魚群ハ散逸シタルカ五月五日頃ヨリハ再ヒ第二ノ魚群來游セルカ如ク八日ヨリ十日ニ至ル間佐渡郡二見村方面ニ大漁アリ引キ續キ越後沿岸殊ニ岩船北蒲原方面ニ密集シ二十日ノ如キ前記十餘萬尾ヲ漁獲セシ船アリ斯クテ比較的順調ニ繼續シ六月十日頃ニ至リ一般ニ終了セリ

六、天候及漁業調査

五、岩船郡、刈羽郡

四、西蒲原郡、北蒲原郡

三、三島郡

二、刈羽郡

一、西頸城郡

二、沿岸定時海洋観測

本年度ニ於テハ本場所在地タル三島郡寺泊町大字寺泊鼻立ノ埋立工事突端及佐渡郡金泉村大字姫津ノ突端ノ二ヶ所ニ沿岸定時海洋観測點ヲ撰ヒ毎月一日十一日二十一日ノ三回ヅ、沿岸海水ノ水温及比重ヲ観測シタリ

三、鮭聯絡調査

本場ニ於テハ鮭聯絡調査河川トシテ三面川ヲ撰ヒ左ノ諸項ニツキ調査セリ

- 一、湖上河川ノ調査
- 二、沿海調査
- 三、湖上ノ初期、終期漁期、及漁獲状況
- 四、鮭魚形態性別及熟否調査
- 五、稚魚保護ノ状況
- 六、天然産卵場調査

以上

上記諸項ニツキ左ニ諸表ヲ別記ス

一、湖上河川ノ調査
 二、沿海調査
 三、湖上ノ初期、終期漁期、及漁獲状況
 四、鮭魚形態性別及熟否調査
 五、稚魚保護ノ状況
 六、天然産卵場調査



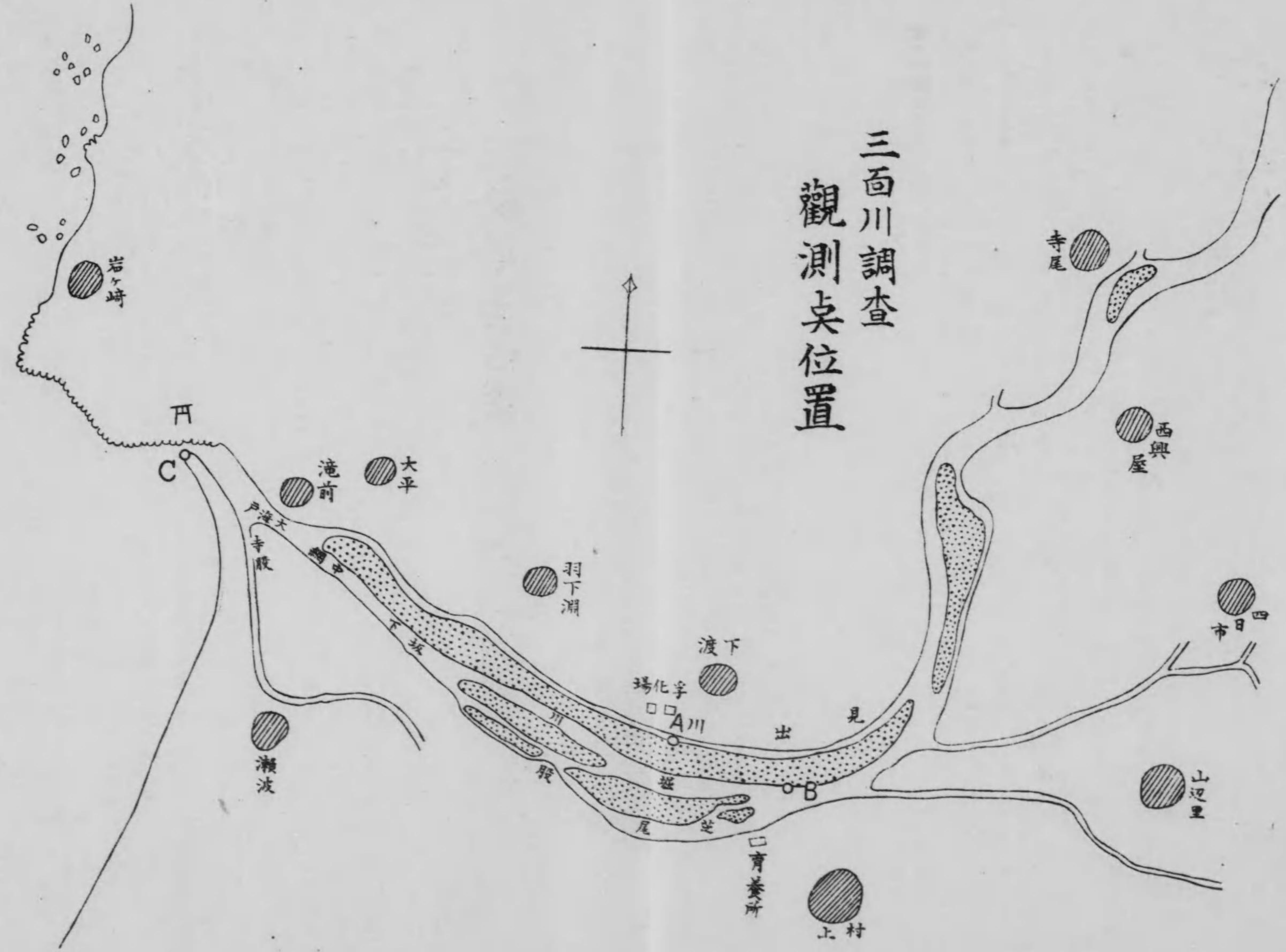
本場ニ於テハ鮭聯絡調査河川トシテ三面川ヲ撰ヒ左ノ諸項ニツキ調査セリ

- 一、湖上河川ノ調査
- 二、沿海調査
- 三、湖上ノ初期、終期漁期、及漁獲状況
- 四、鮭魚形態性別及熟否調査
- 五、稚魚保護ノ状況
- 六、天然産卵場調査

上記諸項ニツキ左ニ諸表ヲ別記ス

一、調査年度ニ大別シ、調査河川ノ別ニ調査時期ノ別ニ調査地点ノ別ニ調査結果ヲ別記ス
 二、調査年度ニ大別シ、調査河川ノ別ニ調査時期ノ別ニ調査結果ヲ別記ス
 三、調査年度ニ大別シ、調査河川ノ別ニ調査時期ノ別ニ調査結果ヲ別記ス
 四、調査年度ニ大別シ、調査河川ノ別ニ調査時期ノ別ニ調査結果ヲ別記ス
 五、調査年度ニ大別シ、調査河川ノ別ニ調査時期ノ別ニ調査結果ヲ別記ス
 六、調査年度ニ大別シ、調査河川ノ別ニ調査時期ノ別ニ調査結果ヲ別記ス

三面川調査 観測点位置





(一) 湖上河川ノ調査(三面川)

附圖ニ示スカ如クA、B、C、ノ三点ニ観測点ヲ撰ヒA Bニ於テハ水量標ヲ建テ、毎日一回ヅ、水温及水量ヲ観測シCニ於テハ河口ニテ距離遠キヲ以テ毎旬二三回ヅ、水温及比重ヲ測定シタリ其ノ概要左ノ如シ

三面川観測旬平均水温水量比重表

旬別	A		B		C	
	水温	水量	水温	水量	水温	水量
十一月下旬平均	10.0	2,270	11.0	1,870	10.7	1,070
十二月上旬平均	7.1	2,560	7.3	1,070	7.7	1,070
十二月中旬平均	4.1	2,070	4.9	1,170	4.0	1,070
十二月下旬平均	5.1	2,170	5.6	1,170	4.9	1,070

猶ホ明細表ヲ左ニ掲グ

三面川観測表

観測点ノ位置ハ別紙附圖参照

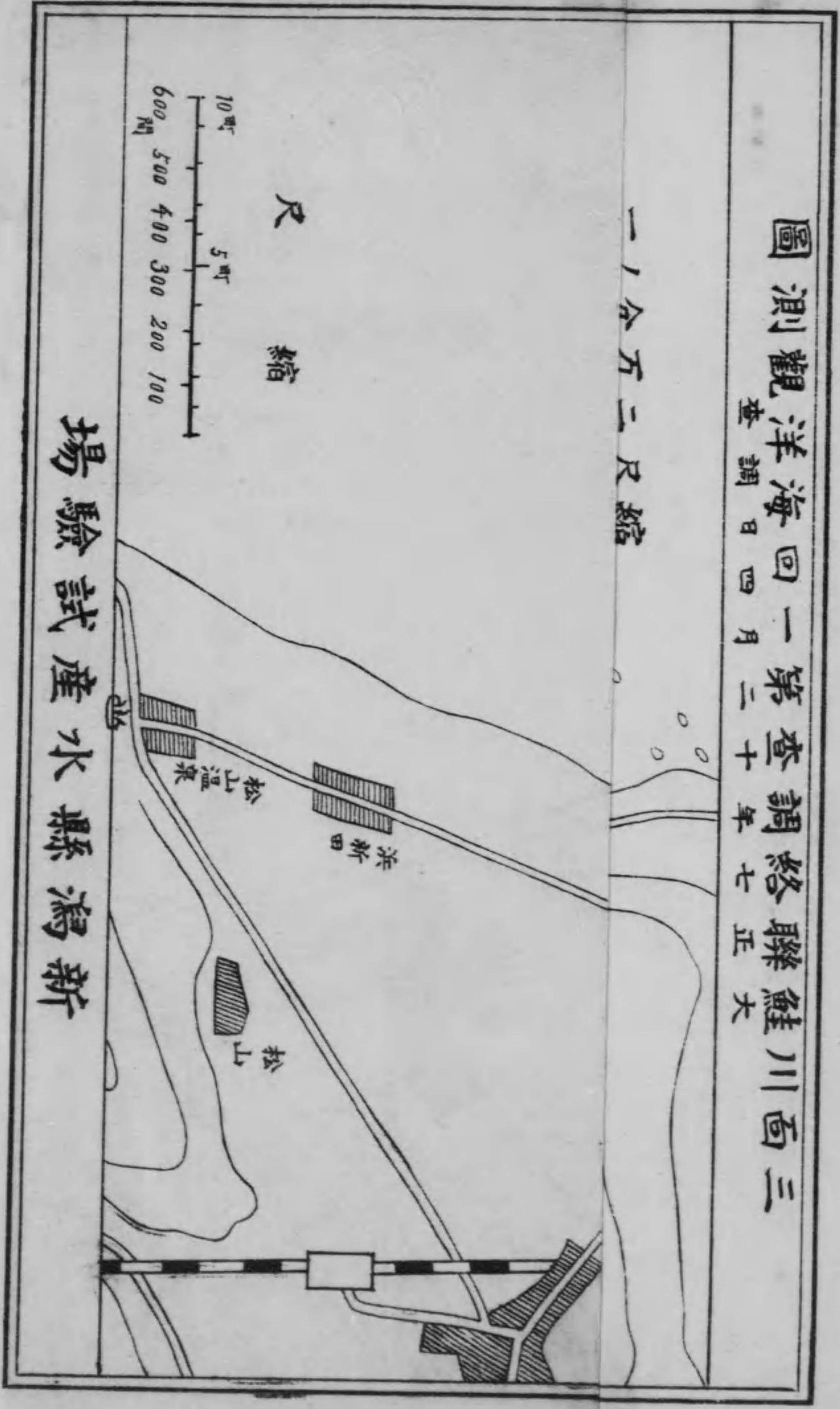
月日時刻	天候	風向	風力	A 観測点		B 観測点		時刻	観測水温	観測比重	測定水温	記
				水温	水量	水温	水量					
十一月一日午後一時	晴	西	軟	九、〇	二、三〇	九、〇	一、九〇	—	—	—	—	
二十一日午後一時	晴	夕	夕	一〇、五	二、三五	一〇、五	一、八五	—	—	—	—	
二十二日午後一時	曇	東	和	九、七	一、六〇	一〇、〇	一、五五	—	—	—	—	
二十三日午後一時	晴	西	疾	一一、〇	一、三五	一一、〇	一、六二	—	—	—	—	
二十四日午後一時	雨	南	夕	一一、〇	三、〇〇	一一、〇	二、三〇	—	—	—	—	
二十五日午後一時	夕	全	全	一一、八	二、六〇	一一、〇	二、一〇	—	—	—	—	
二十六日午後一時	晴	西	和	九、八	二、〇〇	一〇、〇	一、九〇	—	—	—	—	
二十七日午後一時	夕	北西	軟	一〇、二	三、〇〇	一一、二	二、二〇	—	—	—	—	
二十八日午後一時	雨	西	強	七、八	二、三〇	八、〇	一、九〇	—	—	—	—	
二十九日午後一時	曇	西	和	七、三	一、五〇	七、五	一、八〇	—	—	—	—	
三十日午後一時	晴	北西	軟	八、八	一、一〇	九、五	一、五〇	—	—	—	—	
十一月下旬平均	雨	南	疾	七、八	二、二七	八、〇	一、四〇	—	—	—	—	

日	時刻	天候	風向	風力	A 観測点	B 観測点	時刻	観測水温	観測比重	測定水温	記
二日	夕	曇	東	軟	七、七	八、〇	—	—	—	—	
三日	夕	雪	北	和	六、八	七、〇	—	—	—	—	
四日	夕	晴	東	夕	七、〇	七、〇	—	—	—	—	
五日	夕	曇	南	夕	七、五	七、一	—	—	—	—	
六日	夕	夕	南	疾	八、二	八、〇	—	—	—	—	
七日	夕	雨	北	夕	七、五	七、八	—	—	—	—	
八日	夕	雪	西北	強	八、〇	八、二	—	—	—	—	
九日	夕	吹雪	西南	夕	六、〇	六、二	—	—	—	—	
十日	夕	雪	西	疾	五、五	五、八	—	—	—	—	
十一月上旬平均	—	—	—	—	七、二	七、三	—	—	—	—	
十一日	午後一時	曇	東	軟	五、八	六、〇	—	—	—	—	
十二日	夕	夕	西南	疾	五、二	五、七	—	—	—	—	
十三日	夕	雨	南	夕	四、二	四、二	—	—	—	—	
十四日	夕	夕	南	強	五、二	五、八	—	—	—	—	
十五日	夕	雪	西北	夕	三、八	四、二	—	—	—	—	
十六日	夕	夕	西	夕	二、五	二、八	—	—	—	—	
十七日	夕	曇	東	軟	三、二	三、五	—	—	—	—	

記
事
湖上多キヲ認
ム
潮込ニ付鹹度高シ
魚群見ユ

No.	位置	時 日		氣		
		月日	時刻	天候	雲形	雲量
1	多岐神社下	12,4	pm 2,30,	晴	C	4
2	全上ヨリ西 10間	ク	pm 2,40,	ク	ク	ク
3	全西 50間	ク	pm 2,50,	ク	ク	ク
4	全西 100間	ク	pm 2,55,	ク	ク	ク
5	全西 200間	ク	pm 3,00,	ク	ク	ク
6	全西 300間	ク	pm 3,10,	ク	ク	ク
7	全西 400間	ク	pm 3,15,	ク	ク	ク
8	全西 500間	ク	pm 3,20,	ク	ク	ク
9	瀬波濱禁漁區標識ヨリ西方 500	ク	pm 3,35,	ク	ク	ク
10	全西 500間	ク	pm 3,50,	ク	ク	ク
11	全西 300間	ク	pm 4,00,	ク	ク	ク
12	全西 200間	ク	pm 4,10,	ク	ク	ク
13	全西 100間	ク	pm 4,18,	ク	ク	ク
14	全西 50間	ク	pm 4,25,	ク	ク	ク

三面川鮭聯絡調査海洋觀測報告第一回 (大正七年四月十二日施行)



三面川鮭聯絡調査第一回觀測圖

縮尺 二尺五分一

縮尺

10町
5町
600M
500
400
300
200
100

新瀨縣產水試驗場

圖 測 觀 洋 海 回 一 第 查 調 絡 聯 鮭 川 面 三
 查 調 日 四 月 二 十 年 七 五 大

No.	觀 測 点		時 日		氣 象				波 浪		潮 流		水 色	透 明 度	深 度	底 質	水 温 表 面	比 重 表 面	事 記	
	番 號	位 置	月 日	時 刻	天 候	雲 形	雲 量	風 向	風 力	方 向	大 小	方 向								速 度
1	多岐神社下	直	12,4	pm 2,30,	晴	C	4	E	和	E	靜	S	稍急	清	—	—	—	11,2	1,00468	Pm2,15ノ大海戸川ヨリ出船採水器不完全ナル爲メ表面以下欠測ス
2	全上ヨリ	西 10間	ク	pm 2,40,	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	P 2,5	—	—	11,2	1,00766		
3	全	西 50間	ク	pm 2,50,	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	2,5	—	—	11,1	1,00963		
4	全	西 100間	ク	pm 2,55,	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	2,5	—	—	11,1	1,01171		
5	全	西 200間	ク	pm 3,00,	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	2,5	—	—	11,0	1,01269		
6	全	西 300間	ク	pm 3,10,	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	2,5	—	—	10,7	1,01314		
7	全	西 400間	ク	pm 3,15,	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	2,6	—	—	10,7	1,01363		
8	全	西 500間	ク	pm 3,20,	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	2,6	—	—	10,7	1,01522	本觀測線ノ觀測終了	
9	瀬波濱禁漁區標識ヨリ	西方 500	ク	pm 3,35,	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	2,6	—	—	11,2	1,01569	Pm 3,35ノ瀬波濱禁漁區標識ノ西方距岸五百間ノ地点ヨリ前記標識ニ向ケ標觀測ス	
10	全	西 500間	ク	pm 3,50,	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	2,6	—	—	11,0	1,01420		
11	全	西 300間	ク	pm 4,00,	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	2,5	—	—	10,8	1,01264		
12	全	西 200間	ク	pm 4,10,	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	2,5	—	—	1,06	1,01225		
13	全	西 100間	ク	pm 4,18,	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	2,5	—	—	1,05	1,00819		
14	全	西 50間	ク	pm 4,25,	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	2,5	—	—	1,08	1,01370	Pm4,25ノ瀬波濱禁漁標識西500間ニ達シ觀測ヲ終了シPm 4,40ノ大海戸川ニ歸着ス	

三面川鮭聯絡調査海洋觀測報告第一回
 (大正七年四月十四日施行)

觀測	位	No.	多岐
1	全西	1	直
2	全西	2	上
3	全西	3	西
4	全西	4	西
5	全西	5	西
6	全西	6	西
7	全西	7	西
8	全西	8	西
9	新波濱 區標識 西方	9	西
10	全西	10	西
11	全西	11	西
12	全西	12	西
13	全西	13	西
14	全西	14	西

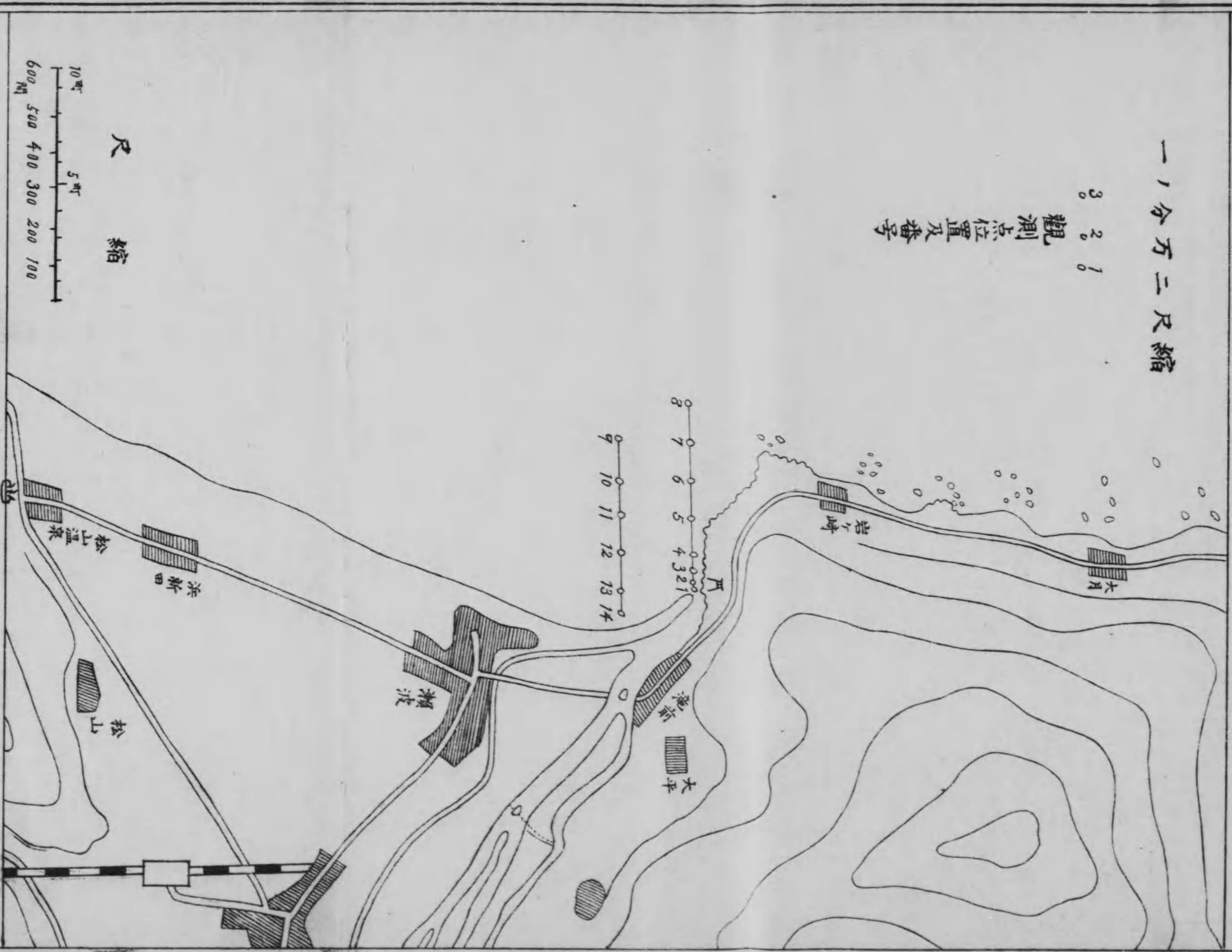
三面川鮭聯絡調查海洋觀測報告第一回 (大正七年十二月四日施行)

圖測觀洋海回一第查調絡聯鮭川面三
查調日四月四年七正

一、一分万二尺縮

3。 2。 1。

觀測点位置及番号



場驗試産水縣瀉新

三面川鮭聯絡調査海洋観測報告 第二回 (大正五年七月施行)

観測点 番 號	位 置	時 日		氣 象					波 浪		潮 流		水 色	透 明 度	深 度	底 質	水 温 比 重		記 事
		月 日	時 刻	天 候	雲 形	雲 量	風 向	風 力	方 向	大 小	方 向	速 度					表 面	表 面	
No. 15	洲 崎 直 下	12,5	9,55	晴	C	4	E	軟	10 NE	静	NE	緩	清		—	—	7,2	1,03	Am9, ヲヲ観測開始
16	全西 100間	ク	10,00	ク	ク	ク	ク	ク	NE	ク	ク	ク	ク	F 2,5	—	—	7,8	1,00471	
17	全西 200間	ク	10,05	ク	ク	ク	ク	ク	NE	ク	ク	ク	ク	ク	—	—	10,3	1,01137	
18	全西 300間	ク	10,10	ク	ク	ク	ク	ク	NE	ク	ク	ク	ク	ク	—	—	10,7	1,01297	
19	測点18号ヲ基点トシ南 ヲ西へ25, 方向へ200間	ク	10,15	ク	ク	ク	ク	ク	E	ク	ク	ク	ク	ク	—	—	14,2	1,02343	
20	全 上 400	ク	10,17	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	—	14,6	1,02323	
21	ク 600	ク	10,18	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	—	14,7	1,02321	
22	ク 800	ク	10,20	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	—	14,7	1,02306	
23	ク 1,000	ク	10,21	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	—	14,7	1,02323	
24	ク 1,200	ク	10,23	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	—	14,8	1,02306	
25	ク 1,400	ク	10,28	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	—	14,9	1,02319		
26	ク 1,600	ク	10,33	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	—	14,8	1,02266		
27	測点26ヨリ松山へ父 岳線距岸500間	ク	10,50	ク	ク	ク	ク	ク	NE	ク	ク	ク	ク	—	—	14,7	1,02286		
28	測点27ヨリ距岸約10 間ノ所ヲ北方へ200間	ク	10,55	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	F 2,0	—	—	14,7	1,02301	
29	ク 400	ク	11,00	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	—	14,7	1,02319	
30	ク 600	ク	11,05	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	F 2,5	—	—	14,8	1,02285	
31	ク 800	ク	11,10	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	3,0	—	—	14,8	1,02299	
32	ク 1,000	ク	11,15	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	—	14,8	1,02286	
33	ク 1,200	ク	11,18	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	—	14,9	1,02279	
34	ク 1,400	ク	11,22	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	—	14,8	1,01207	
35	瀬波濱禁漁區域標識 ヲ西北距岸へ200間	ク	11,25	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	2,5	—	—	11,2	1,01014	
36	ク 500間	ク	11,28	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	—	10,8	1,00919	
37	36ヨリ洲崎へ向ケ距 岸200	ク	11,40	ク	ク	ク	ク	ク	ク	稍強	ク	稍急	ク	ク	—	—	17,0	1,01025	
38	ク 100	ク	11,45	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	—	8,5	1,00279	

三 面 川 鮭 聯 絡 調 査 海 洋 觀 測 報 告
 第 二 回 (大 正 七 年 五 月 十 二 日 施 行)
 三 面 川 鮭 聯 絡 調 査 第 二 回 海 洋 觀 測 圖

番 號	觀 測 點 位 置	時 日		氣 象					波 浪		潮 流		水 色	透 明 度	深 度	底 質	水 温 比 重		記 事
		月 日	時 刻	天 候	雲 形	雲 量	風 向	風 力	方 向	大 小	方 向	速 度					表 面	表 面	
39	洲崎直下	12,5	11,40	晴	C	4	E	軟	NE	稍強	NE	稍急	清	F 2,5	—	—	7,2	1,00033	Am9,ヨリ觀測開始
40	小濱ヨリWN方向へ 100間	ク	pm 21,20,	曇	N	8	NW	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	—	8,5	1,00276	pm0,10,根據地=入り休息 pm2,15,再ヒ出動三面川外 北方ヲ調査ス
41	全 200ク	ク	pm 21,23,	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	—	10,5	1,01077	
42	全 300	ク	pm 2,28,	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	—	10,8	1,01365	
43	全 400	ク	2,30,	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	—	10,8	1,01241	
44	全 500	ク	2,32,	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	3,0	—	—	11,1	1,01420	
45	44號ヨリ M100間	ク	2,35,	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	2,5	—	—	12,5	1,01617	
46	200	ク	2,32,	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	—	12,5	1,01788	
47	300	ク	2,40,	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	○	—	—	12,6	1,01814	
48	400	ク	2,45,	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	—	12,5	1,01843	
49	48號ヨリ小濱へ向ケ 100間	ク	2,40,	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	—	12,0	1,01889	
50	200	ク	2,45,	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	—	12,4	1,01816	
51	300	ク	3,00	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	—	12,7	1,01788	
52	400	ク	3,10	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	—	12,7	1,01759	
53	500	ク	3,15	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	2,0	—	岩	12,7	1,01719	
54	600	ク	3,20	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	岩	12,7	1,01781	
55	700	ク	3,25	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	岩	12,7	1,01717	
56	小濱直下	ク	3,30	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	岩	12,3	1,01565	
57	小濱ヨリ多岐神社下 へ向ケ20間	ク	3,35	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	岩	12,3	1,01465	
58	40間	ク	3,40	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	岩	11,5	1,01170	
59	60間	ク	3,45	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	岩	9,7	1,00624	
60	80間	ク	3,50	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	岩	8,2	1,00195	
61	多岐神社直下	ク	3,55	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	ク	—	岩	7,7	1,00077	pm5,55,終了根據地=引揚 タリ

三 面 川 鮭 聯 絡 調 査 海 洋 觀 測 報 告
 第 二 回 (大 正 七 年 五 月 十 二 日 施 行)

25

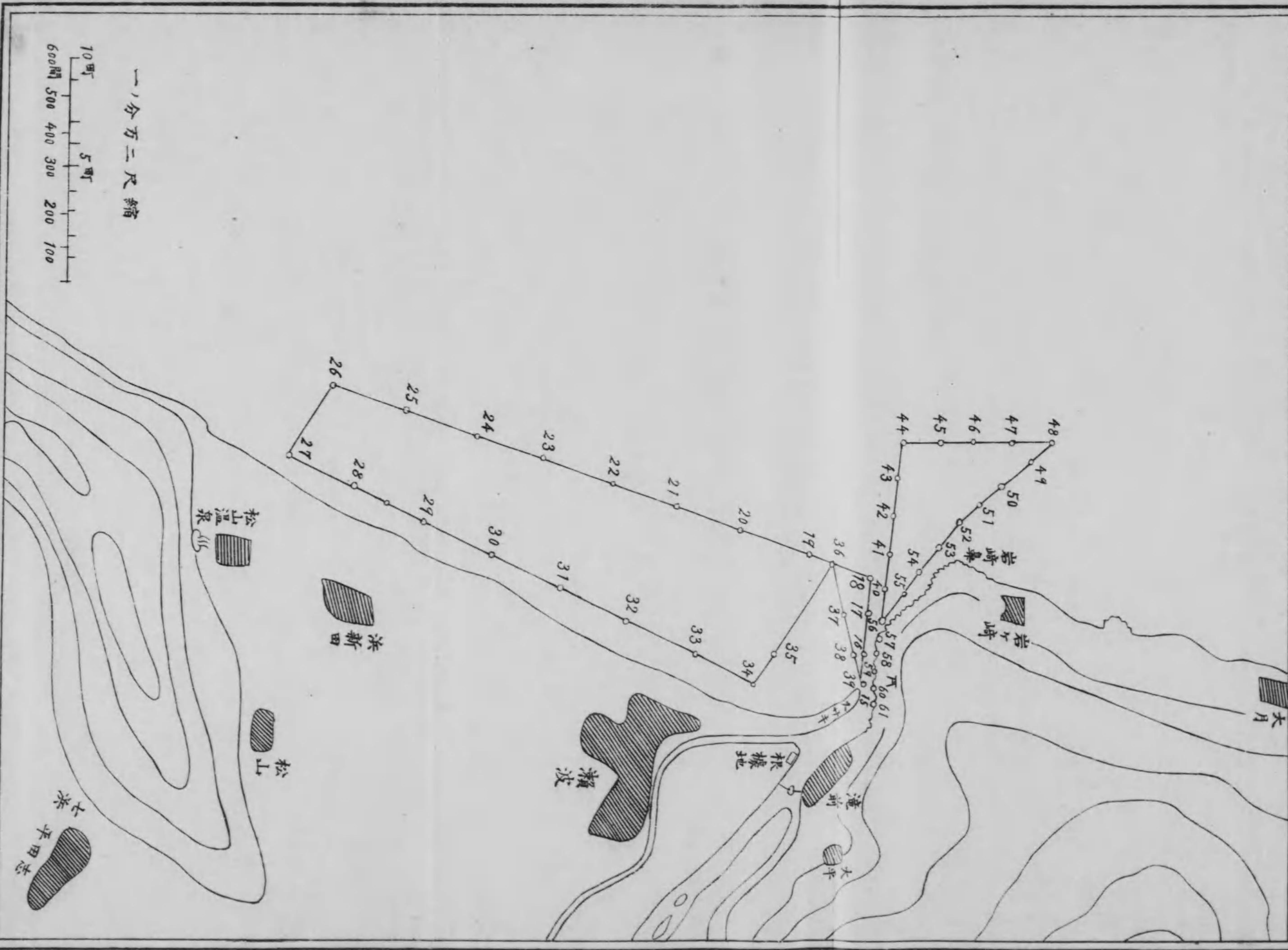
29



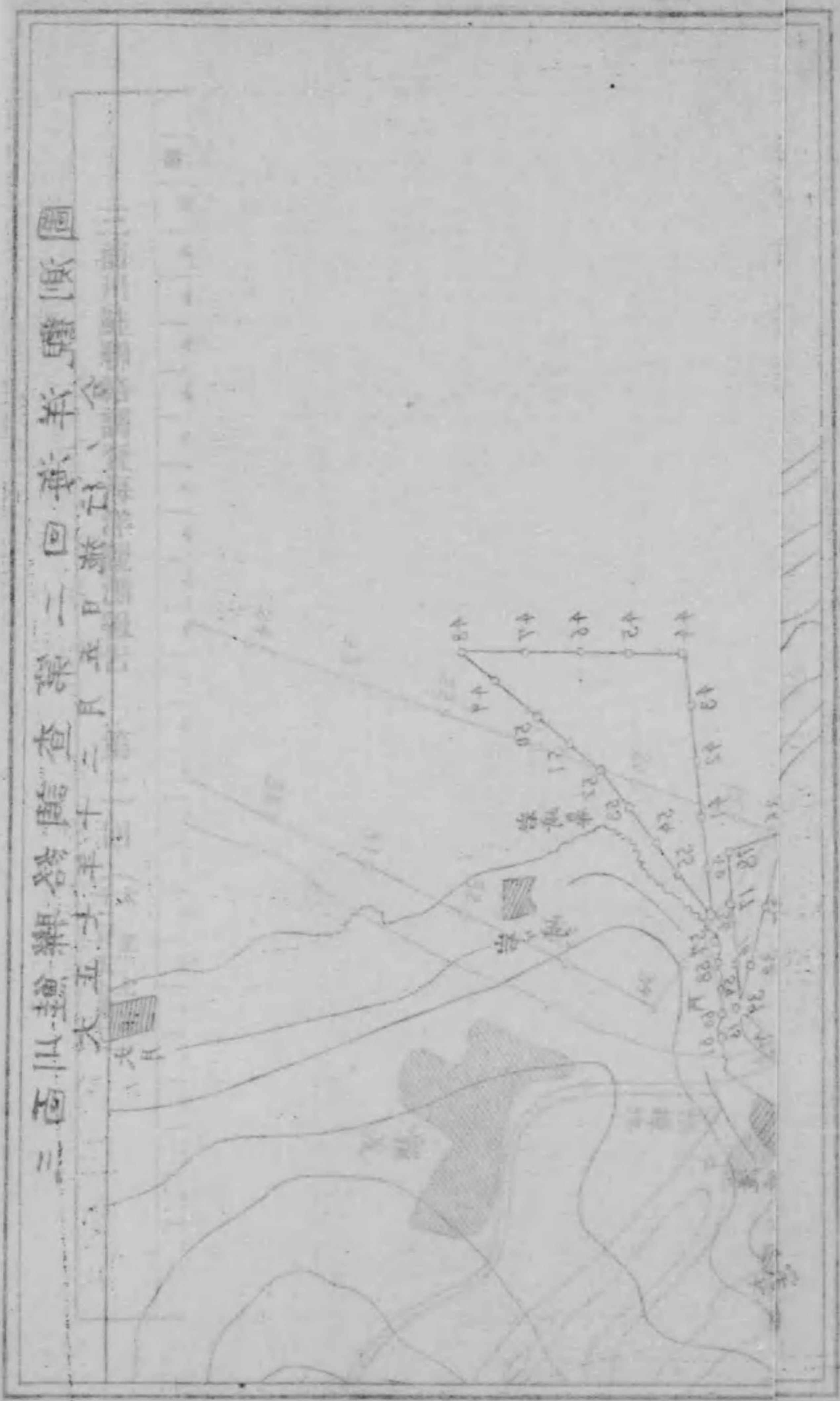
観測位	番 號
洲崎直下	39
小沢	40
全	41
全	42
全	43
全	44
44號	45
	46
	47
	48
48號	49
	50
	51
	52
	53
	54
	55
小沢直下	56
小沢向	57
	58
	59
	60
多岐神	61

三面川鮭聯絡調査海洋觀測報告 第二回 (大正七年十二月五日施行)

三面川鮭聯絡調査第二回海洋觀測圖



新瀨水產試驗場



(三) 湖上ノ初期、終期、漁期及漁獲状況

三面川ニ鮭魚ノ湖上ヌル最初期ハ九月中旬ナルカ如シ
 本年度ハ九月中旬ヨリ漁期ノ初メナル十月末日迄ニ約二百五十尾ノ若キ鮭魚ヲ漁獲セリト傳フ而テ眞ノ鮭漁期ハ十月二十五六日ヨリ翌年一月十日頃迄ニシテ其間最盛期ハ十二月一日ヨリ十日迄ナリトス
 右漁期中三面川ニ於テ漁獲セラレタル鮭魚尾數左ノ如シ

三面川總漁獲	一萬一千二百七十七尾
種川合計	九千七百五十四尾
芝居股	四千三十八尾
坂下川	四千九百三十五尾
見出川	一千一百五十八尾
寺股	二百三十尾
欠ヶ上	百三十五尾

此ノ外沿海ニ於テ漁獲セラレタル鮭魚尾數ハ左ノ如シ
 岩船郡内合計一萬九千三百九尾(角網二十四地曳網六統)
 北浦原郡内合計二萬一千五百二十九尾(角網十三地曳網一統)
 猶ホ詳細ナル事項ハ左表ノ如シ

三面川鮭漁獲日表

月日	芝居股	坂下川	見出川	計	計
十月二十八日			一	一	一
二十九日			二	二	三
三十日			一	一	四

三	二	一月一日	十二月分計	三十一日	三十日	二十九日	二十八日	二十七日	二十六日	二十五日	二十四日	二十三日	二十二日	二十一日	二十日	十九日
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
三六			二、五八八		九三				一七九				三〇六			
一五			三、三〇二		一一一				一一九				二八四			
			七七二	一九		三三二	一〇	三〇		二三三	一九	五九	四一		四〇	三三三
五六				二〇四	一九	三三二	一〇	三〇	二九八	二三三	一九	五九	六三一		四〇	三三三
一一	一五		八五六	六	八	二二	三一	四〇	八	一八	一八	六	二八	二九	一一	二七
六二	一五			二二	二二	五三	四一	七〇	三〇六	四一	三七	六五	六五九	二九	五一	六〇
一〇、八三九	一〇、七七七	一〇、七六二	一〇、七六二	一〇、七六二	一〇、七三七	一〇、五二五	一〇、四七二	一〇、四三一	一〇、三六一	一〇、〇五五	一〇、〇一四	九、九七九	九、九一二	九、二五三	九、二二四	九、一七三

十八日	十七日	十六日	十五日	十四日	十三日	十二日	十一日	十日	九日	八日	七日	六日	五日	四日	三日	二日
二四九		二五三			一一二		三五〇		一〇七		一〇一		二二五		六一三	
一七九		四一〇			七六		一〇七		三六〇		二九九		二九二		一、〇六五	
二九	四〇	四一	一一	二九	三三	一九	五二			二二		二九	四九		四二	
四五七	四〇	七〇四	一一	二九	二二〇	一九	五〇九		四六七	一一	四〇〇	二九	五六六		一、七二〇	
一八	二二	四二	三九	二四	四三	一一	七	一四	九	二〇	三〇	八一	二九	六〇	九一	五〇
七四五	六二	七四六	五〇	五三	二六三	三一	五一六	一四	四七六	三二	四三〇	一一〇	五九五	六〇	一、八一	五〇
九、一三三	八、六三八	八、五七六	七、八三〇	七、七八〇	七、七二七	七、四六四	七、四三三	六、九一七	六、九〇三	六、四二七	六、三九五	五、九六五	五、八五五	五、二六〇	五、二〇〇	三、三八九

沿海鮭漁獲高表 (岩船部及北蒲原郡)

漁獲ノ場所	漁具	漁獲尾數	備	考
岩船郡大川谷村中濱	網	三八三	卸 十月二十八日	終漁 十二月一日
ク 大川	ク	五三七	ク 十月三十日	ク 十二月四日
ク 八幡村碁石	ク	四八〇	ク 十月二十六日	ク 十二月五日
ク 寢屋	ク	五二一	ク 十月二十七日	ク 十二月七日
ク 鵜泊	ク	二六〇	ク 十月二十八日	ク 十二月六日
ク 下海府村芦谷	ク	三七三	ク 十月二十日	ク 十二月五日
ク 寒川	ク	六二二	ク 十月十九日	ク 十二月四日
ク 脇川	ク	五八九	ク 十月十五日	ク 十二月七日
ク 板具	ク	二二四	ク 十月二十六日	ク 十二月一日
ク 笹川	ク	七八七	ク 十月十五日	ク 十二月五日
ク 桑川	ク	二、五一五	ク 十月十五日	ク 十二月五日
ク 濱新保	ク	一九三	ク 十月二十日	ク 十二月五日
ク 上海府村馬下	ク	六九九	ク 十月九日	ク 十二月十二日
ク 早川	ク	八八一	ク 九月二十五日	ク 十二月十九日
ク 吉浦	ク	一五四	ク 十月九日	ク 十一月二十七日

外ニ寺股川二三〇尾、欠上リ漁場一三五尾

累計	一月六日迄月計	六日	五日	四日
四、〇三八	五三	一七		
四、九三五	三三	一七		
七八一	三九	一一	五	二三
九、七五四		四五	五	二三
一、一五八	二六			
		四五	五	二三
一〇、九一二				一〇、八六二

- 一、体長(五十四尾ノ平均)二尺四寸九分
- 二、体高(全上)五寸八分三厘
- 三、体重(全上)一貫四百九十匁
- 四、雌雄及熟否ノ割合

檢定尾數

雄	七九七尾	成熟	四四八尾	産卵前	二二九尾
雌	五八九尾	未熟	一三一尾	産卵後	二二九尾

(十二月中旬ノモノ)

- 一、体長(五十二尾ノ平均)二尺五寸二分
- 二、体高(全上)五寸六分四厘
- 三、体重(全上)一貫四百二十匁
- 四、雌雄及熟否ノ割合

檢定尾數

雄	九二尾	成熟	一一四尾	産卵前	三五尾
雌	一三四尾	未熟	二〇尾	産卵後	七九尾

(十二月下旬ノモノ)

- 一、体長(六十八尾ノ平均)二尺五寸四分
- 二、体高(全上)五寸九分
- 三、体重(全上)一貫四百七十匁
- 四、雌雄及熟否ノ割合

檢定尾數	雄	一〇五尾	成熟	一一一尾	産卵前	四二尾
	雌	一一六尾	未熟	五尾	産卵後	六九尾

(五) 稚魚保護ノ狀況

年々三面川蛙人工孵化場ニ於テ蛙兒ヲ放流スル外河口ヨリ約二十町ノ上流ニ於テ竹簀ヲ以テ河流ヲ遮斷シ親魚ヲシテ其ノ下流ノ河床ニ産卵セシム之等ヨリ發生セシ魚兒ハ縣令ヲ以テ其捕獲方ヲ禁止セリ亦事實ニ於テ其ノ取締ハヨク勵行セラレ居レリ

(六) 天然産卵場調査

本年度三面川ニ於ケル蛙ノ天然産卵場ノ位置ハ別紙附圖ニ示セルカ如クシテ河口ヨリ約一里以内ノ河床ニ數十ヶ所ヲ算セリ今其面積概算ヲ記セハ左ノ如シ

見出川	六十坪
堀川	八百十坪
芝居股	七百三十坪
中網	百五十坪
其他	五十八坪
三面川蛙天然産卵場	壹千八百八坪
總面積概算	

右天然産卵場ニ於ケル産卵狀態調査ノ爲メ一月十日堀川ノ字石神ニ於テ小砂利面積二坪ヲ掘返シタル表面下五寸ノ處ヨリ二尺迄ニ産卵シアリ最モ多數ニアリタル層ハ一尺四五寸ノ處ナリキ而テ此ノ面積内ヨリ得ル卵子數左ノ如シ

活卵	二千百六十粒
死卵	百三粒
平面二坪内卵子數	二千二百六十三粒

右ノ活卵ハ孵化場ニ収容シタルニ良好ニ發生セリ
一月二十七日全様ノ試験ヲ掘川字川尻ニテナシタルニ卵子ハ表面下六七寸ヨリ一尺四五寸ノ層ニアリ平面一坪内ヨリ左ノ
卵子ヲ得タリ

平面一坪内卵子數一千二百七十六粒
活卵（發眼後） 一千百五十六粒
死卵 百二十粒

要スルニ三面川天然産卵場ニ於ケル卵子ハ比較的成績良好ナレトモ卵子數ハ多カラサルモノ、如シ

四、漁村及漁業調査

本年度ニ於テ漁村及漁業ニ就キ調査セシ所左ノ如シ

- 一、大正八年一月十一日十二日三島郡寺泊町
 - 二、全年一月二十四日二十五日二十六日中頸城郡柿崎村
 - 三、全年一月二十一日二十二日二十三日西頸城郡能生町大字能生小泊
 - 四、全年一月十八日十九日二十日全部浦本村
- 右ノ外出雲崎町及刈羽郡大洲村及下宿村等ニ就キテモ漁業状態ヲ調査セリ

五、鮎産卵場調査

鮎産卵場調査ハ前年度ニ中頸城郡關川、信濃川支流魚野川、全破間川、全五十嵐川、阿賀野川、全支流早出川、北蒲原郡胎内川、岩船郡荒川、全三面川等ヲ終了シタルニヨリ本年度ハ左ノ諸河川ニ就キ調査シ略ホ縣下全般ニ就キ終了セリ

- 一、西頸城郡姫川
- 二、西頸城郡能生川

三、中頸城郡桑取川

四、北蒲原郡加治川

五、岩船郡勝木川

六、岩船郡大川

六、淺海内灣池沼調査

本年度ニ於テハ三島、西中北南蒲原、古志、北中南魚沼、佐渡、刈羽ノ諸郡ニヨリ豫察的ニ淺海内灣池沼等ヲ調査セリ

七、漁業統計調査

縣下沿海各町村又ハ漁業組合ヨリ報告ヲ徵シ漁業統計調査ノ資料ニ充テタリ

八、氣象觀測

創立以來ノ繼續事業ニシテ氣象一般ニ就キ日々觀測ヲ施行シ以テ新潟測候所ニ報告スルト共ニ氣象ト海況トノ關係及氣象ト漁業トノ關係研究ニ資セリ

● 蠶卵殼

其卵殼之質多也蠶卵殼之質多也
蠶卵殼之質多也蠶卵殼之質多也

三面川蠶天然蠶卵殼圖



指導部

一、鯛縛網漁業者打合會

大正七年七月二十五日本縣下鯛縛網漁業者本間真太郎外十一名本場ニ會合シ漁業經營上ニ就キ打合ヲナスト共ニ左ノ件ニ就キ協議ヲナシタリ

- 一、漁業資金ニ關スル件
- 二、鯛縛網漁業同業者ヲ以テ匿名組合ヲ組織スルノ件
- 三、漁夫團體ノ鉄道乗車賃金ヲ職工團體ニ對スルモノト同様ニ割引ノ特典ヲ與ヘラレタキ旨鉄道院運輸局ヘ請願方本縣水産組合聯合會ヘ建議ノ件
- 四、縛網漁期間毎月一回以上漁況及漁獲高ヲ本縣水産試驗場ヘ報告スルノ件

二、丙種漁民講習會

農商務省水産局並ニ本縣水産組合聯合會主催ノ丙種漁民講習會ヲ大正七年八月十二日ヨリ十四日迄三日間三島郡寺泊町小學校ニ開催セラレタリ講師氏名及聽講者數左ノ如シ

八月十二日	聽講者	百十一名
	講師	新潟縣水産試驗場長 今井次郎
		新潟測候所長 佐々木鶴藏
八月十三日	聽講者	五十八名
	講師	新潟縣水産試驗場技手 阿部圭

全 全
新潟縣技師 石 井 文 吉 英
東京帝國大學農科大學助手 脇 谷 洋 次 郎
縣立能生水產學校長 伊 津 野 戶 市 郎
聽講者 百二十四名
水產講習所技師 岡 村 金 太 郎
兼農商務技師 理學博士 中 野 宗 治
農商務技師 中 野 宗 治

八月十四日

三、漁業組合講話會

本縣及本場主催ノ下ニ冬期漁閑ヲ利用シ重要漁村ニ於テ左ノ如ク漁業組合講習會ヲ開催セリ

開催月日	講話開催地	講話會場	聽講者數	講話	講師
大正八年 二月十五日	岩船郡岩船町	小學校	六〇	水產試驗場技師 岩船郡水產技師	八槽田 木谷 完哲 治郎 英
二月十七日	全郡下海府村	村役場	五五	同上	
二月十八日	全郡八幡村大字寢屋	旅館	五〇	同上	
二月十九日	全郡大川谷村大字府屋	小學校	三三	同上	
二月十六日	新潟市	市役所	七〇	水產試驗場技師 水產試驗場技師	阿佐 井 次 圭 是郎

二月十七日	北蒲原郡松ヶ崎村松ヶ崎	寺院	五六	縣水產試驗場技師	阿佐 井 次 圭 是郎
二月十八日	全郡南濱村大夫濱	小學校	五〇	同上	
二月十九日	全郡全村島見濱	小學校	三三	同上	
二月二十日	全郡松塚村	藤塚寺院	一五〇	同上	
二月二十二日	西蒲原郡内野村五十嵐濱	漁業組合事務所	三〇	同上	
二月二十三日	全郡角田村角田	小學校	四〇	同上	
二月二十五日	三島郡寺泊町	小學校	八二	縣水產試驗場技師	佐 井 次 圭 是郎
二月廿六日	全郡出雲崎町	小學校	一八〇	同上	
二月廿七日	刈羽郡高濱町椎谷	公會堂	一三	縣水產試驗場技師	阿佐 井 次 圭 是郎
三月一日	全郡荒濱村荒濱	小學校	一〇五	同上	
三月二日	中頸城郡柿崎村柿崎	小學校	三九	同上	
三月三日	全郡直江津町	小學校	五七	同上	
三月四日	西頸城郡磯部村筒石	寺院	一二七	同上	
三月五日	全郡糸魚川町	寺院	三七	同上	
三月八日	佐渡郡阿津町	劇場	三九〇	縣水產試驗場技師	阿佐 井 次 圭 是郎
三月十日	佐渡郡漁業組合理事會	部役所	五三	同上	
三月十一日	佐渡郡相川町	小學校	五二	同上	

三月十三日	全郡	小木町	小學校	二	同上
計	二十三ヶ所			一、七八三	五名

四、其他講話指導

以上ノ外本年度内ニ於テ講話、實地指導ヲナセル所ヲ列記スレハ左ノ如シ

- 一、鯖流網漁業ノ指導
- 二、揚繰網使用法實地指導
- 三、魚類蕃殖事業經營法指導
- 四、三島郡通俗講演會講演
- 五、全郡出雲崎通俗講演會講演
- 六、全上青年會講演會講演
- 七、全郡野積水産講話
- 八、北蒲原郡水産組合主催製造講習會出講
- 九、出雲崎當業者へ鯖節製造實地指導
- 一〇、鰻鹽藏法指導
- 一一、中頸城郡湯町當業者へ魚類及疏菜罐詰製造法指導
- 一二、西頸城郡浦本漁業組合へ鰻揚繰網漁業實地指導
- 一三、北蒲原郡水原町當業者ニ養殖指導
- 一四、中頸城郡春日村當業者ニ鯉兒養成法指導

- 一五、鰻罐詰用原料處理法實地指導
- 一六、鹽乾品製造法及販出法實地指導
- 一七、魚市場起業ノ指導
- 一八、南洋輸出向鯖水蒸罐詰製造法實地指導
- 一九、鱈鱗、明骨製造法實地指導
- 二〇、柔魚沖釣實地指導
- 二一、鯖生利節及鯖節製造法實地指導
- 二二、石油發動機々關手實地養成
- 二三、遠洋魚類、運搬船設計指導
- 二四、西蒲原郡間瀬村ニ於テ染網講習
- 二五、刈羽郡石地漁業組合ニ於テ漁船ニ就キ講話
- 二六、佐渡郡吉井村海端ニ於テ海參及佃煮製造講習

五、質 義 應 答

本年度ニ於テ文書ヲ以テ質義應答シタル件數左ノ如シ

- 漁撈關係 二十九件
- 製造關係 九件
- 養殖關係 十八件

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、

大正八年十二月十五日印刷
 大正八年十二月十八日發行

新潟縣水產試驗場

印刷者 中川津兵衛
新潟縣三島郡與板町

印刷所 中川商店印刷部
新潟縣三島郡與板町

大正八年十二月十八日
大正八年十二月十五日

中川 龍野 中川 龍野
中川 龍野 中川 龍野
中川 龍野 中川 龍野

大正七年度正誤表

頁	行	正	誤
五	四	難駁	難駁
六	六	折り返ス	折リ通ス
一	二	NW/W ₂	NW/W ₂
同	五	SW&NE	SW&NE
同	六	SW&NE	SW&NE
同	六	N/E	N/E
一	七	75.2	75.2
一	八	N/E 3/4 産	N/E 3/4 産
同	九	實見セシムル爲ナリ	實見セシムル得ナリ
二	九	其後ノ漁況	其後ノ漁質
同	二	最高五萬尾二十日ハ	最高五萬尾十日ハ
三	〇	大敷網	大敷網
同	四	同	同
四	六	説論	説論
五	一	収容	収室
六	〇	九〇、〇〇〇	九〇、〇〇〇
七	二	八十九%	八十%
同	七	自六月六日至全十八日	自六月六日至全十日
八	五	越後方面淡シ	越後方面淡シ
一	〇	十度等温線	十度等温
一	〇		
一	〇		